事業番号 00423

事務事業名			やむを得ない措置事業							
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高﨑 充代					

(1)	事業開始年度	昭和38年度		改		7田市老人福祉法	施行約	細則の改正	(居宅に	おける介護等の措	置に係る改正)			
(2)	直近の改正	平成26年度		内	谷 「									
(3)	根拠法令等	老人福祉法、	吹田市老	人福祉法	去施行	細則、高齢者虐徇	寺の防	止、高齢者	るの養護者	皆に対する支援等(二関する法律			
		□ 全部		一部(上	乗せ、	横出し等あり)		☑ なし	(国•府制	度もしくは法令等・	で市が実施する義務を	99)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした場	帚合はそ 0	つ説明									
(5)	総合計画の体系	章 3	健康	で安心し	て暮ら	っせるまちづくり			節	2	細節	20		
		:	·		区分	、 □ 内部管理	1	□ 建設	事業	☑ その他		:		
		対象 (誰を、何を)		-	範囲等	等 やむを得ない 認められる者。		より、介護	保険法に	規定する施設サー	ビスを利用することが	著しく困難であると		
(6)	目 的	目標(どういう状態に	こしたいのか											
		結果 (どのような効果	早が得られる	るのか)	高齢者	省の生活の質を高	が、福	証心増進	を図る。					
(7)	事業概要	担金を徴収します。									の理由で意思能力 ては所得に応じた負			
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業 11	中事業 1	小事業 2		
			項目	1			平成26 (2014:				27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)		
						予算(千円	J)	決 算(-	千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)					344		261	33	5 388	335		
		 人件費 -	職員	職員数			0.10		0.10		010	0.40		
			经公 安百				0.10		0.10	0.1	0.10	0.10		
	+ ** # 1			(B)	千円	l	830		795			817		
(9)	事業費と		事業費(4	1+B)	千円		830 1,174		795 1,056	83 1,17	6 836 1 1,224	817 1,152		
	財源の内訳		事業費(A 特定財源	(C)	千円		830 1,174 0		795 1,056 175	83 1,17	6 836 1 1,224 0 0	817 1,152 0		
	財源の内訳	(内	事業費(<i>F</i> 特定財源 国	(C)	千円		830 1,174		795 1,056 175 0	1,17	6 836 1 1,224 0 0	817 1,152 0		
	財源の内訳		事業費(月 特定財源 国	(C)	千円		830 1,174 0		795 1,056 175 0	1,17	6 836 1 1,224 0 0	817 1,152 0 0		
	財源の内訳	(内	事業費(<i>F</i> 特定財源 国	(C) I J D他	千円		830 1,174 0 0		795 1,056 175 0	1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 0	817 1,152 0 0 0		
	財源の内訳	(内 訳)	事業費(A 特定財源 国 府	A+B) (C) 引 引 か他 D)	千円		830 1,174 0 0 0		795 1,056 175 0 0	1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 0	817 1,152 0 0 0 0 1,152		
	財源の内訳	(内訳) (内	事業費(A 特定財源 国 府 その 市負担(A+B) (C) 引 分他 D)	千円		830 1,174 0 0 0 0 0 1,174		795 1,056 175 0 0 175 881	1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 1 1,224	817 1,152 0 0 0 0 1,152		
	財源の内訳	(内 訳)	事業費(A 特定財源 国 府 その 市負担(A+B) (C) 引 分他 D) 方債	千円		830 1,174 0 0 0 0 1,174		795 1,056 175 0 0 175 881	1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 1 1,224 0 0 0	817 1,152 0 0 0 0 1,152 0		
	財源の内訳	(内訳) (内訳)	事業費(A 特定財源 日 その 市負担(セカ その 一般! オ源計(C	A+B) (C) (C) (D) (d	千円		830 1,174 0 0 0 0 1,174 0		795 1,056 175 0 175 881 0	1,17 1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 1 1,224 0 0 0 1 1,224 1 1,224	817 1,152 0 0 0 0 1,152 0 1,152		
	財源の内訳	(内訳) (内訳)	事業費(A 特定財源 年の 市負担(地方 その 一般!	A+B) (C) (C) (D) (d	千円		830 1,174 0 0 0 0 1,174 0 0 1,174 1,174	± 1 7□ 7·1 1	795 1,056 175 0 0 175 881 0 881 1,056	1,17 1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 1 1,224 0 0 0 1 1,224 1 1,224	817 1,152 0 0 0 0 1,152 0 1,152		
	財源の内訳	(内訳) (内訳)	事業費(A 特定財源 日 その 市負担(セカ その 一般! オ源計(C	A+B) (C) (C) (D) (d	<u>千円</u>		830 1,174 0 0 0 0 1,174 0 0 1,174 1,174	老人福祉	795 1,056 175 0 0 175 881 0 881 1,056	1,17 1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 1 1,224 0 0 0 1 1,224 1 1,224	817 1,152 0 0 0 0 1,152 0 1,152		
		(内訳) (内訳) (内訳) 直接	事業費(A 特定財源 日 その 市負担(セカ その 一般! オ源計(C	A+B) (C)]] [D) [d] [D) [b] [D) [b] [H]	千円		830 1,174 0 0 0 0 1,174 0 1,174 1,174	老人福祉	795 1,056 175 0 0 175 881 0 881 1,056	1,17 1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 1 1,224 0 0 0 1 1,224 1 1,224	817 1,152 0 0 0 0 1,152 0 1,152		
/·	実施方法	(内訳) (内訳) (内訳) 直接	事業費(A 特定財源 を担い ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	A+B) (C)]] [D) [d] [D) [b] [D) [b] [H]	千円		830 1,174 0 0 0 1,174 0 0 1,174 1,174 1,174		795 1,056 175 0 0 175 881 0 0 881 1,056	1,17 1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 1 1,224 0 0 0 1 1,224 1 1,224	817 1,152 0 0 0 0 1,152 0 1,152		
(10)	実施方法 (該当するもの	(内訳) (内訳) (内訳) 直接	事業費(A 特定財源 を担い ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	A+B) (C)]] [D) [d] [D) [b] [D) [b] [H]	千円	委託先	830 1,174 0 0 0 1,174 0 0 1,174 1,174 1,174		795 1,056 175 0 0 175 881 0 0 881 1,056	1,17 1,17 1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 1 1,224 0 0 0 1 1,224 1 1,224	817 1,152 0 0 0 0 1,152 0 1,152		
(10)	実施方法	(内訳) (内訳) 国 重 委託	事業費(A 特定財源 を担い ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	A+B) (C) 目 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	千円	委託先	830 1,174 0 0 0 0 1,174 0 0 1,174 1,174		795 1,056 175 0 0 175 881 0 0 881 1,056	1,17 1,17 1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 1 1,224 0 0 0 1 1,224 1 1,224	817 1,152 0 0 0 1,152 0 1,152		
(10)	実施方法 (該当するもの	(内訳) (内訳) 国 重 委託	事業財 市 を担 を 一 計 まままま こ	A+B) (C) 目 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	千円	委託先	830 1,174 0 0 0 0 1,174 0 1,174 1,174 1,174 2 3 緊急:		795 1,056 175 0 0 175 881 0 0 881 1,056	1,17 1,17 1,17	6 836 1 1,224 0 0 0 0 0 0 0 1 1,224 0 0 0 1 1,224 1 1,224	817 1,152 0 0 0 0 1,152 0 1,152		

		<u>指標等</u>	指標項目	■		項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			被措置者数		目標値	(単位:人)		1.00	1.00	1.00
		指標 内容			実績値	(単位:人)		2.00	3.00	
	1					達成度(%)		200.0	300.0	
		目標値		人数	単位当た	総事業費(単位:千円)		528.00	408.00	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		440.50	408.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
の の が あ 困 指	1	活動 内容					目標			
難な場合	2	成果 内容	介護保険法に規		る事業であり	ることが困難な高齢者に 、心身の状況や置かれて		者虐待のケース等 ける介護等の措置を		
		4	・ 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小	`	J	秦止 □ :	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明			実施主体であると規定 スを利用することが著				

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00423	事業名	やむを得ない措置事業	事業区分	その他

11年	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100 100 1111	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
				5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	—: .i.e lei		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u></u>	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u> </u>	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u>! </u>	
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		718
	╱		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		718
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	 点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	 点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u> </u>	7111
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
	热囊肿		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	 点
(3)	効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	 点
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	 点
				<u>:</u>	
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	·····································
				.i	
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	·····································
(4)	(20点)	18		.i	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	·····································
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u>:</u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	·i	
<i>(</i> - <i>)</i>	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	.i	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	·i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00423
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

やむを得ない措置については、これまでは、高齢者虐待への対応が主でありましたが、近年は認知症等により住居が不明である高齢者を本事業で対応する事例が発生するなど、高齢者の保護を必要とする実態が多様となっています。今後、高齢者の増加に伴い認知症高齢者も増加し、身元不明者への対応も増えていくことが想定されるため、平成26年度に、居宅における介護等の措置(ショートステイ等)にも対応できるように吹田市老人福祉法施行細則の改正を行いました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	が、本施策は、要介護認定の申請・身です。 吹田市老人福祉法施行細則では、老 ビスを措置で行うことの定めがありま を改正し、老人ホームへの入所等の	-ビス利用者とサービス事業者との関係に 契約利用等が困難な者に対して、行政機 人ホームへの入所等の措置についての せんでしたので、平成26年4月1日付で 措置に加え、短期入所生活介護サービス サービス類型での措置が行われました。	関による措置を行うためのもの 定めはありますが、在宅サー 、吹田市老人福祉法施行細則

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成26年2月25日開催の全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料に、「都道府県の市町村支援として、虐待を受けた高齢者の緊急・一時的な避難場所の確保について広域的な観点から支援する」旨の記載があります。

事務事業名	徘徊高齢者家族支援サービス事業						
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代		

	于初于未U/M	N 文																
(1)	事業開始年度	平成13年度			文正 /	<i>t</i> >1												
(2)	直近の改正	なし		内	なし サービス事業実施要綱 ニ乗せ、横出し等あり)													
(3)	根拠法令等	吹田市徘徊高	高齢者家	族支援さ	ナービフ	ス事	業実施要網	浥										
		□ 全部		一部(上	乗せ、	横占	出し等あり)	٥	② なし	(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施で	する義務あ	59)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたヰ	場合はそ	の説明	月			<u> </u>									
(5)	総合計画の体系	章	3 健身	で安心し	して暮ら	らせ	るまちづく	IJ			節		2		細節	20)	
		:	<u> </u>		区分	分	□ 内部旬	管理		 〕 建設	事業	☑ その	 他					
		対象 (誰を、何を)			範囲	西囲等 おおむね65歳以上の徘徊のみられる認知症高齢者の同居家族												
(6)	目 的	目標(どういう状態に	こしたいの	か)	位置ねる。	 置検索システム端末機械を貸し出すことにより、行方不明になった徘徊高齢者の居場所を家族が検索でき。 。												
		結果 (どのような効果	果が得られ	(るのか)		・ 「神高齢者の安全を確保するとともに、その家族の負担軽減を図り、安心して生活できる環境をつくることにつ 「がる。												
(7)	事業概要	位置を特定するものです。																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5		項	2		目	1	大事業	3	中事業	7	小事業	2	
			項目	<u> </u>					戊26年 14年					7年度 活年度)		平成28 (2016 ²		
						-	予算(-	千円)		決算(千円)	予算(千円)	決算見	込(千円)	予算(-	千円)	
			事業費	(A)		450			50		451	486			464	1	503	
		人件費	職員	員数	人	,	0.10				0.10		0.10		0.10		0.10	
				(B)	十円	"	856							901		884		
	古光弗人		事業費(1,306				1,266	· -			1,365		·	
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源	ま(C) 国			1,048 516			1,177 472		· -		1,099		1		
		内		<u> </u>					58		236				532 266		270	
		訳 ·		<u>''</u> の他					74		469				301	<u> </u>	478	
			市負担						58		89		270		266	-	98	
		<u></u>	——— 地フ	 方債					0		0				C		0	
		内 訳 	そ0	の他					0		89		0		C		98	
		\sim	一般	対源				25	58		0		270		266	6	0	
		貝	け源計(C)+D)				1,30	06		1,266		1,387		1,365	5	1,387	
		□直接	美実施															
								1	_	コム株芸	式会社							
		☑ 委訊	モスは一部	部委託			委託先	2										
	実施方法						·かそぎゅっ	÷ +414		代 山	24個古	歩老の仕号						
(10)	 (該当するもの					王	な委託内容		-	貞し出し	, 俳個局	齢者の位置	上採系					
	は全部チェック)	☐ 1 #H	أ金∙負担	l소			交付先	(1)										
_		口 作用以	"亚- 兑担	<u>. 17</u>			人以兀	3										
		□ その)他				内容		<u> </u>									

2 評		指標等	<u>.</u> 指標項目	■		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			利用者数 (年度末)		目標値	重)	単位:人)		27.00	29.00	30.00
		指標 内容			実績値	重)	単位:人)		31.00	32.00	
	1					達成度	(%)		114.8	110.3	
		目標値			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		40.87	42.66	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		6.52	8.31	
活動指標					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)			0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	貴(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			延べ実利用月数		目標値	<u>í</u>)	単位:月)		324.00	324.00	360.00
		指標 内容			実績値	重)	(単位:月) 2		298.00	384.00	
	1					達成度	(%)		92.0	118.5	
		目標値 の積算		J	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		4.25	3.55	
2 		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.68	0.69	
成果指標			位置検索回数		目標値	<u>i</u>)	単位:回)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:回)		95.00	73.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算 方法	利用者の状況(4 位置検索回数は ⁴	‡徊行動の程度等)により、 個人差が大きく、目標設定	単位当た	総事業費(単位:千円) スト 一般財源(単位:千円)		13.34 2.13		18.70	
		方法	が困難である。		りコスト					3.64	
のが困難	1	活動 内容						目標			
難標な場合	2	成果 内容						達成 状況			
		4	・ 今後の方向性 (実施計画)	□拡充	✓ 継続	ŧ	□縮小	\	□ J	発止 □	終期の設定
(4)総7	(4)総合評価		評価の説明	認知症高齢者の増加に業の必要性は高く、また認知症高齢者支援の推携を強め、事業効果の	こ、代替と 推進を図る	なるサー ため、徘	ビスがないた。 徊高齢者SO	め、継続 [·]	する必要な	があります。	

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00424	事業名	徘徊高齢者家族支援サービス事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u>п</u> пш	100 100 1111	рт ішілік	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	u. la		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		///
			ウ/ロ 35) 日	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	3事業は目標どおりに進捗していますか。		从
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	
					点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	E	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光は1コストは第五でする (5-5)		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		_ <u></u>
(3)	効率性	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(= - /III /		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)		点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 - 東帯手法の検討や事務改善に取り組んでいる(2点)	0	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 - 株中の老な対象は、ているが、妥共者以はのませから見ても理解が得られる (0.5)		_ <u>_</u>
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。	_	_ <u>_</u>
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20)11()		③適正な受益者負担を求めていますか。 ************************************	_	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	_	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	1+ v+ 		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00424					
2 各視点	からの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)					
3	業の現状分析							
	の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組		部として重点的な取組	☑ その他			
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 刻率性				
(3)現状分	小型の電波発信機を携帯することにより不明者の位置探索を行うもので、ニーズは増加しています。認知症 地域サポート事業、徘徊高齢者SOSネットワーク事業との連携にも一層努めていく必要があります。 また、携帯機器の小型化・軽量化が進んできているため、その情報収集を行い、利用しやすい端末について 検討を行う必要があります。							
4 その他	1(国・府の動向など、)	当該事業に関係する特証	己事項)					

事務事業名	福祉事業に係る診断料助成事業							
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの			

	1 100 1 010 00																			
(1)	事業開始年度	昭和60年度		改正 大手促業受験者を対象がよりま																
(2)	直近の改正	平成24年度			内容															
(3)	根拠法令等	吹田市福祉+	ナービス	に係る	診断料	参断料助成金交付要綱														
		☑ 全部		一部	(上乗せ	、横	横出し等あり) □ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	よその説明			<u> </u>												
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健儿	康で安	心して暮	まらせ	とるまちづく	(1)				節			2		細節		20	
						分	口内部	管理			建設	 と事業	V	その他	<u>t</u>			:		
		対象(誰を、何を)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			範圍	囲等本市に居住する生活保護受給者以外の者。														
(6)	目 的	目標 (どういう状態にしたいのか) 福				 福祉事業及び介護保険事業の利用申請に伴う経済的負担を軽減します。														
		結果 (どのような効果	果が得られ	れるのか	、) 福祉	上施領	策の利用を	·促進l	し、福祉	业の	増進	を図りまっ	す。							
(7)	事業概要	本市に居住する生活保護受給者以外の者の福祉事業及び介護保険事業の利用申請のために要した健康診断料の全部又は一きす。 ①養護老人ホーム入所措置 ②短期入所生活介護(市内の施設に限る) ③介護老人保健施設入所(市内の施設に限る) ④介祉施設入所(市内の施設に限る)。																		
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	;	3	項	1		E	1	3	大	業事プ	2	中事業	4		小事業	1
		項 目						P成26 2014年						平成2 (2015	7年度 年度)			平成28 ² (2016年		
							予算(千円))	ž	夬算((千円)		予算(=	斤 円)	決算見	込(千円)		予算(千円)	
		事業費(A)			T			13	9,889		9		13,400		13,40	00		10,963		
		人件費	人件費 ├────		<u> </u>			0.30			0.30			0.30		0.3	+		0.50	
		40		類(B)		·円	2,490					2,38		•		<u> </u>				
	事業費と		事業費		3)		16,226			12,274 14			15,906		·		-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
(9)	財源の内訳		特定財法	<u>原(し)</u> 国			0			0		0				0	_			
		内 		<u>巴</u> 府			0			0				0	<u> </u>					
		訳		… の他			0			14			0				0		0	
			市負担	<u>(D)</u>			16,226			12,259		9	15,906		15,906)6	15,048		
			地	方債					0		0		0	0		0		0		
		内 訳	そ	の他					0			(0		0			0		0
		<u> </u>		设財源					,226			12,259	59 15,906		15,906		15,90			15,048
			才源計(C+D)				16	,226			12,273	3		15,906		15,90)6		15,048
		□□直接	美施			<u> </u>		1	1) (<u> </u>	+ / በ⁄ኮ	 (田市医師								
							委託先		2	<u>т.</u>	<u> </u>	·떠스마(H)	1 <u>X</u>							
		☑ 委託	☑ 委託又は一部委託				21070		3											
(40)	実施方法					主	 Eな委託内	容	健康診	诊断	の実	施及び診	断書	 非 成						
(10)	(該当するもの								1											
	は全部チェック)	口 補助	金∙負拮	旦金			交付先		2											
									3											
		□ その他				内容														

			指標項目	■		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			対象件数		目標値	(単	並位:件)		689.00	689.00	690.00
		指標 内容			実績値	(単	並位:件)		642.00	618.00	
	1					達成度	(%)		93.2	89.7	
		目標値	前年度実績を参	考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)			22.53	25.74	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		22.53	25.74	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)	0.0		0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00		0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値の装質			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)	0.00		0.00	
(3) が 困指	1	活動 内容						目標			
難な場合	2	成果 内容		護保険事業の利用申請 の利用を促進しています		負担を軽減	けることによ	達成状況	達成できて	います。	
		4	今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続	Ē	□ 縮小	`		差止 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	施設利用に伴う健康 く、市民ニーズが高い ただし、現在は、生活 今後、事業を継続し 低所得者に特化した ことになり、利用者は しながら、市民サービ	い事業です。 舌保護受給者 ていくために 事業へと変 および職員の	音を除く、 は、負担 えていく必 手間が増	すべての市民 能力のある課 必要があります える可能性か	が対象と R税世帯る Fが、所名 がありまる	さなっている を対象から 导制限を設 す。そのた。	ます。 外すなど、所得 けると、事業の め、現在の実施な	制限を設け、より 実施方法が変わる 方法で事業を継続

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00425	事業名	福祉事業に係る診断料助成事業	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(. .)	妥当性	4.4	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	3	点
(1)	(20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	3	点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	3	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	20			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	5	 点
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	3	点
(4)	(20点)	14			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	3	点
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	 点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	14			
	, /III /		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	ある ある計 の点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 高齢福祉室	事務事業番号 00	0425						
2 各視点からの評価の点数	では表れない事項(必要に応	 なじて記載)						
3 事務事業の現状分析								
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しての取組	□ 部る	として重点的な取組	☑ その他				
(2)各視点からの評価結果	持	2	妥当性 20 5 0 5 0 3 3 x **性					
(3)現状分析	施設利用等に必要な診断料はあることから必要な事業ですが要。	は高齢者にとって、経え が、事業を継続させる	済的負担となっており、施討 ためには、所得制限を設け	役利用等を手控えさせる要因で けるなど、対象者の見直しが必				
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)								

事務事業名	国保連合会共同電算処理事務事業(介護保険特別会計)								
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの				

	中加中未以	N 文														
(1)	事業開始年度	平成12年度			改正	雷华	かいまま 米があり	一								
(2)	直近の改正	平成24年度			内容	电昇	草処理手数料の	兄旦	•							
(3)	根拠法令等	介護保険法		•	•											
		□ 全部		一部(上乗せ	、横	出し等あり)		② なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたコ	場合は-	その説	明										
(5)	総合計画の体系	章	3 健原	東で安心	いして暮	らせ	 :るまちづくり			節			2		細節	30
					区	分	☑ 内部管理	1		建設事業		□ そのf	 也	<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	等 介護保険の保険者に共通する処理業務									
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)	保険	 険給付の審査等を一元処理します。										
		結果 (どのような効!	甲が廻これ	スのか)	事務	子の交	効率化を図りま [.]	す。								
(7)	H27事業別					付管理表と、市 保険団体連合会 項		手数 				ナ ー ビス事 	業者が請 中事業	求を行うが 1	ト護報酬請求書との 小事業 1	
(0)	予算コード	五司	12	款	'							八爭未			l	
		項目						平成2 (2014					平成2 (2015	7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)
							予算(千円])	;)	予算(-	千円)	決算見記	込(千円)	予算(千円)
			事業費	(A)				2,503		2	,266		2,636		2,636	2,779
		人件費	職員数 人件書		<u> </u>		2,568		0.30			0.30		0.30	0.30	
				総額(B) 千円		円				2	,445		2,701		2,701	2,651
	士业 # 1		事業費(1		5,071				,711			5,337		5,430
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財派				0			2	,445					
		內		国 ——— 苻			0				0					
		訳 <u></u>		<u>''</u> の他			0			2	,445					
			市負担					5,071	2,266				5,337		5,430	
		$\widehat{}$	地	方債				0			0		0		0	C
		内 訳	そ(の他				5,071		2	,266		5,337		5,337	5,430
		\smile		財源				0			0		0		0	С
		·	け源計(C	(+D)				5,071		4	,711		5,337		5,337	5,430
		□ 直接	美施 —						→ RE	佐国民海	车/兄(険団体連合				
							委託先	① ②	八队	州国民健康	表 不 !	火凹冲连 口	<u> </u>			
		☑ 委託	モ又は一	部委託			У 1676	3								
(実施方法				-	É	こな委託内容		給付	費の審査及	 及び 5	支払に関す	 る業務			
(10)	(該ヨ9つもの							1								
	は全部チェック)	□ 補助	カ金∙負担	金金			交付先	2								
							3									
		□ その	他		内容											

		1指標等	指標項目	1		項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			基本処理件数		目標値	(単位:件)	4	01,052.00	438,758.00	464,763.00
		指標 内容			実績値	(単位:件)	4	01,822.00	427,889.00	
	1					達成度(%)		100.2	97.5	
_		目標値	前年度実績額を	参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		0.01	0.01	
1) 二		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	目標値 (単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
(の3 が) (困ち	1	活動 内容					目標			
困難な場合	2	成果内容	国保連合会に業績す。	務委託することにより、市	うの支払事務の	の効率化を図っていま	達成状況	達成できて	います。	
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続					終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	国保連合会に業務委	き託すること	こより、市の支払事務(の効率化	で図ること	かできます。	

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00426	事業名	国保連合会共同電算処理事務事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	•••••••••••	
(. 1)	妥当性	00	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	·i	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	·i	
(0)	有効性	40	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	·i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u>. </u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	-i	
<i>(</i> - <i>)</i>	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	-i	
		a. 他の事業・取組と連携して	a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	-	
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。	·i	
(4)	公平性		内部管理		点
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。	·i	
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	·i	
<i>(</i> - <i>)</i>	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	·i	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	.i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号 00)426			
2 各視点	いらの評価の点数で	では表れない事項(必要に応	なじて記載)			
3 事務	事業の現状分析					
	きの位置付け	主要な政策課題		部として重点的な取組	Ø	その他
(2)各視点	いらの評価結果	持	続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 对率性		
(3)現状分	↑析	介護保険の給付はサービス事 より効率化を図っていることか	業者からの請求 ら必要な事業で [*]	を大阪府国民健康保険団体選 す。	連合会で審査	₹務を行 う ことに
1 204	 h(国。		≠ ⊥ 星 /			
4 7 WIL	ら(Par Inj V) 判旧なる、	当該事業に関係する特記事	产快			

事務事業名			電算保守事業(介護保険特別会計)	電算保守事業(介護保険特別会計)					
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの				

	争務争系の機	X 安																	
(1)	事業開始年度	平成11年度			改正	なし													
(2)	直近の改正	なし			内容	<i>'</i> &C	•												
(3)	根拠法令等	なし																	
		□ 全部		一部(上乗せ	∵、横	出し等あり	J)		V	なし	(国•府	計制	度もしくは流	去令等で	市が実施す	する義務を	59)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	その説	明													
(5)	総合計画の体系	章 3	健儿	康で安心	ごして暮	事らせ	とるまちづく	(1)				節			2		細節	30)
		<u> </u>	<u> </u>		×	分	☑ 内部	管理			建設	*事業		□ その他	<u>h</u>			<u>:</u>	
		対象 (誰を、何を)			範	囲等	介護保険	シスラ	テム										
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの)か)	介部	介護保険システムの安定的な稼働													
		結果 (どのような効果	きが得られ	れるのか)	介部	镁保院) 食事務の効	小率的	- 円洲	骨な遅	運営								
(7)	事業概要 H27事業別	介護保険シス		1	こいる+	ナ— <i>ι</i>	T	ドクラ ~	イアン			システ	ム 阝			Т	6保守	الداخلة المالد	
	予算コード	会計	12	款		1	項	1	ı		<u> </u>	1		大事業	4	中事業	1	小事業	1
		項目							平成2 (2014							7年度 (年度)		平成28 (2016 ²	
							予算(千円))		決算((千円)		予算(=	戶円)	決算見	진(千円)	予算(-	千円)
		事業費		業費(A)			20	0,092			20,0	91		20,092		20,092	2	20,140	
		人件費 一	版員数 人件書		,	人			0.60			0.	60		0.60		0.60		0.60
		7 411 30	総名	総額(B) 千円		円			5,135			4,8	90		5,402	5,402	2	5,301	
	alle -++- t			(A+B)		25,227			5,227							25,494		25,44	
(9)	事業費と 財源の内訳		持定財法			0			.,,,,,				+		-		0 (
		内 ——		国 府		0			_								0		
		訳		^M の他			0			4,889					+		+	0	
			 市負担					25	5,227	20,091								25,441	
		~	地	 方債					0				0		0		C		0
		内	そ	の他				25	5,227			20,0	91		25,494		25,494		25,441
		· ·	一 舟	投財源					0				0		0		C		0
		則	才源計(C+D)				25	5,227			24,9	80		25,494		25,494		25,441
		□□直接	実施							1.1									
	実施方法	☑ 委託	又は一	·部委託			委託先		① ② ③	株式 ————————————————————————————————————	会社	日立製	作品	所 関西支衫	<u> </u>				
(10)						É	とな委託内	容		保険	シス	テムの伊	录守	管理					
	(該当するもの は全部チェック)			_ ^					1										
		□ 補助	金•負扎	旦金			交付先		2										
		□ その	□ その他			 内容		3											
	1		□ その他						4										

			指標項目			項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			介護保険第1号被	《保険者数	目標値	(単位:人)		80,693.00	82,980.00	86,872.00
		指標 内容			実績値	(単位:人)		82,197.00	84,632.00	
	1					達成度(%)		101.9	102.0	
		目標値	第6期介護保険事	業計画値	単位当た	総事業費(単位:千円)		0.30	0.30	
1 0		の積算 方法			りコスト	リコスト 一般財源(単位:千円)		0.00 0.00		
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 - 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
へ の3 が また	1	活動 内容					目標			
困難な場合	2	成果 内容		、の保守管理により、安 勺・円滑な運営を行って		の稼働を実現し、介護	達成状況	達成できて	います。	
	•	4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小	`		廃止 □	<u>終期の設定</u>
(4)総	合評			介護保険事務の効	率的・円滑な	運営に業務の委託が必	必要となっ	っています。	0	

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00427	事業名	電算保守事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
тіш 	107]兀灬		①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			①没部分担の観点から兄で、川の渕子のめり力は適切ですか。 	E	
				3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 ************************************		<u> </u>
(1)	妥当性 (20点)	20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(==71117		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	-	<u> </u>
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点) 	5	点
	(20無)		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	 E	
			a.目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	:	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
, ,	(20点)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	:	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	:	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u></u>	
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	0	内部管理		点
(4)	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(E)	持続可	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00427							
2 各視点	いらの評価の点数で	は表れない事項(必要に)	応じて記載)							
3 事 務事	事業の現状分析									
(1)本事業	ぐの位置付け	主要な政策課題 □ としての取組		部として重点的な取組	☑ その他					
(2)各視点	子標点からの評価結果									
(3)現状分	计析	介護保険の資格管理から給(守管理が必要です。	付管理まで電算シ	ステム化しており、業務上必須	夏のシステムであり、適切な保					
4 その他	也(国・府の動向など、:	当該事業に関係する特記	事項)							

事務事業名		介護保険システム改修事業(介護保険特別会計)										
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの							

<u> </u>	争務争耒の概安																		
(1)		平成11年				女正 内容	介護	雙報酬改定	等										
(2)	直近の改正	平成26年	E度 ———		, P	1台													
(3)	根拠法令等	なし																	
		□ 全部			一部(」	(上乗せ、横出し等あり)					☑ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にき	チェック	した場	易合はそ	の説)説明 												
(5)	総合計画の体系	章	3	健康	で安心	して暮	して暮らせるまちづくり						節		2	細節		30)
						区	分	☑ 内部	管理			建設	事業	□ その	他				
(6)		対象 (誰を、何	·を)			範囲	事	介護保険	システ	FL									
(6)	目 的	目標(どういう状	態にした	<u>-</u> いの#	ئ ر)	介護	介護保険システムの適正な稼動												
		結果 (どのような	効果が後	得られ	るのか)	介護	保险	倹事務の効	∣率的	•円》	骨な選	堂							
(7)		介護保険	システム	ムで使	,	ヾ一機及び 	クライ	(アン	小機	などの	システム	関係機器と	ソフトウェ	アに関する	改修事業				
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	12	款	1		項	1	ı		Ħ	1	大事業	4	中事業	1	小事業	2
			I	項目]					平成2 2014						?7年度 5年度)		平成28 (2016 ²	
							予算(千円)					—— 決算(千円)	予算(予算(千円)		決算見込(千円)		千円)
			事:	業費((A)				40	,025			40,025	5	111,118		111,118		15,026
		1 /4L ##		職員	数)				0.30			0.30)	0.25		0.25		0.25
		人件費 ├─		総額(B) Ŧ		千	円	2,568		2,568	3		2,445	5	2,251		2,251		2,209
			4+B)	Į			42	42,593		42,470)	113,369		113,369		17,235		
(9)	事業費と		特定	財源	(C)					0		16,404		1			9,000		0
()	財源の内訳			Ξ	Ē					0		13,959)	0		9,000		0
		内		序	र् ग					0			C)	0		0		0
		\smile		その						0			2,445		0		0		0
			市	負担(42	2,593			26,066		113,369		104,369		17,235
		内		地方					40	0			00.000		112.200		104.000		17.005
		訳		その fur	ノ他 財源				42	2,593			26,066		113,369		104,369		17,235 0
			—————————————————————————————————————		+D)				42	2,593			42,470		113,369		113,369		17,235
			直接実施		<i>10</i> /				72	.,000			72,770	<u>/ </u>	110,000		110,000		17,200
										1	株式	 :会社	 日立製作	 所 関西支	 社				
			チジャル	· L +	n T =~			委託先	-	2									
	中长士 :+	☑ ∄	委託又に	エー#	祁安 託					3									
(10)	実施方法						È	な委託内	容	シス・	テム	改修							
	(該当するもの は全部チェック)									1									
	·ひエ HPノ エノノ/	□ネ	補助金•	·負担	金			交付先		2									
										3									
1		 □ その他						内容											

			指標項目			項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			介護保険第1号被係	保険者数	目標値	(単位:人)		80,693.00	82,980.00	86,872.00	
		指標 内容			実績値	(単位:人)		82,197.00	84,632.00		
	1					達成度(%)		101.9			
		目標値	第6期介護保険事業	美計画値	単位当た	総事業費(単位:千円)		0.52	1.34		
1) ;		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
2 。 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
成 果 指 標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容				(単位:)		0.00	0.00		
	2						達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の の 3 が 、 医 場	1	活動 内容					目標				
困難な場合	2	成果 内容	法改正等対応のたるを実現し、介護保険			、システムの適正な稼働	達成状況	達成できて	います。		
	•	4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小	`		秦止 □	 終期の設定	
(4)総	合評			↑護保険事務の効	率的・円滑な	運営に業務の委託が必	必要となっ	っています。			

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00428	事業名	介護保険システム改修事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
тіш 	107]兀灬		①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			①没部分担の観点から兄で、川の渕子のめり力は適切ですか。 	E	
				3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 ************************************		<u> </u>
(1)	妥当性 (20点)	20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(==71117		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	-	<u> </u>
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点) 	5	点
	(20無)		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	 E	
			a.目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	:	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
, ,	(20点)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	:	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	:	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u></u>	
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	0	内部管理		点
(4)	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(E)	持続可	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数・	では表れない事項(必要に応じて詞	记載)	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 15 10 5 公平性 効率性	有効性
(3)現状分析	業務上必須のシステムについて、法さす。	数正、制度改正に柔軟に対応する :	ために適切なシステム改修が必要で
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)		
法改正対応、マイナンバー制度対	応のシステム改修が必要です。		

事務事業番号

00428

所属名 高齢福祉室

事務事業名			賦課徴収事業(介護保険特別会計)						
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの				

	事務事業の概	发安																
(1)	事業開始年度	平成12年度			改正	△ □	集化 吟火 へ	34 ∓										
(2)	直近の改正	平成27年度			内容	が設	護保険料の	以正										
(3)	根拠法令等	介護保険法、	吹田市	介護保障	険条例													
		□ 全部		一部(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	トる義務あ	59)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした	 :場合は ⁻	その説	·)説明												
(5)	総合計画の体系	章 3	健	 康で安心								<u></u>	2 細節			30	<u> </u>	
		<u> </u>			区					 □ 建	設事	 業	□ その	 他				
		対象 (誰を、何を)				囲等	介護保険の		 号被∱	 保険者	(65)	歳以上						
(6)	目的	 目標			第1	第1号被保険者に対し、介護保険料の適正な賦課及び徴収を行います。												
		(どういう状態に	したいの)か)	- 赤	オ・つ												
		結果 (どのような効果	い得られ	れるのか)	介護	介護保険運営の財源確保												
(7)	事業概要 H27事業別	第1号被保険振替など保険	料収約	外の業務を 			•) (大学)		i知書	や納付	T		Т	課及び督	1 :	や口座
(8)	□2/尹未別 予算コード	会計	12	款	1	1	項	2		目		1	大事業	2	中事業	1	小事業	1
			項	目					成26 014年						?7年度 5年度)		平成28 (2016 ²	
							予算(千円)		決算	拿(千	円)	予算(千円)	決算見違	込(千円)	予算(-	千円)
				業費(A)			29,97					29,380		32,433		32,433	3	29,038
		大件費 職員数				人		6.00				6.00		<u> </u>	5.00	+	6.00	
			総額(B)			·円						48,894		45,015	<u> </u>	45,015		53,010
	事業費と			(A+B)			81,32					78,274		77,448		77,448		82,048
(9)	財源の内訳	1	寺定財	<u>源(U)</u> 国					617			49,504	+				•	
		内 		<u>-</u> 府					0	0			0					0
		訳	そ	· ·の他					617			49,504		603		603	3	53,628
		<u>'</u>	市負担	<u>∃(D)</u>				80,7	704			28,770		76,845		76,845	j	28,420
			地	方債					0			0)	0		C		0
		内 訳		の他				80,7	704			28,770)	76,845		76,845	i	28,420
		<u> </u>		般 財源					0			0		0		C		0
				C+D)				81,3	321			78,274		77,448		77,448	3	82,048
		☑ 直接	夫 他						1									
							委託先	<u> </u>	2									
		□ 委託	又は一	-部委託			241272		3									
(10)	実施方法					È	Eな委託内	容										
(10)	(該当するもの は全部チェック)							(1									
	16 エ IP / エンノ/ 	口 補助	金•負	担金			交付先	<u> </u>	2									
								(3									
		□ その	□ その他				内容											

			指標項目	1		項目		26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			第1号被保険者係	保険料	目標値	(単位:千円)	4,9	61,463.00	5,552,550.00	5,395,173.00
		指標 内容			実績値	(単位:千円)	4,8	42,800.00	5,317,646.00	
	1					達成度(%)		97.6	95.8	
		目標値	第1号被保険者数	枚の推計により積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		0.02	0.01	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の3 がシ 困指	1	活動 内容					目標			
難な場合	2	成果 内容	第1号被保険者に 営のための財源の		Eな賦課及び徴	対収を行い、介護保険運	達成状況	達成できて	います。	
	•	4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続	□縮小	`	□ 月	差	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明			護保険法の規定により を行う必要があります		さ定められ	れており、介護保	険制度運営のた

所属名	高齢福祉室				
事務事業番	号 00429	事業名	賦課徴収事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
a+1Ⅲ 	107稅总	計៕从			
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
	(1) 妥当性 (20点)		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(1)		20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性	20	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u> </u>	
		18	a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
				i	
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	
(3)	(20点)				
	(20,55)			5	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	┈ │ 点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u> </u>	VII.
			内部管理		 点
			②サービスの水準は適正ですか。		
	77 17 44		内部管理		 点
(4)	公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		 点
			4公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			ウムー圧と 唯		 点
			1 事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		<i>m</i>
				E	
			a. 事業員や同負担はほどんと増加していない。(3点) ②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	3	点
	持続可			F	
(5)	能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	_	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00429	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 15 10 有効性 公平性 対率性	
(3)現状分析	いる。また、社会保険方式を取り入れするという制度設計が介護保険法等 この負担分については、第1号被保	で支えるしくみとして、制度発足し、介護んており、介護給付費の22%は第1号被保により規定されています。 と険者に対し保険料として負担を求めるた 保を図るためには、本事業を実施する必	段者(65歳以上の方)が負担 か、介護保険料の賦課・徴収

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の制度改正で、低所得者に対しての公費による保険料軽減が実施されました。

事業番号 00430

事務事業名			護認定審査会事業(介護保険特別会計)		
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

	事務事業の機	,似安																	
(1)	事業開始年度	平成11年	度			b正 ·	要介	▶誰認定等 <i>(</i>	の見禕	= .									
(2)	直近の改正	平成24年	度		, P	P容 [:]	又刀	介護認定等の見直し											
(3)	根拠法令等	介護保険	法、吹日	田市が	个護保険	条例	·····································												
		□ 全部			一部(上	乗せ、	、横	出し等あり)	[ュ なし	~(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	る義務あ	り)		
(4)	市単独事業区分	一部にき	チェックし	した均	易合はそ	の説明	月												
(5)	総合計画の体系	章	3	健康	で安心	して暮	らせ	 :るまちづく	ij			節		2	;	———— 細節	30	o	
		<u> </u>			区分	分	☑ 内部	管理		 □ 建i	 没事業	□ その1	 也	<u> </u>					
		対象 (誰を、何を)				範囲	等	被保険者											
(6)	目 的	目標 (どういう状)	態にした	いのか	か)	全国	— 往	車の基準に	基づき	· . 公□	₽∙公正	な審査判定	三の実施に。	よる要介記	護認定を行	います。			
		結果 (どのような	効果が得	得られ.	るのか)	適切	な介	↑護サービス	スの利	用									
(7)	事業概要 要介護認定調査票、特記事項、 H27事業別 企业 10 地				〔 、主治	治医 疗	·		会資料 ——		づく介護認定	T :	運営に関	l i		.l. == **			
(8)	予算コード	会計	1	12	款	1		項	3		目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1 	
		項目								成26 ⁴ 014年					7年度 年度)		平成28 (2016:		
		Λ -						予算(-	千円)		—————————————————————————————————————	(千円)	予算(-	千円)	決算見辺	以(千円)	予算(-	 千円)	
			事	業費((A)	_			149,5	551		130,277		156,210		156,210		158,018	
		人件費	,	職員	員数	人	•		2	2.00		2.00		2.00		2.00		2.00	
		NII X		総額	į (B)	千F	円		17,1	116		16,298		18,006		18,006		17,670	
						166,6			146,575		174,216		174,216		175,688				
(9)	事業費と 財源の内訳		特定	財源						58		16,331		57		57		17,728	
		内 —		<u> </u>	国 守					0		0		0		0			
		訳								58		16,331		57		57		17,728	
		一 その他 市負担(D)						166,6			130,244		174,159		174,159		157,960		
		地方債					0		_				0						
		内訳その他		D他				166,6	609		130,244	174,159			174,159		157,960		
		一般財源							0		0		0		0		C		
					+D)				166,6	667		146,575		174,216		174,216		175,688	
		☑ [[直接実施	他															
								ᆍᆉ	<u> </u>	1									
			委託又に	ま一部	部委託			委託先	<u> </u>	3									
	実施方法					-	主	 Eな委託内?		<u> </u>									
(10)	(該ヨ9つもの							2		1									
	は全部チェック)	□ネ	補助金∙	負担	金			交付先	(2									
									(3		_	_						
		□ その他				_	内容												

			指標項目	1		項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			要介護・要支援認	認定申請件数	目標値	(単位:件)		17,579.00	17,960.00	18,458.00
		指標 内容			実績値	(単位:件)		15,790.00	16,800.00	
	1					達成度(%)		89.8	93.5	
_		目標値		を参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		9.28	10.37	
1 ``		の積算 方法			りコスト			0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
	1	指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
						達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の の 3 が 困指	1	活動 内容					目標			
難な場合	2	成果 内容		において、公平・公正な]な介護サービスの利見		施による要介護認定を行 ます。	達成状況	達成できて	います。	
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続	☑縮️	`	□ 月	≨ □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明		ならないもの	保険法及び吹田市介 です。平成29年4月か います。				

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	- 00430	事業名	介護認定審査会事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	i	
(4)	妥当性	00	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	ii	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	ii	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	·	
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
	/ox 有効性		②事業の目的と受益者が一致していますか。	ii	
(0)			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	ii	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	i	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u>:</u>	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	ii	
<i>(</i> - <i>)</i>	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	i	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u>.</u>	
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。	ii	
(4)	公平性		内部管理		点
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。	ii	
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	i	
			内部管理		·····································
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u>:</u>	
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	ii	
<i>,</i> _ <i>,</i>	持続可	, -	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
(5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	ii	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00430		
2 各視点	からの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)	_	
3 事 終 事	■業の現状分析				
	の位置付け	主要な政策課題	□ 音	3として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 有 効性	
(3)現状分	`析	努めています。 平成25年度(2013年度)から で行う審査件数は概ね20件だ け早く通知できるようにしてい 1合議体の委員数を1名減ら	ら、合議体の構成を変から30件としている。 います。 らすことにより、委員幸 な保が課題です。審査	変更し、1合議体あたりの委員 審査会をできるだけ開催し、 吸酬を減らすことには貢献で 会開催決定後に審査会委員	に公平・公正に実施するように 数を5人から4人とし、1合議体 申請者の認定結果をできるだ きますが、2名欠席で審査会が 員欠席による中止も発生してお えています。
4 その他	也(国・府の動向など、:	当該事業に関係する特記	己事 項)		

事术自
--

事務事業名		į	認定調査等事業(介護保険特別会計)		
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

ı	事務事業の機	X 安																	
(1)	事業開始年度	平成11年度			改正 認定調査員テキストの改訂														
(2)	直近の改正	平成24年度			内容	心心人	E	+ /\l	ЧОУ ЦХ	(a J									
(3)	根拠法令等	介護保険法	護保険法																
		□ 全部 □ 一部(上				 (上乗せ、横出し等あり)				☑ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした場合はその記				·													
(5)	総合計画の体系	章 3	健児	 康で安心	ごして着	まらせ	L とるまちづく	IJ				節		2		細節	30)	
(6)		:: 対象 (誰を、何を)			区分		□ 内部管理				建設	 b 事業	☑ その)他			<u>:</u>		
					節匪	里等													
	目 的	(とついう状態にしたいのか)				申請に基づき、市もしくは事業者が被保険者の要介護・要支援認定を行います。													
		(どのような効果	が得られ	れるのか)	適正	な多	要介護∙要支	乏援 認	&定を 	行う	ことか	べできます	0						
(7)	争未似安	被保険者からされているか。				護認 別	定審査会に	おけ	·る要:	介護	•要支	援認定を	行うための)調査及び -	一部委託	としている	調査が適正	に実施	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	1	1	項	3	3	F	1	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1	
		項目					平成26年原 (2014年度								27年度 5年度)		平成28 (2016 <i>:</i>		
							予算(千円)			;	決算(千円)		予算	予算(千円)		決算見込(千円)		予算(千円)	
			事業費	業費(A)				88	3,318			81,925	5	96,120		96,120)	98,458	
		│ │ 人件費 ├	職	職員数 総額(B)			3.20			3.20)	3.20		3.20		3.20		
						円	27,386					28,810		28,810		28,272			
		総	1	115,7						108,002		124,930		124,930					
(9)	事業費と 財源の内訳	特定財源(C)				24			248	26,253									
		(内) (内) (内) (日) (日) (0	0								0	
						2			248			26,253		253		253			
		**					115,456												
		(地方債 内 その他							0	0 0			0		0		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
							115,45			81,749		124,677		124,677		98,204			
									0			C		0		C		0	
							115,704				108,002	2	124,930		124,930)	126,730		
		□ 直接	実施																
							1		居宅	介護	支援事業	所ほか							
		☑ 委託	又は一	部委託			委託先		2										
	実施方法		☑ 委託又は一部委託					3	<u> </u>	, _ I _	7 T A =#								
(10)	(該当するもの							1	甲請	に係	る要介護・	要支援認	定調査						
	は全部チェック)					交付先		1											
								② ③											
						内容		9											

			指標項目	■		項目			16年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			調査件数		目標値	(単位:件)			17,481.00	18,189.00	18,647.00	
		指標 内容				(単位:件)			16,251.00	16,486.00		
	1					達成度(%)			93.0	90.6		
		目標値	前年度実績を参え	考に積算	単位当た	総事業費(単位	総事業費(単位:千円)		6.65	7.58		
1 ————————————————————————————————————		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00		
活動指標					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)			0.00	0.00		
	2					達成度(%)			0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位	:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位	:千円)	0.00		0.00		
		指標 内容			目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00	
					実績値	(単位:)			0.00	0.00		
	1					達成度(%)			0.0	0.0		
		 目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位	:千円)		0.00	0.00		
2 · 成		方法			りコスト	一般財源(単位	:千円)		0.00	0.00		
成果指標					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)			0.00	0.00		
	2					達成度(%)			0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位	:千円)		0.00	0.00		
の3 が あ 困指	1	活動 内容						目標				
開業な場合	2	成果 内容		E判定が行えるよう、平差 利用につながっています		達成できています。 達成 達成 状況			います。			
	_	4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続		縮小	□廃止□終期の			終期の設定	
(4)総·	(4)総合評価		評価の説明	介護を必要とする高険給付を行うととも合き業が実施される	に、介護保険	制度の基礎を引	をえてい	ます。平				

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00431	事業名	認定調査等事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ш та 	1071九	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
	妥当性 (20点)		① 投引力担の観点がら足し、中の関子のめが力は過りとすが。 	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
				5	 点
(1)		20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			○社会状況の変化で時間の性過に中い、事業の失態思報が得化でいると70万。 	5	 点
			a. 失過急報はする頃じている。(0点) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u> </u>	
				5	 点
			1 音転的な		
			①// 到151宗 * 行刃151宗 (1 0 (1 1 0) と 単 1 1 3 1 1 1 宗	5	 点
			a. 冶動指標で有効指標には、他们との比較も可能な、それぞれがの定量的な指標設定をしている。(3点) ②事業の目的と受益者が一致していますか。	U	
				5	 点
(2)	有効性 (20点)	20	a. 事業の自的と受益有は光生に一致している。(5点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u>.</u>	
	(= : /III /				 -
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) ④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点		5	点
				_	<u> </u>
				5	点
	効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	_	<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
	公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 	······································	
			a. 不特定多数を対象としている。(5点) 	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。	······································	
(4)			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	······································	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	·	
		12	c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	· <u>·</u> ·····	
(5)	持続可 能性 (20点)		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	······	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	·i····	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名。高齢福祉室	事務事業番号 00431								
2 各視点からの評価の点数	では表れない事項(必要に応じて	記載)							
3 事務事業の現状分析									
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他						
(2)各視点からの評価結果	子続可能性								
(3)現状分析	に公平・公正な審査判定が行えるよ きるように努めています。	隻度の審査判定を行うための調査であり、 うな調査を実施し、わかりやすい調査結果 も も も も も も も も も も も も も も も も も も も	果が介護認定審査会に提供で						
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)									
	一の予不ではぶりで可可予以/								

事務事業名	居宅介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)									
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの					

	事務事業の機	5. 安																
(1)	事業開始年度	平成12年	丰度			文正 /	介謹	観響 しゅう ちゅう ちゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう し	等									
(2)	直近の改正	平成26年	拝度			内容 ′	צוו וע		~1									
(3)	根拠法令等	介護保険	法															
		□ 全部			一部(上	上乗せ、横出し等あり)					し (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							
(4)	市単独事業区分		チェック	した均	易合はそ	の説明	月											
(5)	総合計画の体系	章	3	健康	で安心	して暮	らせ	るまちづくり				節		2		細節	3	0
		<u> </u>				区分	分	□ 内部管	理			———— 設事業	✓ その	 他			<u> </u>	
		対象 (誰を、何	可を)			範囲	等	介護サービス	スを利	川用	された豆	要介護者						
(6)	目 的	目標 (どういうり	犬態にした	こいのフ	か)	介護	給付	けを行うことで	、要介	 介護	者が必	多要なサービ	スを受給で	ごきるように	こします。			
		結果 (どのような	·· 共 田 160	细こね	704)	要介												
(7)	事業概要 H27事業別	別 今計 12 地 1						1	·護給 ———	·付 3		合します。		1	山東安	1	小車業	-1
(8)	予算コード	会計		12	款	2		項			目	l	大事業	l	中事業	1	小事業	I
			J	項目]						年度)				:7年度 6年度)		平成28 (2016)	
								予算(千	円)		決算	算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)		予算(千円)	
			事業 ————————————————————————————————————			T		10,2	298,68	83		9,649,190					1	0,934,976
		人件 人件	₽		員数 ———	스			0.5	+		0.50		0.50		0.50		0.50
		#W			☆額(B) 千円		円	4,27				4,075	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		+			4,418
	事業費と				A+B)		10,302,96											
(9)	財源の内訳		1寸人	官財源 			9,011,3 ² 2,327,0 ⁷						-					
		内 —			<u>=</u> 守				353,67	-		1,260,742				1,315,609		1,427,976
		訳			<u></u>				330,59	-		4,962,721		5,207,581		5,207,581		5,523,069
			市	負担	(D)			1,2	291,61	15		1,224,328		1,256,297		1,256,297		1,474,266
		\bigcap		地フ	方債					0		0		0		0		
		内		その	D他			1,2	291,61	15		1,224,328		1,256,297		1,256,297		1,474,266
		<u> </u>		一般	財源					0		0	0		0			
					;+D)			10,3	302,96	62		9,653,265	1	0,054,878	1	0,054,878	1	0,939,394
			直接実施	施														
								太 武		-	大阪 /村	国民健康保	陝団体 連領	3 会				
		V	委託又に	は一き	邬委託			委託先	3	-								
	実施方法					-		 な委託内容				等支払事務 等支払事務						
(10)	(該ヨ9るもの							- VXIII 177	1	Т	· 只 C i u	シー・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション						
	は全部チェック)		補助金・	• 負担	金			交付先	2									
			_	. <u>-</u> —					3	-								
			その他					内容		1								

2 評	<u>, ш</u> , У	指標等	r 指標項目	<u> </u>		項目		26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費		目標値	(単位:千円)	10,2	98,683.00	10,050,376.00	10,934,976.00
		指標 内容			実績値	(単位:千円)	9,6	49,190.00	9,957,266.00	
	1					達成度(%)		93.7	99.1	
		目標値	前年度実績額を教	参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		1.00	1.01	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標	指標内容				実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
						達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位 当 <i>t-</i>	総事業費(単位:千円)		0.00		
2		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
の の が	1	活動内容					目標			
困指 難標 なで			介護給付を行うこ	とで、要介護者が必要	なサービスを受	給できています。		達成できて	います。	
なる場合	2	成果 内容					達成 状況			
		4	<u> </u> 	□ 拡充	□ 継続		<u> </u> \		季 止 □	———— 終期の設定
			(実施計画)			, - - - - - - - - -				
(4)総	(4)総合評価		評価の説明							

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00432	事業名	居宅介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	, m
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	点
				F	<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) ①単位当たりコストは適正ですか。 	5	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	E	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	5	点
			4) 事 采 于 法 の 検 討 、 事 務 改 善 に 取 り 組 む な と 、 事 采 効 卒 の 向 工 に 労 め)	F	
			a. 事業于法の検討や事務収書に取り組み、具体的な成果を工りている。(3点) ①サービスの対象範囲は適正ですか。	5	点
			①リーに入び対象配西は過止ですが。 	3	
				.	点
			②サービスの水準は適正ですか。 - サービスの水準は適正で、野菜者以外の末足から見ても理解が得られる (5点)	E	.
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	3	点
	(==71117)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	Э	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	4	<u> </u>
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	I	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	-4	<u> </u>
(5)	能性	12	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	<u> </u>	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	_	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	_	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00432	
2 各視点	はからの評価の点数では表∤	ない事項(必要に	応じて記載)	

5 争扬争未必统队为机			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	要介護者が地域で生活をするための 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。	ス給付であり、適正に執行しています。)欠かせない制度となっています。 用者が増加することが見込まれるため事 率化を図っており、これ以上の効率化は	

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

事業番号 00433

事務事業名	施設介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)									
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの					

	事務事業の機	双 安															
(1)	事業開始年度	平成12年度			改正	☆影	養報酬の改定 領	É									
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	JI ā	支手以印川 ひんしく 人とう										
(3)	根拠法令等	介護保険法															
		□ 全部	I	□ 一部	(上乗t	≛、横	出し等あり)		☑ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしア	た場合に	はその訪	护明			<u> </u>								
(5)	総合計画の体系	章	3 俊	 建康で安	心して	暮らも	±るまちづくり			節			2		細節	30)
					Σ	☑分	□ 内部管理	里		建設事業	<u> </u>	☑ その	 也			<u>i</u>	
		対象 (誰を、何を)			範	囲等	囲等 施設サービスを利用された要介護者										
(6)	目 的	 目標 (どういう状態):	こしたい	 いのか)	介詞	護給化	すを行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できるようにします。										
		結果			——————————————————————————————————————	│ │ │ 要介護状態でも、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようになります。											
		(どのような効果	果が得ら	られるのか	》) 安:		仄悲 ぐも、彫刀	しかし		パロ日常	生活を	と名むことか	いできるよう	フルームりまり	9 。		
(7)		要介護者が入所する介護保険施設に対して、介護給付費を支給します。															
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款		2	項	1	目		2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
			項						6年度 年度)					· 7年度 i年度)		平成28 (2016	
							予算(千F	9)	決	.算(千円	9)	予算(千円)	決算見記	入(千円)	予算(千円)	
			事業費(A)				5,73	35,452		5,56	67,224		5,814,722		5,814,722	(6,200,675
		人件費	Į į	職員数		人	0.50							0.50		0.50	
			総額(B			戶円	4,279		4,075		4,502		4,502				
	Alle I			費(A+B	3)	5,739,7								5,819,224			
(9)	事業費と 財源の内訳		特定則	け源(C)		5,018,			+				5,087,882				
		内		国 府				63,926 03,704							1,078,630 1,017,576		1,150,225
		訳		<u>^N</u> その他				50,890			58,596		1,017,576 2,991,676		2,991,676	+	
				担(D)				21,211			08,072				731,342		
				· <u>········</u> 地方債				0			0		0		0		0
		内 訳	ز	その他			7:	21,211		70	08,071		731,342		731,342		835,982
		<u> </u>	_	-般財源				0			1	0			0		0
		Ţ		(C+D))		5,73	39,731		5,57	71,299	,	5,819,224		5,819,224	(6,205,093
		□直接	実施														
							委託先	① ②	大阪府	守国民 優	≢康保	険団体連合	·会 ———				
		☑ 委訊	E又は-	一部委託	ŧ		24	3									
(40)	実施方法					Ė	 主な委託内容	介護	給付書	貴等支払	い業績	 務					
(10)	(該ヨ9つもの)							1									
	は全部チェック)	□ 補助	助金∙負	担金			交付先	2									
								3									
		□ その他					内容										

			指標項[∃		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費		目標値	(単位:千円)	5,735,452.00	5,814,772.00	6,200,675.00
		指標 内容			実績値	(単位:千円)	5,567,224.00	5,717,103.00	
	1					達成度(%)	97.1	98.3	
		目標信	前年度実績額を	参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)	1.00	1.02	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標信	直		単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容				(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値の積算	直		単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
2) 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
の の が 困 お	1	活動内容					目標		
指標で示す	2	成果 内容		ことで、要介護者が必要な	なサービスを受	合給できています。	達成でき ⁻ 達成 状況 	ています。	
			今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小		廃止□;	 終期の設定
(4)総合評価		価	評価の説明	介護保険法に基づく	(事業であり、	行政が実施すべき事業	業です。		

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00433	事業名	施設介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

評価	iの視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
妥当性 (20点)		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	·		
4 \	妥当性	1 /11	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
1)	(20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	· i	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	1	
0)	有効性	10	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	. 	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	·	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	.i	
0)	効率性	1 711	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
3)	(20点)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	-	
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。	,i	
4)	公平性	10	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	, i	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	·	
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	1	
_\	持続可	10	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00433	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	ない事項(必要に	応じて記載)	

3 争份争未仍况认为例			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	要介護者が地域で生活をするための 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。	ス給付であり、適正に執行しています。)欠かせない制度となっています。 用者が増加することが見込まれるため事 率化を図っており、これ以上の効率化は	

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。 さらに特別養護老人ホームへの新規入居者の要件が原則要介護3以上とされました。

事未留 7 00404

事務事業名		居宅介	r護福祉用具購入事業(介護保険特別会	計)	
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

(1)	事業開始年度	平成12年度	•	改正	E	# 却悪のひ亡	- <i>tele</i>								
(2)	直近の改正	平成26年度	:	内容		獲報酬の改定	寺								
(3)	根拠法令等	介護保険法			<u> </u>										
		□ 全部		一部(上手	乗せ、横	横出し等あり) ② なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした場合はそ)説明										
(5)	総合計画の体系	章	3 健康		て暮らt	 せるまちづくり			節		2	<u>4</u>	細節	30	
		<u> </u>			区分	□内部管	理		建設事業	☑ その他		<u> </u>	<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範囲等	福祉用具を	購入され	<i>た</i> 要	介護者						
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたいのが	か) :	介護給 [·]	」 付を行うことで	で、要介語	 護者 <i>!</i>	が必要なサービ	スを受給でき	るように	 します。			
		結果 (どのような効:	果が得られ	- るのか) :	要介護	状態でも、能に	力に応じ	、自立	なした日常生活	を営むことが	できるよ	こうになりま ⁻	す。		
(7)	争未似女	在宅の要介護者が、都道府県知事の 入した時は、介護給付費を支給します。					指定特定	'福祉	:用具販売事業	所から、入浴	や排泄に	に用いる福	祉用具等	の一定のも 	のを購
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	項	1	E	3	大事業	1	中事業	1	小事業	1
		項目					平成2 (2014				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28 ² (2016年	
						予算(千	予算(千円) 決算(千円)		予算(千	円)	決算見込	(千円)	予算(千円)		
			事業費((A)			71,756		43,405		38,404		38,404		45,664
		人件費 人件費	職員	美数	人		0.60		0.60		0.60		0.60		0.60
		7117	総額	(B)	千円		E 40E								E 001
			総事業費(A+B)				5,135		4,890		5,402		5,402		5,301
(9)	事業費と 財源の内訳	特定財源(C)					76,891		48,295		43,806		43,806		50,965
			特定財源	(C)			76,891 62,786		48,295 42,773		43,806 33,603		43,806 33,603		50,965 44,809
	" 財源の内訳	向 内	特定財源	E(C)			76,891 62,786 16,899		48,295 42,773 10,204		43,806 33,603 9,044		43,806 33,603 9,044		50,965 44,809 10,754
		_	特定財源	夏 百 百			76,891 62,786 16,899 8,970		48,295 42,773 10,204 5,426		43,806 33,603 9,044 4,801		43,806 33,603 9,044 4,801		50,965 44,809 10,754 5,708
		向 内	特定財源 国 格 その	E(C) 国 方 D他			76,891 62,786 16,899 8,970 36,917		48,295 42,773 10,204 5,426 27,143		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758		50,965 44,809 10,754 5,708 28,347
		向 内	特定財源 国 府 その 市負担(E(C) 国 存 D他 (D)			76,891 62,786 16,899 8,970		48,295 42,773 10,204 5,426		43,806 33,603 9,044 4,801		43,806 33,603 9,044 4,801		50,965 44,809 10,754 5,708
		(内訳) (内	特定財源 国 イ その 市負担(地方	E(C) 国 存 D他 (D)			76,891 62,786 16,899 8,970 36,917 14,105		48,295 42,773 10,204 5,426 27,143 5,521		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203		50,965 44,809 10,754 5,708 28,347 6,156
		(内訳) (内訳)	特定財源 年 その 市負担(地方	E(C) 国 时 D他 (D)			76,891 62,786 16,899 8,970 36,917 14,105		48,295 42,773 10,204 5,426 27,143 5,521		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203		50,965 44,809 10,754 5,708 28,347 6,156
		(内訳) (内訳)	特定財源 年 その 市負担(地方	E(C) 国 存 D他 (D) 方債 D他			76,891 62,786 16,899 8,970 36,917 14,105 0		48,295 42,773 10,204 5,426 27,143 5,521 0		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		50,965 44,809 10,754 5,708 28,347 6,156 0 6,156
		(内訳) (内訳)	特定財源 をの 市負担(地方 その 一般	E(C) 国 存 D他 (D) 方債 D他			76,891 62,786 16,899 8,970 36,917 14,105 0 14,105		48,295 42,773 10,204 5,426 27,143 5,521 0 5,521		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		50,965 44,809 10,754 5,708 28,347 6,156 0 6,156
	実施方法	(内訳) (内訳) 直拍	特定財源 日 イ その 市負担(セカ 一般 財源計(C	(C) 国 方 D他 (D) 方債 D他 財源 (+D)		委託先	76,891 62,786 16,899 8,970 36,917 14,105 0 14,105 0 76,891		48,295 42,773 10,204 5,426 27,143 5,521 0 5,521		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		50,965 44,809 10,754 5,708 28,347 6,156 0 6,156
(10)		(内訳) (内訳) 直拍	特定財源 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	(C) 国 方 D他 (D) 方債 D他 財源 (+D)		委託先主な委託内容	76,891 62,786 16,899 8,970 36,917 14,105 0 14,105 0 76,891		48,295 42,773 10,204 5,426 27,143 5,521 0 5,521		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		50,965 44,809 10,754 5,708 28,347 6,156 0 6,156
(10)		(内訳) (内訳) 重 委	特定財源 石 行 (で 市 負地 その 一 計 (C ま) ま ま ま な は 一 き も は し ま り は し っ し る し る し る し る し る し る し る し る し る	E(C) 国 的 D他 (D) 方 仿 D地源 HD) 部委託		主な委託内容	76,891 62,786 16,899 8,970 36,917 14,105 0 14,105 0 76,891		48,295 42,773 10,204 5,426 27,143 5,521 0 5,521		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		50,965 44,809 10,754 5,708 28,347 6,156 0 6,156
(10)	(該当するもの	(内訳) (内訳) 重 委	特定財源 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	E(C) 国 的 D他 (D) 方 仿 D地源 HD) 部委託			76,891 62,786 16,899 8,970 36,917 14,105 0 14,105 0 76,891		48,295 42,773 10,204 5,426 27,143 5,521 0 5,521		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		43,806 33,603 9,044 4,801 19,758 10,203 0 10,203		50,965 44,809 10,754 5,708 28,347 6,156 0 6,156

		指標等	指標項目		項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
			給付費	目標値	(単位:千円)		71,756.00	38,404.00	45,664.00		
		指標 内容		実績値	(単位:千円)		43,405.00	40,731.00			
	1				達成度(%)		60.5	106.1			
		目標値	前年度実績額を参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		1.11	1.08			
1		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
活動指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	2				達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の装質		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
						目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	1				達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の装質		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
2 		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
成果指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	2				達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
の3 が <i>、</i>	1	活動 内容				目標					
困指 難標			介護給付を行うことで、要介護	- そが必要なサービスを§	受給できています。 		達成できて	います。			
な示合す	2	成果 内容				達成状況					
		4	う後の方向性 (実施計画) □ 拡 す	充 ☑ 継糸	売 □ 縮기	\	□ 月	<u>≨</u> ₩ □	終期の設定		
(4)総	合評		介護保険活評価の説明	まに基づく事業であり、	、行政が実施すべき事	業です。					

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00434	事業名	居宅介護福祉用具購入事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

評価	の視点	評価点			-
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 		
1)	妥当性 (20点)	20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2) 有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
· - /	(20点)		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
/a、			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
	(20点)		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(-)	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
	持続可		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
(5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
	\ /M/		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
一一	 点合計				
	点点点) 点満点)	88	(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00434	
2 各視点	iからの評価の点数では表∤	れない事項(必要に	応じて記載)	

5 争扬争未必统队为机			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	要介護者が地域で生活をするための 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。	ス給付であり、適正に執行しています。)欠かせない制度となっています。 用者が増加することが見込まれるため事 率化を図っており、これ以上の効率化は	

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

事業番号 00435

事務事業名	居宅介護住宅改修事業(介護保険特別会計)						
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの		

	争務争系の機	双安																
(1)	事業開始年度	平成12年度			改正	Λ锚	養報酬の改	·宁笙										
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	川哉	ミギ以 台川 ワノ は入	、化守										
(3)	根拠法令等	介護保険法																
		□ 全部		一部(上乗せ	、横	出し等あり	J)		② な	し(国	•府制	削度もしくは	法令等で	市が実施す	る義務あ	·년)	
(4)	市単独事業区分		ックした	場合は	合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章 3	健原	東で安心	いして暮	らせ	るまちづく	(1)			節			2		 細節	30)
		:			区	分	□内部	管理]	 □ 建	設事業	\	☑ その ⁶	 也			<u>i</u>	
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	住宅改修を行った要介護者											
(6)	目 的	 目標 (どういう状態に	したいの)か)	介護	 介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できるようにします。												
		結果			一	、ᆕ#↓┤	上能 大十二台	÷L + 1 − 1	ホ に 亡		- 口告/	ナギャ		マキスト	シューナンロ 士 オ			
(7)	事業概要	在宅の要介護				ナ(ナ等	∮ の一定 <i>σ</i>)住宅改	数修を	実際に	こ居住 [・]	する住	主宅について	こ行ったと	きは、介護	給付費を	支給します。	D.
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	2	項	1		目		4	大事業	1	中事業	1	小事業	1
)° 37 → 1°	<u> </u>	項	╘	<u> </u>				成26: 014年						 !7年度 i年度)		平成28 (2016 ²	
				_			予算(千円)		 決算	(千円	3)	予算(<u>千</u> 円)	決算見辺	(千円)	予算(千円)	
			事業費	事業費(A)				93,1	193		7	6,186)	91,078		91,078		78,007
		人件費 -	職	職員数				0	0.60	0.60			0.60		0.60		0.60	
		八件貝	総客	額(B) 千円			5,135		135	5		4,890		5,402		5,402		5,301
		総事	事業費	(A+B)		98,328			328				96,480		96,480		0 83,30	
(9)	事業費と 財源の内訳	*	寺定財》			81,544			544				· ·		79,693		3 72,79	
	*1//// 02 F 1 D/	内 ———		国		21,947				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				21,449		21,449		18,370
		訳		府 の 供				•	649	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			·			11,385		9,751
			市負担	の他 L(D)					948 784				+			46,859 16,787		44,670 10,517
				· (D) 方債				10,	0			0,000		10,707		0,707		10,317
		内		<u>クレー</u> の他				16.7	784			9,690		16,787		16,787		10,517
		訳 ·		 g財源				<u> </u>	0			0		0		0		0
		財	 源計((C+D)				98,3	328		8	1,075	j	96,480		96,480		83,308
		☑ 直接	実施						<u> </u>				•				•	
	実施方法	□ 委託		委託先 ② ③														
(10)	(該ヨ9句もの)						な委託内		1									
	は全部チェック)	┃ □ 補助	金•負‡	旦金			交付先		2									
			><1-				~ ~ 1 3 7 0	-	3									
		□ その ⁶	他				内容		I									

		指標等	指標項目		項目		26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費	目標値	(単位:千円)		93,193.00	91,078.00	78,007.00
		指標 内容		実績値	(単位:千円)		76,186.00	73,585.00	
	1				達成度(%)		81.8	80.8	
		目標値	前年度実績額を参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		1.06	1.31	
1		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の3 が <i>、</i>	1	活動 内容				目標			
か) 困指 難標			介護給付を行うことで、要介護者が	が必要かサービスを受	る絵できています		達成できて	ニノキキ	
な 場 っ 合	2	成果 内容				達成 状況			
	1	4	 	□ 継続				秦 止 □	終期の設定
(4)総	合評		介護保険法に評価の説明	基づく事業であり、	行政が実施すべき事業	業です。			

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00435	事業名	居宅介護住宅改修事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

評価	兄屈からの fの視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	•	
(4)	妥当性	00	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	·i	
(0)	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	·i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	.i	-
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
				:	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
				.i	
>	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	·i	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。	·i	
(4)	公平性	, -	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18		·i	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	··········· 点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	:	
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	·i	
,_,	持続可		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
(5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	.i	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	.i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00435	
2 各視点	ⅳからの評価の点数では表オ	れない事項(必要に	応じて記載)	

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	要介護者が地域で生活をするための 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。	ス給付であり、適正に執行しています。)欠かせない制度となっています。 用者が増加することが見込まれるため事 率化を図っており、これ以上の効率化は	

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

事務事業名	居宅介護サービス計画等給付事業(介護保険特別会計)							
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの			

	于切于木VM	1女															
(1)	事業開始年度	平成12年原	支		· 农 · 田												
(2)	直近の改正	平成26年原	支		内容	JI HJ	X T X II/II V 3//	,									
(3)	根拠法令等	介護保険法	<u> </u>														
		□ 全部	上乗せ	、横	出し等あり))		☑ なし	(国∙府制	度もしくは法々	今等で	市が実施す	る義務あ	IJ)			
(4)	市単独事業区分	単独事業区分 一部にチェックした場合はその 					月										
(5)	総合計画の体系	章	3 健.	康で安心	ごして暮	事らせ	とるまちづく	IJ			節	2			細節	30	0
		<u>.</u>			区	分	□ 内部管	管理		□ 建記	と事業 においました こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん しんしん しんしん しんしん	☑ その他					
		対象 (誰を、何を)		範囲	囲等											
(6)	目的	目標 (どういう状態	にしたいの	養給付	すを行うこと	:で、要か	 介護	者が必	要なサービ	スを受給できる	らように	します。					
		結果 (どのような対	甲が得られ	h.るのか)	要介		犬態でも、能	も力に応	こじ	自立した	日常生活を	営むことがで	きるよ	うになります	t.		
(7)	争未似女	要介護者が 時は、介護			業者	fの行う居宅	②介護 支	を援	(ケアプ -	ランの作成、	、生活全般のホ	目談、 ⁻	ナービス提	供事業所の	の手配等)を	を受けた	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	2	項	1		目	5	大事業	1	中事業	1	小事業	1
			項	目						年度 年度)				7年度 年度)		平成28 (2016 <i>:</i>	
					予算(=	千円)		決算	(千円)	予算(千F	3)	決算見過	決算見込(千円)		千円)		
			事業費		1,067,		1,067,36	66		1,015,438	1,0	50,880	380 1,050,880		1,155,4		
		人件費	職員数			人		0.	10		0.10		0.10	0.10		0 0.10	
		7117	総名	額(B)	千	·円	85				815		901		901	901	
	Alle I	Ť.	総事業費			1,068,					1,016,253				1,051,781	1,156,3	
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財法			933,						· -			919,520		1,000,539
		内		国 —— 府				251,36 133,42			238,707 126,930	· ·			247,482 131,360	+	
		訳		が の他				549,1			521,467	540,678			540,678		144,429 584,006
			<u>`</u> 市負担					134,2			129,149				132,261		155,777
		\sim		方債					0		0		0		0		0
		内 訳	そ	の他				134,2	77		129,149	1:	32,261		132,261		155,777
		· ·	— 拍	投財源					0		0		0		0		0
			財源計(C+D)			1	1,068,22	22		1,016,253	1,0	51,781		1,051,781	-	1,156,316
			接実施			ļ						10 T 11 T A A					
							去計步		-	大阪府国	民健康保持) 使団体連合会					
		☑ 委	託又は一	·部委託			委託先	(3									
	実施方法					<u> </u>	上な委託内容			 給付費等	支払事務						
(10)	(該ヨ9るもの										2 - 1-7 1-100						
	は全部チェック)	□ 補助金・負担金				 			1)								
1		□ 補.	助金∙負拮	担金			交付先										
		□ 補. 	助金∙負拮	担金			交付先		2								

		指標等	指標項目		項目	平成26 ² (2014年		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費	目標値	(単位:千円)	1,067	,366.00	1,050,880.00	1,155,432.00
		指標 内容		実績値	(単位:千円)	1,015	,438.00	1,078,784.00	
	1				達成度(%)		95.1	102.7	
_		目標値	前年度実績額を参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		1.00	0.97	
1 0		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2) 成		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)	0.00		0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)			0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(の3 が) (放射	1	活動 内容				目標			
困難な場合	2	成果 内容	介護給付を行うことで、要介護者が必要を	なサービスを受	給できています。	達成状況	を成できて	います。	
		4	今後の方向性 (実施計画) □ 拡充	☑ 継続			□ 月	≨ 止 □	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	+未 じ の り、17	·政が実施すべき事業で	С 9 °			

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00436	事業名	居宅介護サービス計画等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
	妥当性 (20点)		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)		20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	, m
			・	3	 点
		18	②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
	有効性 (20点)		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)			3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	点
				F	<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) ①単位当たりコストは適正ですか。 	5	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	E	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	5	点
			4) 事 采 于 法 の 検 討 、 事 務 改 善 に 取 り 組 む な と 、 事 采 効 卒 の 向 工 に 労 め)	E	
			a. 事業于法の検討や事務収書に取り組み、具体的な成果を工りている。(3点) ①サービスの対象範囲は適正ですか。	5	点
			①リーに入び対象配西は過止ですが。 	3	
				.	点
			②サービスの水準は適正ですか。 - サービスの水準は適正で、野菜者以外の末足から見ても理解が得られる (5点)	E	
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	3	点
	(==71117)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点) ① 東 業 間 松 光 初 ト 比 ぶ て 東 業 弗 公 吉 色 担 が 士 幅 に 増 士 し て い ま 壮 く か	Э	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	4	<u> </u>
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	I	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	-4	<u> </u>
(5)	能性	12	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	<u> </u>	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	_	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	_	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00436				
2 各視点	ー 気からの評価の点数でI	は表れない事項(必要に	応じて記載)	-		
3 事務事	事業の現状分析						
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	С	□ 部	として重点的な取組	V	その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性		妥当性 20 10 5 0 効率性		
(3)現状分	· ↑析 <i>-</i> <i>-</i>	个護保険法で定められている 要介護者が地域で生活をする 今後も高齢者が増加し、サー ん。 事務については常に改善を意	るための欠か ービス利用者:	vせない制 が増加す	制度となっています。 ることが見込まれるため事		
4 その他	4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)						

尹未田 7 0043 /

事務事業名	地域密着型介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)					
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの	

<u> </u>	丁 勿于未以他																	
(1)	事業開始年度	平成12年度			正介	た護報酬の改	報酬の改定等											
(2)	直近の改正	平成26年度		内	l容 ^기		···											
(3)	根拠法令等	介護保険法																
		□ 全部 □ 一部(上乗t				横出し等あり)		☑な	し(国•府	制力	度もしくは流	ま令等で	市が実施す	よる義務あ	り)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした場合はそ			の説明	説明												
(5)	総合計画の体系	章 3	健康	で安心し	て暮ら	らせるまちづく	IJ			節			2		細節	3	30	
		·	,		区分	□内部	管理		□建	設事業		☑ その他	<u>b</u>			i.		
	目 的	対象 (誰を、何を)		範囲等	等 地域密着型介護サービスを利用された要介護認定者													
(6)		目標 (どういう状態にしたいのか) 介護給				合付を行うこと	で、	要介記	護者が必	要なサー	·ビス	スを受給で	きるように	こします。				
		結果 (どのような効果が得られるのか) 要介護				蒦状態でも、出	出来る	。 限り	住み慣れ	った地域で	ごの :	生活を継続	きできるよ	:うになりま	す。			
(7)		その地域での生活を24時間体制で他を置きます。要介護者が、市が指定した			た地域密着型			事業者							付費を支給 			
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	項	1		目	6		大事業	1	中事業	1	小事業	1	
						6年度 年度)					7年度 年度)			18年度 6年度)				
						予算(千円))	決算	(千円)		予算(=	千円)	決算見違	決算見込(千円)		予算(千円)	
			事業費(2,079	,698		1,755,6	74	2	,033,173		2,033,173		2,075,866	
		人件費 ·	、件費			0.30			0.30			0.30		0.30		0.30		
		総額(B)			十円		2,568		2,445					2,701				
	市業弗に	総事業費(A+B)						82,266 1,758,119 2,035,874 19,736 1,534,822 1,781,727			2,035,874 2,078,517							
(9)	事業費と 財源の内訳	特定財源(C) 国				1,819,736 489,769									+			
		内					259,962		·					·			259,483	
		訳 	 その				1,070,005			902,644		+				<u> </u>		
		I	市負担((D)			262,530			223,297								
		(地方債		債				0			0	0			0	0		
		内 訳	その)他			262	2,530		223,29	97		254,147		254,147		279,871	
		<u> </u>	一般					0			0		0		0		0	
		•	オ源計(C	+D)			2,082	2,266		1,758,1	19	2	,035,874		2,035,874		2,078,517	
		□□□直接	:実施					1	十阪広	可足健康(<u></u>	 食団体連合						
						委託先		2				人工作注口	<u> </u>					
		☑ 委託又は一部委託			2,1070	•	3											
(40)	実施方法					主な委託内容	容	_	給付費等	等支払事務	<u></u> 務							
(10)	(該当するものは全部チェック)							1										
	i&土叩アエツク <i>)</i> 			交付先		2												
								3										
1		□ その他				内容												

		指標等	指標項目		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費	目標値	(単位:千円)	2,679,698	.00 2,033,173.00	2,075,866.00
		指標 内容		実績値	(単位:千円)	1,755,674	.00 1,855,618.00	
	1				達成度(%)	6	5.5 91.3	
<u> </u>		目標値	前年度実績額を参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)	1	.00 1.10	
1		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)	0	.00 0.00	
活動指標				目標値	(単位:)	0	.00 0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)	0	.00 0.00	
	2				達成度(%)		0.0	
		目標値		単位当た	総事業費(単位:千円)	0	.00 0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)	0	.00 0.00	
				目標値	(単位:)	0	.00 0.00	0.00
	1	指標 内容		実績値	(単位:)	0	.00 0.00	
					達成度(%)		0.0	
		目標値		単位当た	総事業費(単位:千円)	0	.00 0.00	
2 		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)	0	.00 0.00	
成 果 指標	2			目標値	(単位:)	0	.00 0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)	0	.00 0.00	
					達成度(%)		0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)	0	.00 0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)	0	.00 0.00	
(の 3 が) 財指	1	活動 内容				目標		
困難な場合	2	成果 内容	介護給付を行うことで、要介護者が	介護給付を行うことで、要介護者が必要なサービスを受給できています。 達成できています。 達成				
		4	後の方向性 (実施計画) □ 拡充	☑ 継続			□ 廃止 □	終期の設定
(4)総	合評		介護保険法に評価の説明	- 基つく事業であり、	行政が実施すべき事業	美です 。		

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00437	事業名	地域密着型介護サービス等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
	妥当性 (20点)		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)		20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 スル思報はする頃とである。(3M/) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	, m
			・	3	 点
		18	②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
	有効性 (20点)		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)			3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	点
				F	<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) ①単位当たりコストは適正ですか。 	5	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	E	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	5	点
			4) 事 采 于 法 の 検 討 、 事 務 改 善 に 取 り 組 む な と 、 事 采 効 卒 の 向 工 に 労 め)	F	
			a. 事業于法の検討や事務収書に取り組み、具体的な成果を工りている。(3点) ①サービスの対象範囲は適正ですか。	5	点
			①リーに入び対象型西は過止ですが。 	3	
				.	点
			②サービスの水準は適正ですか。 - サービスの水準は適正で、野菜者以外の末足から見ても理解が得られる (5点)	E	
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	3	点
	(==71117)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	Э	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	4	<u> </u>
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	I	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	-4	<u> </u>
(5)	能性	12	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	<u> </u>	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	_	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	_	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00437	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	いない事項(必要に	応じて記載)	

3 争份争未仍况认为例			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	要介護者が地域で生活をするための 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。	ス給付であり、適正に執行しています。)欠かせない制度となっています。 用者が増加することが見込まれるため事 率化を図っており、これ以上の効率化は	

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

事業番号	00438
FAB 7	00 100

事務事業名		介護予	防サービス等給付事業(介護保険特別会	計)	
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

	于初于未UVW	ル 文																
(1)	事業開始年度	平成12年度			改正	△ □	É₩₩₩₩	宁 华										
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	が設	護報酬の改定	止守										
(3)	根拠法令等	介護保険法																
		□ 全部		一部(上乗せ	·、横	出し等あり))		□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	その説	明												
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健	康で安心	心して着	ふらせ	とるまちづくり	IJ				節		2		細節	30)
		:			区	分	□ 内部管	管理			建設	事業	☑ その	他			<u> </u>	
		対象 (誰を、何を)			範囲	囲等	介護予防サ	ナービ	ごスを	·利用。	きれる	た要支援を	当		ı			
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの)か)	介護	介護給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給することができるようにします。												
		結果 (どのような効り	果が得られ	れるのか)	要支	要支援状態にあっても、出来る限りその悪化を防ぎます。												
(7)	事業概要 	要支援者が利					T :					対費を支給	T		<u></u>		.1. 	
(8)	予算コード	会計	12	款	2	2	項	2		目		1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
			項	目						6年度 年度)					7年度 6年度)		平成28 (2016:	
							予算(=	千円)		決	算(千円)	予算(千円)	決算見证	込(千円)	予算(千円)
			事業費	₹(A)			1,143,555				1,168,857		1,271,177		1,271,177	,	1,301,657	
		人件費	職	員数		<u> </u>	0.35		0.35			0.35		0.35	j	0.35		
			総	額(B)	千	円	2,996		2,853		3,152		3,152		2 3,093			
	Alle I			(A+B))	1,146,5											+	
(9)	事業費と 財源の内訳	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	特定財				1	1,000,				+		1				
		内		国 府				269,	,307	+					299,362 158,897	+	302,942 166,306	
		訳		が の他					,360			150,367 602,187	 			654,021		660,011
			 市負担						,940			148,658	+		+			175,491
		_		 .方債					0			0		0		0		0
		内 訳		の他				145,	,940			148,657		162,049		162,049	1	175,491
			— <u>f</u>	投財源					0			1		0		0)	0
		具	才源計(C+D)			1	1,146,	,551			1,171,710		1,274,329		1,274,329	1	1,304,750
		□ 直接	実施															
									1	大阪府	守国	民健康保	険団体連合	会				
		☑ 委託	ミスはー	·部委託			委託先		2									
	実施方法								3									
(10)						Ĺ	とな委託内容			給付費	等	支払事務						
	は全部チェック)	<u></u>		- A			* /	-	1									
		□補助	」金•負	空 金			交付先	-	2									
									3									
		□ その	□ その他				内容											

		指標等	指標項目	1		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費		目標値	(単位:·	千円)	1,1	43,555.00	1,271,177.0	1,301,657.00
		指標 内容			実績値	 (単位: ⁻	千円)	1,1	68,857.00	1,179,457.0	00
	1					達成度(%)			102.2	92	.8
_		目標値	前年度実績額を参	参考に積算	単位当た	総事業費(単	位:千円)		1.00	1.0	08
1 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単	位:千円)		0.00	0.0	00
活動指標					目標値	(単位	.:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位	::)		0.00	0.0	00
	2					達成度(%)			0.0	0	.0
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単	位:千円)		0.00	0.0	00
		方法			りコスト	一般財源(単	位:千円)		0.00	0.0	00
					目標値	(単位	::)		0.00	0.0	0.00
		指標 内容			実績値	(単位	::)		0.00	0.0	00
	1					達成度(%)			0.0	0	.0
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単	位:千円)		0.00	0.0	00
2 - 成		方法			りコスト	一般財源(単	位:千円)		0.00	0.0	00
成 果 指標					目標値	(単位	::)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位	::)		0.00	0.0	00
	2					達成度(%)			0.0	0	.0
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単	位:千円)		0.00	0.0	00
		方法			りコスト	一般財源(単	位:千円)		0.00	0.0	00
へ の3 が 困指	1	活動 内容						目標			
困難な場合	2	成果内容	介護給付を行うこ	とで、要支援者が必要な	なサービスを受	給できていま	す 。	達成 状況	達成できて	います。	
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続		☑ 縮小	•		差止	□終期の設定
(4)総	合評			介護保険法に基づく 平成29年4月からか す。					れることに	伴い、対象者 <i>の</i>	見直しを行いま

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00438	事業名	介護予防サービス等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 スル思報はする頃とである。(3M/) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	, m
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	点
				F	<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) ①単位当たりコストは適正ですか。 	5	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	E	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	5	点
			4) 事 采 于 法 の 検 討 、 事 務 改 善 に 取 り 組 む な と 、 事 采 効 卒 の 向 工 に 労 め)	F	
			a. 事業于法の検討や事務収書に取り組み、具体的な成果を工りている。(3点) ①サービスの対象範囲は適正ですか。	5	点
			①リーに入び対象型西は過止ですが。 	3	
				.	点
			②サービスの水準は適正ですか。 - サービスの水準は適正で、野菜者以外の末足から見ても理解が得られる (5点)	E	
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	3	点
	(==71117)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	Э	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	4	<u> </u>
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	I	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	-4	<u> </u>
(5)	能性	12	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	<u> </u>	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	_	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	_	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00438	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)	

3 事份事業の現仏ガ州			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	要支援者ができる限り悪化を防ぎ生活 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。	ス給付であり、適正に執行しています。 活するための欠かせない制度となってい 用者が増加することが見込まれるため事 率化を図っており、これ以上の効率化は	業費の増加は避けられませ

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の法改正で介護予防給付のうち介護予防訪問介護、介護予防通所介護が地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業へ移 行されました。(吹田市は平成29年4月から実施) また平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

事務事業名			。 防福祉用具購入事業(介護保険特別会詞)	 計)	
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

	于切于木V/W	人女															
(1)	事業開始年度	平成12年月	度		改正	 介譜	^護 給付費等	の見直し	_								
(2)	直近の改正	平成24年	度		内容	71 H2	X (1 H) 3 X (1										
(3)	根拠法令等	介護保険法	去														
		□ 全部		一部	(上乗せ	∵、横	出し等あり)	V	なし	(国•府制	度もしくは	去令等で	市が実施す	る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分		・エックした	:場合は	その説	の説明											
(5)	総合計画の体系	章	3 健	康で安	心して暮	事らせ	とるまちづく	[IJ			節		2	i	細節	30	
		<u> </u>			区	分	□内部	管理		建設	記事業 ☑ その他						
		対象 (誰を、何を	E)		範囲	囲等	福祉用具	を購入さ	れたヨ	要支援:	者						
(6)	目的	目標(どういう状態	態にしたいの	のか)	介證	護給付	すを行うこと	で、要支	援者	が必要	なサービ	スを受給で	きるように	します。			
		結果 (どのようなダ	効果が得ら	れるのか))要支	を援物	犬態にあっ ^っ	ても、でき	きる限	りその	悪化を防き	ぎます。					
(7)	争未似女	在宅の要支入した時は						た指定特	定福	祉用具	販売事業	所から、入 i	谷や排泄	に用いる福	祉用具等	の一定のも - -	のを購
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款		2	項	2		目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
			項	目					.26年 4年度					7年度 年度)	平成28 2 (2016年		
							予算(千円)		決算(千円)	予算(-	千円)	決算見込	(千円)	予算(千	-円)
			事業費	貴(A)			21,896				12,986		17,689		17,689		14,779
		人件費	聑	職員数 人		人 —	0.60		0		0.60		0.60		0.60		0.60
				額 (B)			5,135								5,402		
	古光弗儿	i	総事業費)	27,031							23,091		23,091		20,080
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財			19,159			<u> </u>			+			15,478		18,088 3,481
		<u> </u>		国 —— 府			5,157 2,737				1,623				4,166 2,211		1,847
		訳 		<u>…</u> ·の他				11,26			11,547		9,101		9,101		12,760
		<u> </u>	市負担	∃(D)				7,87	2			· ·			7,613		1,992
		$\hat{}$	地	方債					0		0		0		0		0
		内	7	の他				7,87	2		1,652		7,613		7,613		1,992
		\smile		般財源					0		0		0		0		0
			財源計(C+D)				27,03	1		17,875		23,091		23,091		20,080
		☑直	接実施					1	<u> </u>								
							委託先	2	_								
		口 委	託又は一	-部委託	•			3									
(10)	実施方法					Ė	とな委託内										
(10)	(該当するもの は全部チェック)							1)								
	15 E HP / E / / /	口補	□ 補助金・負担金				交付先 ②		_								
1			即立 貝	口 桶切並 . 負担並					-								
			明立。只	<u> </u>			又刊几	3	-								

		指標等	指標項目			項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費	I	目標值	(単位:	千円)		21,896.00	17,689.00	15,310.00
		指標 内容		5	実績値	(単位:	千円)		12,986.00	14,529.00	
	1					達成度(%)			59.3	82.1	
		目標値	前年度実績額を参考に積		位当た	総事業費(追	単位:千円)		1.38	1.59	
1		の積算 方法			コスト	一般財源(自	単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標				[目標値	(単位	ነ :)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		5	実績値	(単位	ኒ :)		0.00	0.00	
	2				•	達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値 の積算			位当た	総事業費(基	単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		<i>9</i> :	コスト	一般財源(草	単位:千円)		0.00	0.00	
				ŀ	目標値	(単位	ነ :)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容		S.	実績値	(単位	ነ :)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)			0.0	0.0	
<u></u>		目標値 の積算			位当た	総事業費(ف	単位:千円)		0.00	0.00	
\smile		方法		<i>9</i> :	コスト	一般財源(基	単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指標				I	目標値	(単位	ኔ :)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		5	実績値	(単位	ኒ :)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値 の積算			位当た	総事業費(草	単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		b.	コスト	一般財源(自	単位:千円)		0.00	0.00	
の3 が <i>、</i>	1	活動 内容						目標			
困指難標			介護給付を行うことで、要:	支援者が必要なサー	<u> </u>	給できていま	च ू		達成できて	 います。	
な 場 っ 合	2	成果 内容						達成 状況			
	1	4	(天旭計画/	拡充	継続		□ 縮小			廃止 □	終期の設定
(4)総	合評		介護保評価の説明	険法に基づく事業・	であり、	行政が実施	すべき事業	業です。			

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00439	事業名	介護予防福祉用具購入事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	······································	
(4)	妥当性	00	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	··i·······	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	··i······	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	··i······	
(0)	有効性	4.0	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	·i·····	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		-
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
				<u>:</u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
	効率性 (20点)		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)		20			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
				<u>:</u>	
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
				.i	
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	 点
				<u>:</u>	
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
	持続可		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
(5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	.i	
	, /111/		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	 点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 「点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00439							
2 各視点	各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)									

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	要支援者ができる限り悪化を防ぎ生活 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。	ス給付であり、適正に執行しています。 活するための欠かせない制度となってい 用者が増加することが見込まれるため事 率化を図っており、これ以上の効率化は	業費の増加は避けられませ

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

事業番号 00440

事務事業名	介護予防住宅改修事業(介護保険特別会計)					
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの	

	争務争系の機	双安																	
(1) 事業開始年度		平成12年度	改正																
(2)	直近の改正	平成26年度	平成26年度				麦羊区凹川 区义 人上	寸											
(3)	根拠法令等	介護保険法																	
(4) 市単独事業区分		□ 全部		一部(上乗せ	·、横	出し等あり)		☑ <i>t</i>	il	(国∙府制	削度もしくに	法令等で	市が実施す	- る義務あ	59)		
		一部にチェッ	ックした	場合は [.]	その説り														
(5)	総合計画の体系	章 3 健康で安心して				 心して暮らせるまちづくり					節			2		細節)	
			<u> </u>				区分 口 内部管理				建設	 事業	☑ その	他			1		
		対象 (誰を、何を)				田等	住宅改修												
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいの	か)	介護														
		結果 (どのような効果	が得られ	1.るのか))) 要支	 泛援り	犬態にあっ [・]	ても、と	—— 出来?	る限り·	その	悪化を防	ゔぎます。						
(7)	事業概要 H27事業別 予算コード	在宅の要支援 会計	それが、 12	手すり <i>0</i> 		計け等 2	等の一定の 項)住宅		を実際 目	に 居	号住する信 <u>3</u>	主宅につい	て行ったと	きは、介護中事業	給付費を <u></u> 1	支給します。	1	
) // - 1	項[6年度							平成28		
				(2014年				///- / ·		7 M		5年度) - 1. 25 = 1	(7 T)	(2016					
			 事業費	ξ(Λ)			予算(——	昇(-	<u>千円)</u> 54,569		<u>千円)</u> 71,746	決算見込	<u>(</u> 十円) 71,746	予算(-	十円) 55,692	
			職員数			T ,		58,679 0.65				0.65				0.65	· ·		
		人件費		<u> </u>			5,563					5,297	+	5,852		5,852		5,743	
		 総	事業費(64,242							 			77,598				
(9)	事業費と		,在一个			51,344				52,926				62,778		62,778			
(3)	財源の内訳			国		13,819 7,335			,819			12,828	16,896		16,896		13,115		
		内 訳 		府					335	6,821			8,968			8,968		6,962	
		\sim		の他			30,190			•					<u> </u>		33,849		
			市負担					12,	,898					+			7,509		
		内		方債 の他				10	,898			6,940		0 14,820		0 14,820		7,509	
		訳		ン1回 9財源				12,0	0 0			0,940		14,620		14,620		7,309	
			 源計((64.	,242			59,866		77,598		77,598		61,435	
		☑ 直接		<u> </u>				,				,		,	1	,			
	実施方法	□ 委託又は一部委託				+	委託先 ② ③		2										
(10)	(該ヨ9句もの)						とな委託内		1										
	は全部チェック)	□補助	金•負担	旦金			交付先	<u> </u>	2										
			_ / / / -	- 			1 1 / U	⊢	3										
		□ その他					内容												

		指標等	指標項目			項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費		目標値	(単位	::千円)		58,679.00	71,746.0	0 55,692.00
		指標 内容			実績値	(単位	∷千円)		54,569.00	49,000.0	0
	1					達成度(%)		93.0	68	3
$\widehat{}$		目標値	前年度実績額を参考に積		単位当た	総事業費(単位:千円)		1.10	1.5	8
1		の積算 方法			コスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.0	0
活動指標					目標値	(単	位:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容		:	実績値	(単	位:)		0.00	0.0	0
	2					達成度(%)		0.0	0	0
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.0	0
		方法		ال ا	コスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.0	0
					目標値	(単	位:)		0.00	0.0	0.00
		指標 内容			実績値	(単	位:)			0.0	0
	1					達成度(%)		0.0		0	0
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.0	0
2 。 成		方法		6)	コスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.0	0
成 果 指標					目標値	(単	位:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容		:	実績値	(単	位:)		0.00	0.0	0
	2				ı	達成度(%)		0.0	0	0
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.0	0
		方法			コスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.0	0
の3 が <i>、</i>	1	活動 内容						目標			
困指難標			介護給付を行うことで、要	支援者が必要なサー	-ビスを受	給できてい	<u>ま</u> す。		達成できて		
な示合す	2	成果 内容			ころを文章 (ことで、みょ。			達成 			
	1	4	(天旭計画/	拡充	継続		□ 縮小			廃止	□終期の設定
(4)総	(4)総合評価		介護保評価の説明	険法に基づく事業	であり、	行政が実	施すべき事う	業です。			

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00440	事業名	介護予防住宅改修事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

5 点	点点
5 k	点
5 k	点
5 £	
5 £	
	点
O V	 占
	
3 .	 点
5 £	点
3 A	
5 .	点
3 A	
5 <u>k</u>	点
	
5 <u>k</u>	 点
у до	
5 k	点
5 6	 点
	/NV
5 6	 点
3 🚽	 点
5 j	 点
5 k	 点
5 J	 点
	 点
1 5	 点
5 F	<u></u> 点
<u>5</u> д	<u></u> 点
	5 1 1 5

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00440	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)	

5 争扬争未必统仇力机 ————————————————————————————————————							
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他				
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	接続可能性 5 0 公平性 対率性					
(3)現状分析	要支援者ができる限り悪化を防ぎ生活 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。	ス給付であり、適正に執行しています。 活するための欠かせない制度となってい 用者が増加することが見込まれるため事 率化を図っており、これ以上の効率化は	業費の増加は避けられませ				

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

事未留

事務事業名	介護予防サービス計画等給付事業(介護保険特別会計)								
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの				

	1 100 1 010 00																
(1)	事業開始年度	平成12年度			改正	A -+	+ + = = U = 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 										
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	介護	養報酬改定等	•									
(3)	根拠法令等	介護保険法															
		□ 全部		一部(上乗せ	·、横	出し等あり)		V	なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	よる義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章	3 健原	東で安心	ンして着	いらせ	L とるまちづくり		節			2		細節	30		
		<u> </u>			区	分	□内部管	 理		<u> </u> 建設	 と事業	☑ その	 他				
		対象 (誰を、何を)			範囲												
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)	介護	差給付											
		結果 (どのような効!	果が得られ	こるのか	要支	 泛援北	犬態にあって :	も、でき	る限 ^に	りその	悪化を防	ぎます。					
(7)	事業概要	要支援者が、受けたときは						支援(介)護う	があっ	·アプランの)作成、生活	舌全般の村	∃談、サー	ビス提供事	「業所の手配等)を ・	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	2	項	2			4	大事業	1	中事業	1	小事業 1	
			項	▤				平成2 (2014						7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)	
							予算(千	·円)		決算	(千円)	予算(千円)	決算見違	込(千円)	予算(千円)	
			事業費	(A)			-	161,903			166,567		179,442		179,442	203,421	
		職員数				<u> </u>		0.10			0.10		0.10		0.10	0.10	
			頁(B)		円		856			815		901		901	884		
			事業費(162,759							<u> </u>		+			
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財派		141,665					·		+		· ·			
		内		国			38,128							<u> </u>		 	
		訳		府 —— の他			20,238							· ·		25,428 103,546	
			ーー 市負担				83,299 21,094									27,426	
		\sim		<u>` ̄´</u> 方債				0						0	0		
		内		····································				21,094			21,185		23,331		23,331	27,426	
		訳)						0			0		0		0		
		具	 财源計(C	C+D)				162,759			167,382		180,343		180,343	204,305	
		□ 直接	美実施														
	実施方法	☑ 委訊	€又は一 [:]	部委託		-	委託先	① ② ③				険団体連合	会				
(10)	(該当するもの					Ē	とな委託内容		給付	賀寺	支払事務						
	は全部チェック)	☐ / # Ħ	h仝.台+5	1소			六什生	1									
		□ 開助 ■	カ金∙負担	<u> </u>			交付先	3									
)他				内容										

		1指標等	指標項目			項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費		目標値	(単位:	千円)	1	61,903.00	179,442.0	0 203,421.00
		指標 内容			実績値	(単位:	千円)	1	66,567.00	188,251.0	0 /
	1					達成度(%)			102.9	104.	9
		目標値	前年度実績額を参	参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		1.00	0.9	6
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(أ	単位:千円)		0.00	0.0	
活動指標					目標値	(単作	立:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容			実績値	(単作	(単位:)		0.00	0.0	0
	② 目標値 の積算					達成度(%)			0.0	0.	0
						総事業費(単位:千円)		0.00	0.0	
		方法			単位当たりコスト	一般財源(単位:千円)			0.00	0.0	
					目標値	(単作	立:)		0.00	0.0	0.00
		指標 内容			実績値	(単作	立:)		0.00	0.0	0
	1					達成度(%)			0.0	0.	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.0	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.0	
成果指標					目標値	(単作	立:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容			実績値	(単作	立:)		0.00	0.0	0
	2					達成度(%)			0.0	0.	0
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)			0.00	0.0	0
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.0	0
(3) が 困 難標	1	活動 内容						目標			
単標 な示 合	2	成果 内容	介護給付を行うこ	とで、要支援者が必要な	なサービスを受	給できていま	,	達成 状況	達成できています。		
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続		☑ 縮小	\	口身	≨ 正 □	終期の設定
(4)総	4)総合評価			介護保険法に基づく 平成29年4月からか す。					れることに	半い、対象者の	見直しを行いま

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00441	事業名	介護予防サービス計画等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 スル思報はする頃とである。(3M/) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	, m
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	点
				F	<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) ①単位当たりコストは適正ですか。 	5	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	E	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	5	点
			4) 事 采 于 法 の 検 討 、 事 務 改 善 に 取 り 組 む な と 、 事 采 効 卒 の 向 工 に 労 め)	F	
			a. 事業于法の検討や事務収書に取り組み、具体的な成果を工りている。(3点) ①サービスの対象範囲は適正ですか。	5	点
			①リーに入り対象型西は過止ですが。 	3	
				.	点
			②サービスの水準は適正ですか。 - サービスの水準は適正で、野菜者以外の末足から見ても理解が得られる (5点)	E	.
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	3	点
	(==71117)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	Э	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	4	<u> </u>
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	I	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	-4	<u> </u>
(5)	能性	12	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	<u> </u>	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	_	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	_	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00441	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	ない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他					
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性20105有効性公平性効率性						
(3)現状分析	要支援者ができる限り悪化を防ぎ生活 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。	ス給付であり、適正に執行しています。 活するための欠かせない制度となってい 用者が増加することが見込まれるため事 率化を図っており、これ以上の効率化は	業費の増加は避けられませ					

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の法改正で介護予防給付のうち介護予防訪問介護、介護予防通所介護が地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業へ移行され、同事業利用者のケアプラン作成等についても、同事業による介護予防ケアマネジメントに移行することになります。(吹田市は平成29年3月から実施)

事務事業名	地域密着型介護予防サービス等給付事業(介護保険特別会計)						
担当部名	担当部名 福祉部		高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの		

<u> </u>	于初于未以他																
(1)	事業開始年度	平成12年度			女正 人	҈ѧӓ	〔 報酬改定 [〔]	*									
(2)	直近の改正	平成26年度		þ	内容	川。豉	\$	च									
(3)	根拠法令等	介護保険法															
		□ 全部		一部(」	上乗せ、	、横	出し等あり)	٥	』なし	(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	て る義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした丼	易合はそ	の説明	月											
(5)	総合計画の体系	章	3 健身	で安心	して暮ら	らせ	るまちづく	IJ			節		2		———— 細節	30	
					区分	分	□ 内部分	管理] 建設	事業	☑ そのf	 也				
		対象 (誰を、何を)			範囲	等	地域密着型	型介護う	予防+	ナービフ	くを利用され	れた要支援	者				
(6)	目 的	目標(どういう状態に	こしたいの	か)	介護	〜 給付を行うことで、要支援者が必要なサービスを受給できるようにします。											
		結果 (どのような効!	甲が得これ	スのか)	要支	援划	大態にあって	ても、で	きる『	限りその	悪化を防	ぎます。					
(7)		地域での生活ます。要支援	者が、市	が指定	した地 ^は 	域密	活型サート	ビス事業 		いら指定	ː地域密着	型サービス 		ときは、介語		を支給します	
(8)	予算コード	会計	12	款	2		項	2		目	5	大事業	1	中事業	1	小事業	1
			項目]					t26年 14年				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28 ⁴ (2016年	
			•	予算(-	千円)		決算	(千円)	予算(-	千円)	決算見辺	(千円)	予算(千	円)			
			事業費	(A)		15,93			32		7,309		16,204		16,204		13,416
		大件費 職員数			人	•	0.10			0.10			0.10		0.10		
			(B)	千F	円	856									_		
	市 **	総		16,788							•		·				
(9)	事業費と 財源の内訳		13,941			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· ·		<u> </u>		·					
		內		国 ——— 守			3,702 1,991			1,718 914		<u> </u>			3,764 2,025	<u> </u>	
		訳		" D他			8,248					·			8,390		7,655
			市負担					2,84		•		· ·			2,926		1,809
		\sim		 方 債					0		0		0		0		0
		内 訳	そ0	D他				2,84	7		930		2,926		2,926		1,809
		<u> </u>	一般	財源					0		0		0		0		0
		具	け源計(C	+D)				16,78	88		8,124		17,105		17,105		14,300
		□ 直接	実施		T			Ţ									
								1		阪府国	民健康保持)	会				
		☑ 委訊	E又は一 語	部委託			委託先	2									
	実施方法						- <u>*</u> * * * + 5	3									
(10)	(該当するもの					王	な委託内容		1	付 貫等	支払事務						
	は全部チェック)	┌┐ ┤ ╬╒	أ金∙負担	全			六八生										
		口 作用以	"亚• 色把	<u>। जर</u>			交付先	3	_								
							/										
		□ その)他				内容										

2 評 ⁽	- Part	指標等	<u>.</u> 指標項目			項目		26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費		目標値	(単位:千円)		15,932.00	16,204.00	13,416.00
		指標 内容			実績値	(単位:千円)		7,309.00	11,041.00	
	1					達成度(%)		45.9	68.1	
		目標値	前年度実績額を教	参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		1.11	1.55	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	目標値 (単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	の積算 方法 					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指 標					目標値	(単位∶)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(の 3 が) (財) (対)	1	活動 内容					目標			
困指 難標 なで			介護給付を行うこ	とで、要支援者が必要	なサービスを受	給受給できています。	\+ _ \	達成できています。		
な場合	2	成果 内容					達成 状況			
		4	<u> </u> 	□ 拡充	□ 継続	□	\ \		● □	 終期の設定
			(実施計画)			 行政が実施すべき事業				
(4)総	4)総合評価		評価の説明							

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00442	事業名	地域密着型介護予防サービス等給付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 スル思報はする頃とである。(3M/) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	, m
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	点
				F	<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) ①単位当たりコストは適正ですか。 	5	点
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	E	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	5	点
			4) 事 采 于 法 の 検 討 、 事 務 改 善 に 取 り 組 む な と 、 事 采 効 卒 の 向 工 に 労 め)	F	
			a. 事業于法の検討や事務収書に取り組み、具体的な成果を工りている。(3点) ①サービスの対象範囲は適正ですか。	5	点
			①リーに入り対象型西は過止ですが。 	3	
				.	点
			②サービスの水準は適正ですか。 - サービスの水準は適正で、野菜者以外の末足から見ても理解が得られる (5点)	E	.
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	3	点
	(==71117)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	Э	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	4	<u> </u>
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	I	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	-4	<u> </u>
(5)	能性	12	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	<u> </u>	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	_	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	_	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00442	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	いない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	要支援者ができる限り悪化を防ぎ生活 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。	ス給付であり、適正に執行しています。 活するための欠かせない制度となってい 用者が増加することが見込まれるため事 率化を図っており、これ以上の効率化は	業費の増加は避けられませ

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の法改正で介護予防給付のうち介護予防訪問介護、介護予防通所介護が地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業へ移行されました。(吹田市は平成29年4月から実施) また平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。

事務事業名		審:	查支払手数料事業(介護保険特別会計)		
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

事業開始年度	平成12年度			改正	工业										
直近の改正	平成24年度				于剱	以科の以正									
根拠法令等	介護保険法		<u> </u>												
	□ 全部		一部(上乗せ	·、横	出し等あり)		V	』なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	ー ける義務あ	り)
市単独事業区分		ックした	場合は	その説り	明										
総合計画の体系	章 3	3 健原	東で安心	ごして暮	らせ	L さまちづくり	J			節		2		細節	30
				区	分	☑ 内部管			 l 建設	*事業	□ そのイ	也			<u> </u>
	対象 (誰を、何を)			範囲	事等	大阪府国民	尺健康保	 民険団	団体連合	全					
目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	(ימי)	審査	 [支払	L ム件数に応じ	た手数	 (料σ)支払						
	結果 (ビの はきなかり	日よう但こも	2 7 A Y	、事務	その交	· 动率化									
争未似安 ————————————————————————————————————	払いにかかる	5手数料	を支払 ⁽ -	います。 		Γ		正及 て		Nを大阪府 	Ī	R険団体道 		託しており	り、その審査及び支 小事業 1
予算コード	ДП	12	197		_	74				<u>'</u>	ハサネ			'	
		項	目												平成28年度 (2016年度)
						予算(न	斤円)		決算((千円)	予算(-	千円)	決算見達	込(千円)	予算(千円)
		事業費	(A)				18,584	4		8,241		20,317		20,317	20,850
	人件費 人件費	職	員数 ———)			0.10	0		0.10		0.10		0.10	0.10
					円		850	6		815		901		901	884
+ # # 1				1										21,218	
事業質と 財源の内訳	; 							-							18,923
	內							-							
	訳														
								-							·
	\sim	地	 方債											0	
	内記	そ	の他				3,179	9		1,048		3,441		3,441	2,811
	<u> </u>	— 船	段財源				(0		1		0		0	0
	則	才源計(の	C+D)				19,440	0	9,056 21,218 21,218			21,734			
	□ 直接	実施			1										
							1	-	阪府国	民健康保	険団体連合	·会 ————			
	☑ 委託	と又は一	部委託			委託先		-							
実施方法						- <u>^ </u> - ^ - ^ - - ^ - - ^ - - - - - - - -				マオフィバー	+41,1-4	<u> </u>			
(該当するもの					<u> </u>	こな安託内容		1	可質の	番盆及び	文払いに対	9る業務			
は全部チェック)	┌── ──────────────────────────────────	☆. 色+	日全			六八生									
	山 1件制 以 	」並・貝が	ᅼᄑ			文刊元	-	-							
	□ その)他													
	直根総BHPの (お)事HPおの (お)事#おい (お)事#おい (お)要別ドと訳と訳	直近の改正 平成24年度 市地本事業区分 一部にチェース 総合計画の体系 方線を、何を) 日の体系 日の体系 日の体系 日の体系 日の体系 日でうままのの体系 日の体系 日でうまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	直近の改正	直近の改正	直近の改正 平成24年度	直近の改正 平成24年度	直近の改正 平成24年度	直近の改正 平成24年度	直近の改正 平成24年度	直近の改正 平成24年度	京京の改正 中成24年度 内容 日本の改正 中級保険法 日本の改正 日本の公正 日本の改正 日本の改正 日本の改正 日本の改正 日本の改正 日本の改正 日本の改正 日本の公正 日本の改正 日本の改正 日本の改正 日本の改正 日本の改正 日本の公正 日本の公	接換機能	頂面 の 改正	接換性	接換の

			指標項目	1		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			審査支払件数		目標値	(単	単位:件)	4	03,988.00	441,664.00	453,240.00
		指標 内容			実績値	(単	单位∶件)	4	03,711.00	440,790.00	
	1					達成度	(%)		99.9	99.8	
		目標値	前年度実績額を	参考に積算	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.02	0.05	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
の3 がシ 困指	1	活動 内容						目標			
難な場合	2	成果 内容		施設からの介護給付費請 険事務を効率化していま。		審査及びす	支払いを委託	達成 状況	達成できて	います。	
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続	Ē	☑ 縮小	•	□ <u>B</u>	発止 □	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	大阪府国民健康保険 平成29年4月から介 す。	団体連合会 護予防•日	常生活支	することにより 接総合事業カ	、市の支が実施され	払事務の	効率化を図ること 伴い、対象者の見	:ができます。 見直しを行いま

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00443	事業名	審査支払手数料事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	·i······	
(4)	妥当性	00	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	·i	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	·i	
(0)	有効性	40	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	·i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u>. </u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	-i	
<i>(</i> - <i>)</i>	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	-i	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	-	
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。	·i	
(4)	公平性		内部管理		点
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。	·i	
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		·····点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	·i	
<i>(</i> – <i>)</i>	持続可		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
(5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	·i	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	.i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	5点合計 点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00443			
2 各視点	点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に	応じて記載)			
3 事務	事業の現状分析					
(1)本事業	美の位置付け	主要な政策課題 しての取組		部として重点的な取組	<u></u>	その他
(2)各視点	点からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 10 5 0 3 亦 文 文 文 文 文 文 、 文 、 文 、 文 、 文 、 文 、 文 、		
(3)現状分	分析	介護保険の給付はサービス より効率化を図っていることが	事業者からの請求る から必要な事業です	E大阪府国民健康保険団体選 。	合会で審査	業務を行うことに
4 そのfl	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	事項)			

|--|

事務事業名	高額介護サービス事業(介護保険特別会計)							
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの			

(1)		平成12年度		改正		成18年7月1日7	から平	成20年	6月30日ま	での間、激変緩和措	置		
(2)	直近の改正	平成20年度		内容									
(3)	根拠法令等	介護保険法											
		□ 全部		一部(上乗	せ、横	出し等あり)		☑ なし	(国∙府制	度もしくは法令等で	市が実施する義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした場	易合はその	説明	明							
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健康	で安心して	暮らt	せるまちづくり			節	2	細節	30	
		;			区分	□ 内部管理	<u> </u>	□ 建設	设事業	☑ その他	· · ·		
		対象 (誰を、何を)		軍	西等 介護サービス利用者								
(6)	目 的	目標(どういう状態に	こしたいのカ	(۱۰)	か月あ	たりの利用者負	負担額	が世帯台	6算の限度	額を超えた場合、その	の超えた額を給付しま	ミす 。	
		結果 (どのような効果	果が得られ.シ	るのか) 利	用者の	の1割負担の上	限を認	とけること	で、負担を	軽減します。			
(7)	争未似安					負担額が(福祉) サービス費として					住費や日常生活費は	対象外)、世帯合	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	項 "	4	目	1	大事業 1	中事業 1	小事業 1	
			項目	1			平成2 (2014	6年度 年度)		平成2 (2015	7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)	
							<u>, </u>		/ \				
						予算(千円)	決算	(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
			事業費((A)		+) 1,983		(千円) 391,130		決算見込(千円) 559,861	予算(千円) 486,603	
		人件書	事業費(人	+				559,861	559,861	486,603	
		人件費		数	人 千円	401	1,983		391,130	559,861 0.50	559,861	486,603	
		総	職員 総額 事業費(<i>A</i>	自数 (B) A+B)		401	1,983 0.50 4,279 6,262		391,130 0.50 4,075 395,205	559,861 0.50 4,502 564,363	559,861 0.50 4,502 564,363	486,603 0.50 4,418 491,021	
(9)	事業費と 財源の内訳	総	職員 総額 事業費(<i>A</i> 特定財源	(B) (A+B) (C)		406	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417	
(9)	事業費と 財源の内訳	総 (内	職員 総額 事業費(<i>A</i> 特定財源 国	(B) (A+B) (C)		40° 40° 35° 9°	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595	
(9)		総	職員 総額 事業費(A 特定財源 国	(B) (A+B) (C)		40° 40° 35° 9° 50°	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825	
(9)		総 (内	職員 総額 事業費(A 特定財源 国府	(B) (A+B) (C) 国 野		40° 40° 35° 9° 50° 20°	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997	
(9)		(内訳)	職員 総額 事業費(A 特定財源 国	(B) (A+B) (C) 国 开 ()他 D)		40° 40° 35° 9° 50° 20°	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604	
(9)		(内訳)	職員 総額 事業費(A 特定財源 特定財源 の 市負担((B) (A+B) (C) 国 于 (D)		40° 40° 35° 9° 50° 20° 5°	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378 3,215		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647 49,732	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604	
(9)		(内訳)	職員 総額 事業費(A 特定財源 下負担(市負担(地方	(B) (A+B) (C) 引 (D) (D)		40° 40° 35° 9° 50° 20° 5°	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378 3,215 0		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647 49,732	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604	
(9)		総 (内訳) (内訳)	職員総額事業財源 国府 そり もの で その で	数 (B) A+B) (C) 引 可 D) 可債 O他 財源		40° 40° 35° 9° 50° 20° 5°	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378 3,215 0		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647 49,732	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604 0 65,604	
(9)		総 (内訳) (内訳) 具	職員 総費(A 事業財源 特定財源 不負担(市負地方 一般!	数 (B) A+B) (C) 引 可 D) 可債 O他 財源		40° 40° 35° 9° 50° 20° 5°	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378 3,215 0 3,215 0 6,262		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647 49,732 0 49,731 1 395,205	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983 0 564,363	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604 0 65,604	
(9)		総 (内訳) (内訳) 具	職員 総費(A 事業財源 特定 を担い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	数 (B) A+B) (C) 引 可 D) 可債 O他 財源		406 353 93 50 209 53 406	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378 3,215 0 3,215 0 6,262		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647 49,732 0 49,731 1 395,205	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604 0 65,604	
(9)		(内訳) (内訳) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	職員 総費(A 事業財源 特定 を担い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	数 (B) A+B) (C) 引 行 (D) 方債 (D) 方債 (D)		40° 40° 35° 9° 50° 20° 5°	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378 3,215 0 3,215 0 6,262		391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647 49,732 0 49,731 1 395,205	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983 0 564,363	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604 0 65,604	
	財源の内訳	(内訳) (内訳) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	職 額 (A)	数 (B) A+B) (C) 引 行 (D) 方債 (D) 方債 (D)	千円	400 400 353 93 50 209 53 400	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378 3,215 0 3,215 0 6,262 1 2 3	大阪府国	391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647 49,732 0 49,731 1 395,205	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983 0 564,363	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604 0 65,604	
(9)	財源の内訳実施方法(該当するもの	(内訳) (内訳) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	職 額 (A)	数 (B) A+B) (C) 引 行 (D) 方債 (D) 方債 (D)	千円	406 353 93 50 209 53	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378 3,215 0 3,215 0 6,262 ① 6,262	大阪府国	391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647 49,732 0 49,731 1 395,205	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983 0 564,363	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604 0 65,604	
	財源の内訳	(内訳) (内訳) I I I I I I I I I	職 額 (A)	数 (B) (C) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千円	400 400 353 93 50 209 53 400	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378 3,215 0 3,215 0 6,262 1 2 3	大阪府国	391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647 49,732 0 49,731 1 395,205	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983 0 564,363	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604 0 65,604	
	財源の内訳実施方法(該当するもの	(内訳) (内訳) I I I I I I I I I	職 額 (A)	数 (B) (C) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千円	406 406 353 93 50 209 53 406 季託先	1,983 0.50 4,279 6,262 3,047 3,421 0,248 9,378 3,215 0 3,215 0 6,262 ① 6,262	大阪府国	391,130 0.50 4,075 395,205 345,473 91,939 48,887 204,647 49,732 0 49,731 1 395,205	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983 0 564,363	559,861 0.50 4,502 564,363 494,380 130,056 69,983 294,341 69,983 0 69,983	486,603 0.50 4,418 491,021 425,417 114,595 60,825 249,997 65,604 0 65,604	

)指標等	指標項目	■		項目	平成26年月 (2014年度		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費		目標値	(単位:千円)	401,98	33.00	559,861.00	486,603.00
		指標 内容			実績値	(単位:千円)	391,20	05.00	451,373.00	
	1					達成度(%)		97.3	80.6	
_		目標値	前年度実績額を	参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		1.01	1.25	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 - 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
のが困難な	1	活動 内容	利用者の1割負 要なサービスを利		で、負担を軽減し	、要介護・要支援者が必		えできて	ています。	
な 場 合 す	2	成果 内容					達成 状況			
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続	☑ 縮小		□ J	廃止 □	終期の設定
(4)総1	合評		評価の説明	要なサービスだとる 一旦費用を立て替	考えられます。 える事もなく、	上限を設け超えた分かまた、大阪府内の施設さらにサービスを利用し 常生活支援総合事業か	:入所者には いやすくなって	受領委	委任払いの制度な と考えられます。	が適用されるので

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00444	事業名	高額介護サービス事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	:	
	妥当性		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	i	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u>:</u>	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(-)	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u> </u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	i	
(0)	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	i	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	•	
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。	i	
(4)	公平性	10	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	······································	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	i	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	····· 点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(E)	持続可	10	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
(5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	5点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
					•

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00444	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 10 5 0 有効性 公平性 	
(3)現状分析	利用者負担額が一定の限度額を超るうえで欠かせない制度となっていま 今後も高齢者が増加し、サービス利 ん。	ごス給付であり、適正に執行しています。 記えた場合に給付する制度であり、安心します。 可。 別用者が増加することが見込まれるため 効率化を図っており、これ以上の効率化に	事業費の増加は避けられませ

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。 また、現役並み所得者に相当する者の自己負担限度額が引き上げられました。

事務事業名		高額医療合算介護サービス事業(介護保険特別会計)								
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの					

		N 女														
(1)	事業開始年度	平成20年度			改正	白口	上負担額の-		亩							
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	HL	. 貝担似い	即多	文							
(3)	根拠法令等	介護保険法														
		□ 全部		一部(_	上乗せ、	せ、横出し等あり) 図 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							ny)			
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたは	場合はる	その説明	·)説明										
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健身	で安心	して暮	らせ	せるまちづくり				節		2		細節	30
		:	l		区分	分	□ 内部	管理		 □ 建i	 ひ事業	☑ その	 他			<u>:</u>
		対象 (誰を、何を)			範囲	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
(6)	目 的						1日から翌 、その超え					った、医療値	保険と介護	保険の自	己負担合	計額が限度額を超
							食、介護保障 ことで、負担				ることにより	り、自己負担	超額が著し	く高額にな	る場合に	、利用負担額の上限
(7)	事業概要 H27事業別	その超えた額			算介護+ 	サー)の医療保 	保険と介護保 大事業	保険との自	己負担合 中事業	計額が限り	度額を超えた場合、
(8)	予算コード	会計	12	示 人	2		垻	5		<u> </u>	<u> </u>	人争耒	l	甲爭耒	l	小争耒
			項目	∄					或26 ⁴)14年					7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)
			•	予算(-	千円)		 決算	(千円)	予算(千円)	決算見i	친(千円)	予算(千円)			
						55,4	53		52,128	3	77,231		77,231	66,899		
		人件費	職員	員数	人	•		0.	65		0.65	5	0.65		0.65	0.65
		八川貞	総額	€ (B)	千日	円		5,5	63		5,297	,	5,852		5,852	5,743
			事業費(61,0							72,642	
(9)	事業費と 財源の内訳	!	特定財源				53,675				50,795		73,429		73,429	+
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	内 ——		国 				12,8		12,254 6,516			17,941		17,941	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		訳		府 の他				33,8					9,654 45,834		9,654 45,834	<u> </u>
			市負担					7,3		32,025 6,630			9,654		9,654	+
		$\overline{}$		<u>`</u> 方債				7,0	0		0,000		0,001		0,001	+
		内		<u>・・・・</u> の他				7,3			6,630		9,654		9,654	
		訳 <u></u>		財源				<u> </u>	0		0		0		0	<u> </u>
		具	 才源計(C	;+D)				61,0	16		57,425	5	83,083		83,083	72,642
	□ 直接実施								•							
								Ć	① ナ	阪府国	国民健康保	険団体連合	会			
		☑ 委託	E又は一部	邻委託			委託先	(2	2							
	実施方法			47 🔍 10	_				3							
(10)						主	な委託内容			付費等	支払事務					
	(該当するもの は全部チェック)		L A !-	. ^					1)							
		□ □ 補助	金•負担	金金			交付先	-	2							
									3							
		□ その	他				内容									

2 評 ⁽	<u></u>)指標等	<u>,</u> 指標項目			項目			!6年度 !年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			給付費		目標値	(単	位:千円)		55,453.00	77,231.00	66,899.00
		指標 内容			実績値	(単	位:千円)		52,128.00	63,558.00	
	1					達成度	(%)		94.0	82.3	
		目標値	前年度実績額を	参考に積算	単位当た	総事業費	党(単位:千円)		1.10	1.31	
1 ————————————————————————————————————		の積算 方法			りコスト	一般財源	京(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)				0.0	0.0	
		目標値の装質			単位当た	総事業費	隆(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値の装質			単位当た	総事業費	党(単位:千円)	単位:千円)		0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
へ の3 が 困指	1	活動 内容						目標			
難標な示合	2	成果内容	る場合に利用負担	保険の両給付を受ける。 坦額の上限を設けるこ。 スを受給できます。	ことにより、自己 とで、負担を軽減	,負担額が 或し、要介詞	著しく高額にな 護・要支援者	達成 状況	達成できて	います。	
			・ 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		□縮小	•	□ J	発止 □	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	平成20年度に開始た場合その超えたま両方のサービスを表	部分が支給さ	れます。					十が限度額を超え

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00445	事業名	高額医療合算介護サービス事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

評価	兄屈からの fの視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点				
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。				
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点		
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	•			
(4)	妥当性	00	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点		
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i			
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•			
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点		
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	·i			
(0)	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点		
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	·i			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
					④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	.i	-
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
				:			
	効率性 (20点)	20	a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点		
				.i			
>			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点		
(3)			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	·i			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。				
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
			①サービスの対象範囲は適正ですか。				
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点		
		10	②サービスの水準は適正ですか。	·i			
(4)	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点		
(4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	·i			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	··········· 点		
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	:			
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点		
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	·i			
,_,	持続可		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点		
(5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	.i			
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	.i			
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
	「点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))				

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00445	
2 各視点	からの評価の点数では表れ	ない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

○ 子が子木のがががが	1		
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	医療費と介護保険サービスの利用: 介護を必要とする高齢者が増加する なっています。 今後も高齢者が増加し、サービス利用 ん。 複雑な制度になっており、それに伴	ごス給付であり、適正に執行しています。 者負担額が一定の限度額を超えた場合に 中で安心して介護保険サービスを利用す 用者が増加することが見込まれるため事 い事務も複雑になっていますが事務につ は以上の効率化は困難と考えています。	でるために欠かせない制度と 業費の増加は避けられませ

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の制度改正で、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に引き上げられました。 また、医療保険の高額療養費制度の改正に伴い、介護保険の高額医療合算サービス費の自己負担限度額が一部改正されました。

事務事業名 特定入所者介護サービス等事業(介護保険特別会計)					
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

(1)	事業開始年度					平成18年7月1日から平成20年6月30日までの間、激変緩和措置終了に伴う所得段階の変更						
(2)	直近の改正	平成20年度										
(3)	根拠法令等	介護保険法										
		□ 全部		一部(上乗	せ、横	出し等あり)		☑ なし	(国∙府制	度もしくは法令等でī	市が実施する義務あ	<u>ዛ</u>)
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした場	易合はその	説明							
(5)	(5) 総合計画の体系 章 3 健康で安心して暮らせるまちづくり 節 2			2	細節	30						
		:			区分	□ 内部管理	!	□ 建設	と事業	☑ その他	:	
		対象 (誰を、何を)		軍	節囲等	短囲等 低所得の介護サービス利用者						
(6)	目的	目標 (どういう状態に	こしたいのカ			 民税世帯非課税等の低所得者について、施設サービスや短期入所サービスを利用したとき、食費・居住費 ついて補足給付として支給されます。						
		結果 (どのような効り	果が得られ、ノ	るのか) 但	E 所得(の介護サービス	利用者	番の自己1	負担額を軽	減します。		
(7)	TA 又和C164 y。				行こつい	T :	ごス•短 		ナービスの	<u> </u>	<u> </u>	· ·
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	2	項 (6	目	1	大事業 1	中事業 1	小事業 1
		項目				平成26年度 (2014年度)				平成2 (2015	7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)
							. 1					
						予算(千円)	決算	(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
			事業費(A)		+) 9,896	決算	(千円) 763,186		決算見込(千円) 751,943	
		人件费	事業費(ı	人	+		決 算		751,943		812,855
		人件費	I	数	人 千円	769	9,896	決 算	763,186	751,943	751,943	812,855
		絵	職員 総額 (事業費(<i>F</i>	自数 (B) A+B)		769	9,896 0.55	決 算	763,186 0.55	751,943 0.55 4,952 756,895	751,943 0.55	812,855 0.55 4,860 817,715
(9)	事業費と 財源の内訳	絵	職員 総額 審業費(<i>A</i> 特定財源	(B) (A+B)		769 774 672	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683	決 算	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125
(9)	事業費と 財源の内訳	絵	職員 総額 事業費(<i>A</i> 特定財源 国	(B) (A+B) (C)		769 774 672 146	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976	決 算	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007
(9)		総	職員 総額 事業費(A 特定財源 国	(B) (A+B) (C)		769 774 672 146 128	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184	· 決算	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028
(9)		(内	職員 総額 事業費(A 特定財源 国府	(B) (A+B) (C) 国 野)他		769 774 672 146 128	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523	決 算	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090
(9)		(内	職員 総額 事業費(A 特定財源 国府 その 市負担((B) (A+B) (C) 国 开 ()他 D)		769 774 672 146 128	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184	· 決算	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590
(9)		(内 訳)	職員 総額 事業費(A 特定財源 国府	(B) (A+B) (C) 国 于 (D)		769 774 672 146 128 397	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523 1,920	· 決算	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810 97,063	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590
(9)		(内訳)	職員 総額 事業費(A 特定財源 下負担(市負担((B) (A+B) (C) 引 (D) (D)		769 774 672 146 128 397	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523 1,920 0	· 決算	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810 97,063	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590
(9)		(内訳) (内訳)	職員総額事業財源 国府 そり もの で もの で その こう	数 (B) A+B) (C) 引 可 D) 可債 O他 財源		769 774 672 146 128 397 101	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523 1,920 0	· 決算	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810 97,063 0	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590 0 109,590 0
(9)		(内訳) (内訳) (内訳)	職員 総費(A 事業財源 特定財源 不 を 有負地 その 一般	数 (B) A+B) (C) 引 可 D) 可債 O他 財源		769 774 672 146 128 397 101	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523 1,920 0 1,920 0	· 決算	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810 97,063 0 97,063	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590 0 109,590
(9)		(内訳) (内訳) (内訳)	職員 総費(A 等費)源 特定財源 不 を担し 一 の は源計(C・ 対源計(C・	数 (B) A+B) (C) 引 可 D) 可債 O他 財源		769 774 672 146 128 397 107	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523 1,920 0 1,920 0 4,603		763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810 97,063 0 97,063 0 767,668	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590 0 109,590
(9)		(内訳) (内訳)	職員 総費(A 等費)源 特定財源 不 を担し 一 の は源計(C・ 対源計(C・	数 (B) A+B) (C) 引 可 D) 可債 D他 財源 +D)		769 774 672 146 128 397 101	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523 1,920 0 1,920 0 4,603		763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810 97,063 0 97,063 0 767,668	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0 756,895	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590 0 109,590
(9)		(内訳) (内訳)	職 額 名 等 等 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	数 (B) A+B) (C) 引 可 D) 可債 D他 財源 +D)	千円	769 774 672 146 128 397 101 774 委託先	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523 1,920 0 1,920 0 4,603	大阪府国	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810 97,063 0 97,063 0 767,668	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0 756,895	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590 0 109,590
(10)	財源の内訳	(内訳) (内訳)	職 額 名 等 等 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	数 (B) A+B) (C) 引 可 D) 可債 D他 財源 +D)	千円	769 774 672 146 128 397 107	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523 1,920 0 1,920 0 4,603	大阪府国	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810 97,063 0 97,063 0 767,668	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0 756,895	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590 0 109,590
	財源の内訳	(内訳) (内訳) □ □ ☑	事 特	数 (B) (C) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千円	769 774 672 146 128 397 107 774 季託先	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523 1,920 0 1,920 0 4,603 1,920 1,920 0 4,603	大阪府国	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810 97,063 0 97,063 0 767,668	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0 756,895	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590 0 109,590
	財源の内訳実施方法(該当するもの	(内訳) (内訳) □ □ ☑	職 額 名 等 等 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	数 (B) (C) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千円	769 774 672 146 128 397 101 774 委託先	9,896 0.55 4,707 4,603 2,683 6,976 8,184 7,523 1,920 0 1,920 0 4,603	大阪府国	763,186 0.55 4,482 767,668 670,605 148,963 125,832 395,810 97,063 0 97,063 0 767,668	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0 756,895	751,943 0.55 4,952 756,895 662,902 144,208 124,462 394,232 93,993 0 93,993 0	812,855 0.55 4,860 817,715 708,125 159,007 134,028 415,090 109,590 0 109,590

)指標等	指標項目	∃		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			給付費		目標値	(単位:千円)	769,896.00	751,943.00	812,855.00	
		指標 内容			実績値	(単位:千円)	763,186.00	752,618.00		
	1					達成度(%)	99.1	100.1		
		目標値	前年度実績額を	参考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)	1.01	1.01		
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
活動指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
	2					達成度(%)	0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
	1					達成度(%)	0.0	0.0		
2	2	目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
\smile		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
成果指標		+6+無			目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
						達成度(%)	0.0	0.0		
		目標値 の積算		単位当た りコスト		総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
の3 が 困指	1	活動 内容					目標			
困難な場合	2	成果 内容		サービスや短期入所† として支給することで、		たとき、食費・居住費に 減しています。	達成でき 達成 状況	います。		
	(4)総合評価		今後の方向性 (実施計画)	□拡充	□ 継続	□縮小		廃止	終期の設定	
(4)総			評価の説明			スを利用したときの食 低所得者が施設を利				

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00446	事業名	特定入所者介護サービス等事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 スル思報はする頃とである。(3M/) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	, m
			・	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	点
				F	<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) ①単位当たりコストは適正ですか。 	5	点
	効率性 (20点)	20			
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	E	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	5	点
			4) 事 采 于 法 の 検 討 、 事 務 改 善 に 取 り 組 む な と 、 事 采 効 卒 の 向 工 に 労 め)	F	
			a. 事業于法の検討や事務収書に取り組み、具体的な成果を工りている。(3点) ①サービスの対象範囲は適正ですか。	5	点
			①リーに入り対象型西は過止ですが。 	3	
				.	点
			②サービスの水準は適正ですか。 - サービスの水準は適正で、野菜者以外の末足から見ても理解が得られる (5点)	E	
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	3	点
	(==71117)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	Э	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	4	<u> </u>
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	I	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	-4	<u> </u>
(5)	能性	12	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	<u> </u>	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	_	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	_	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 局齢福祉室	事務事業番号 00446		
2 各視点からの評価の点	数では表れない事項(必要に応じて		
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	安当性 20 10 5 10 5 0 分率性	
(3)現状分析	低所得者の施設サービス等の食物には欠かせない制度となっていま 施設整備状況とも密接に関連しまれるため事業費の増加は避けられる	きすが、今後も高齢者が増加し、サービス和	引用者が増加することが見込ま
4 その他(国・府の動向な	ど、当該事業に関係する特記事項)		

平成27年度の制度改正で、対象要件について資産要件等が加わりました。

于 不由

事務事業名	介護保険給付費準備基金積立事業(介護保険特別会計)						
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの		

	中加中未以	N 文															
(1)	事業開始年度	平成12年度		5	次正 .	+ >I											
(2)	直近の改正	なし		P	内容	なし											
(3)	根拠法令等	吹田市介護係	呆険給付	費準備	基金条	例											
		□ 全部		一部(」	上乗せ、	、横と	出し等あり)	V	なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	する義務あ	(b)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたり	場合はそ	か説明	明											
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健身	で安心	して暮	らせ	るまちづく	IJ			節		2		細節	30	
		:			区分	分	☑ 内部	 管理			事業	□ その'	 也	<u> </u>		:	
		対象 (誰を、何を)			範囲	等	余剰金や	基金の運	Ⅱ 用か	ら生じ	る収益						
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)	余剰	 金や基金の運用から生じる収益を介護保険給付費準備基金に積み立てます。											
		結果 (どのような効果	且が得こわ	ろのか)	 介護	保険	事業の安	定的な遺	運営								
(7)	事 未帆安 ————————————————————————————————————	に、余剰金等	の管理を		·す。 		間内で収え	支の均復 				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	営営を安定 		こめに基金	きを設置するととも	
(8)	予算コード	会計	12	叔	3		垻	I		目	1	大事業	I	中事業	l	小事業 1	
			項目	=					26年 4年度				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)	
							予算(-	千円)		決 算(·	千円)	予算(千円)	決算見i	친(千円)	予算(千円)	
			事業費	(A)			145		5		234,601		3,772		3,772	53	
		人件費	職員	員数 ————	人		0.05		5	0.05		0.05			0.05	0.05	
				(B)	千F	円	4			3 40		451		451			
	* * # 1		事業費(573			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						+	
(9)	事業費と 財源の内訳	:	特定財源			-	145					·					
		<u> </u>		国 ——— 苻			0			0		+					
		訳 <u></u>		: の他			145		_	680					3,772		
		<u> </u>	市負担	(D)				42	8		234,328		451		451	451	
			地之	方債					0		0		0		0	0	
		内 訳	その	の他				42	8		234,328		451		451	451	
		<u> </u>		財源					0		0		0		0		
			オ源計(C)+D)				57	3		235,008		4,223		4,223	946	
		☑ 直接	美麗		T			1									
							委託先	2	_								
		□ 委託	[又は一日	部委託			21	3									
(10)	実施方法					主	な委託内容	容									
(10)	(該当するもの は全部チェック)							1									
	<u>- HP</u> / - / / /	□ 補助	金•負担	金			交付先	2									
								3									
		□ その他				内容											

		指標等	指標項目			項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
_		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
1) ;		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 - 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
へ の3 が 気 気 に	1	活動 内容	余剰金や基金の運用か す。 	ゝら生じる収益をイ	个護保 険給付費	登準備基金に積み立てま	目標	適正な基金管理 目標 達成できています。 達成 状況		
困難な場合	2	成果 内容	介護保険給付費準備基 を図っています。	金の適正な管理	とにより、介護保	険事業の安定的な運営				
	•	4	- う後の方向性 □ (実施計画) □	拡充	☑ 継続	□縮小	`	□ 房	<u>₽</u>	終期の設定
(4)総	合評			保険事業の財	政運営の安定	■を図るため、保険者で	である市が	_ が行うべき [™]	事業です。	

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00447	事業名	介護保険給付費準備基金積立事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
=+1Ⅲ 	ロの悦点 	計៕从			
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(1)	妥当性 (20点)	20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性	10	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	_ X			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	
(3)	(20点)				
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)		5	
				5	 - 点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
					 点
	公立外		内部管理		 点
(4)	公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			<u> </u>		 点
			4公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			小		 点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		/iii
			・	5	 点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	J	
	持続可			F	
(5)	能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点) ② 存内類似団体(又は北垣冬市)の類似事業と比較・公析していますか	J	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	_	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	_	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00447		
2 各視点	からの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)	 -	
3 事務事	事業の現状分析 				
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 効率性	性
(3)現状分	·析	介護保険は3年間を1期とし、 険給付費準備基金に積立て 的運営のためには必要な事	、逆に不足が生じ	均衡を図る制度となっており たときには取り崩すことによ	、余剰金が生じたときには介護保 りに運営されているもので、計画
4 その他	1(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	已事項)		

事業番号	00448

事務事業名 第1号被保険者保険料還付事業(介護保険特別会計)						
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの	

	直近のな事 中成27年 小護保険 一部に子 総合計画の体系 対離 標う状態 最大 目うい果ようななない 事業概要 一個(内訳) 大田子等 人の記 大田子等 人の記 大田子等 人の記 大田子等 人の記 大田子等 日本の本 <																
(1)	事業開始年度	平成13年度			改正		# /	36 T									
(2)	直近の改正	平成27年度			内容	が設	護保険料の	改止									
(3)	根拠法令等	介護保険法、	吹田市	介護保	:険条例												
		□ 全部		一部	(上乗せ	、横	出し等あり	J)	V	な	し (国・府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	「る義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたり	場合は	その説	明		•									
(5)	総合計画の体系	章 3	强 健康	東で安々	心して着	まらせ	とるまちづく	くり			節		2		細節	30)
		:			区	分	□内部	管理		建	 設事業	✓ その・	 他			<u> </u>	
		対象 (誰を、何を)			範囲	囲等	介護保険	の第1 -	—— 号被保障)))	(65歳以上	 の人)					
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)	転出	 伝出・死亡などにより発生した介護保険料過誤納金を適正に返還する。											
			結果 (どのような効果が得られるのか) 介護保険制度の適正な実施。														
(7)		転出・死亡な	どにより	発生し	た介護	保険	:料還付金(のうち年	手度内に	還	すできなかっ	た過年度タ	}の過誤約	内金を適正	に返還しま	きす。	
(8)		会計	12	款	4	4	項	1		目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
,		項目							成26年 014年度					7年度 年度)		平成28 (2016 ²	
							予算((千円)		決算	第(千円)	予算(千円)	決算見過	込(千円)	予算(-	千円)
			事業費	(A)				6,9	921		4,906		7,966		7,966		8,267
		人件費	職員数		<u></u>	0.60		0.60						0.55		0.55	
				総額(B) 千円		·円	5,135								4,952	·	
	古光串人		事業費()		12,056				9,388						
(9)		:	特定財源				12,056				9,388					_	
		内		国 ——— 苻			0				0						0
		訳		<u>''</u> の他			12,056				9,388			-			
			市負担					<u> </u>	0	0							
			地	方債					0		0		0	0 0			0
		内	その	の他					0		0		0		0		0
			— 般	財源					0		0		0		0	0 (
			才源計(C	(D+C				12,0	056		9,388		12,918		12,918		13,127
		☑ 直接	天施														
	実施方法	□ 委託	□ 委託又は一部委託				委託先	(① ② ③								
(10)	(該当するキ。の					E	とな委託内										
		┌┐╶╁╅╒┼	全。台七	· 소			交付先	_	① ②								
		口 作用 <i>以</i> .	」並「 吳作	<u> </u>			又凹兀	⊢	3								
		□ その他					内容		<u> </u>								

		<i>,</i> 10 10		指標項目	1		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				償還金		目標値	(単	望位∶円)	6,9	21,000.00	7,966,000.	.00	8,267,000.00
		指标 内容				実績値	(単	ሷ位∶円)	5,1	30,531.00	6,365,146.	.00	
	1		-				達成度(%)		74.1	79	9.9	
(目標		前年度実績額を	参考に積算。	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.	.00	
1)		の積				りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.	.00	
活動指標						目標値	()	単位:)		0.00	0.	.00	0.00
標		指 村 内				実績値	[値 (単位:)			0.00	0.	.00	
	2						達成度(%)		0.0	(0.0	
		目標の発				単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.	.00	
		の積				りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.	.00	
						目標値	<u>(</u>)	単位:)		0.00	0.	.00	0.00
		指标 内容	標容			実績値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.	.00	
	1						達成度(%)		0.0		0.0		
(2) th		目標の積				単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.	.00	
		方法				りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.	.00	
成 果 指 標						目標値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.	.00	0.00
標		指 村 内 ?				実績値	<u>(</u>)	単位:)		0.00	0.	.00	
	2						達成度(%)		0.0	(0.0	
		目標 の積				単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00		0.	.00	
		方法				りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00		
(3)指標	1	活動 内容	容	転出・死亡などに	より発生した介護保険	料還付金を適口	Fに仮還す	ることで適正	目標	達成できて	ています。		
な場合	2	成 ! 内?	果		を実施しています。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			達成 状況	~ · C			
				・ 後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□ 縮小	•	<i>J</i>	廃止	□ 糸	冬期の設定
(4)総	合評	価		評価の説明	介護保険法に基づ	く事業であり、	行政が直	[営で実施す	べき事業	です。			

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00448	事業名	第1号被保険者保険料還付事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	•	
(1)	妥当性	00	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	•••••••••••	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	
(0)	有効性	00	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	·i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u>.</u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサ <i>ー</i> ビスの提供に努めていますか。	<u>.i</u>	
(3)	効率性	率性 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)		5	点
	(20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	.i	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	-	
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。	·i	
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	20	③適正な受益者負担を求めていますか。	·i	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	. i	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u>:</u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	.i	
,_,	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。	. i	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	·i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	100	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00448								
2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)											

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 15 10 5 4 公平性	
(3)現状分析	介護保険制度運営の財源確保のため 行っています。介護保険料については されている等により、本事業を実施す	め、第1号被保険者(65歳以上の方)に対 は、①過誤納金が発生する。②還付期限 る必要があります。	し、介護保険料の賦課・徴収を が介護保険法により2年と規定

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度以降に賦課決定された保険料については、当該年度における最初の保険料の納期の翌日から起算して、二年を経過した日以降に ついては更正することができない旨が規定された。

事業番号 00449

事務事業名	介護相談員派遣事業(介護保険特別会計)						
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの		

	于初于未UVW	<u>%女</u>															
(1)	事業開始年度	平成15年度			改正 亚战19年度 以上划				=1 → \	こ人≕	5/8 10 14 8	╗ ╱╘ ┸┸ ╠╏		井 / - 赤 市			
(2)	直近の改正	平成18年度 内			内容												
(3)	根拠法令等	吹田市介護村	目談員》	· 派遣事業	実施要	綱、	地域支援事	業実施	要綱	(国)							
		□ 全部 □ 一部(上乗せ				、横	黄出し等あり) ☑ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					い り)					
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした場合はその				明											
(5)	総合計画の体系	章 3	强 健.	康で安心	いして暮	して暮らせるまちづくり			節		2	;	———— 細節	30			
		<u> </u>			区	分	□ 内部管	· 理		建設	事業	☑ その	他	<u> </u>		<u>i </u>	
(6)		対象 (誰を、何を)			範囲	事	介護保険施設等サービス利用者										
	目 的	目標 (どういう状態にしたいのか) サービ				 -ビス利用の疑問や不満、不安の解消を図ります。											
		結果 (どのような効果	早が得られ	hるのか)	介護	サー	-ビスの質的	的向上を	図りま	きす。							
(7)	事業概要	介護相談員は することにより 市は相談員だす。	ノ、利用	者の疑問	問や不満	満、フ	不安の解消	を図ると	ともに	二、派员	遣を受けた	:事業所には	おける介護	隻サービスの	の質的向.	上を図ります	。また、
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5)	項	2		目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	2
		項目				平成26年度 (2014年度)			平成27年度 平成28 ² (2015年度) (2016年								
						予算(न	斤円)		決算(千円)	予算(千円)	決算見込	(千円)	予算(न	-円)	
		事業費(A)						4,097			3,831		4,774		4,774		4,902
		│ 職員 人件費		員数	<u> </u>			0.20			0.20		0.20		0.20		0.10
				額(B) ———	千	円		1,712			1,630		1,801		1,801		884
	Alle I	総事業費(A+B)				5,809			·		6,575		6,575		·		
(9)	事業費と 財源の内訳	特定財源(C)					4,662			4,705		5,283		5,283		4,829	
		内 ——	国			2,294 1,147			1,945			2,564		2,564		2,256	
		訳	<u></u> 府 その他							973 1,787	1,282 1,437		1,282	1,437	1,129 1,444		
			 市負担				1,221 1,147			756 0		· •		1,437		<u> </u>	
				-									0				007
		内		の他				1,147			756		1,292		1,292		957
		訳 		 股財源				0			0		0		0		0
			 才源計(5,809			5,461		6,575		6,575		5,786
		☑ 直接	実施											l		<u> </u>	
								1									
		┃ □ 委託	- -	·部委託			委託先	2									
	実施方法		, ~ 16	חוסקונו				3									
(10)						主	な委託内容		ı								
/	(該当するもの は全部チェック)		<u>.</u> -					1									
		□補助]金•負持	兰金			交付先	2									
								3									
		□ その他			内容												

			指標項目	∃		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			活動回数		目標値	(単	4位:回)		1,348.00	1,468.00	1,565.00
		指標 内容			実績値	(単	益位 :回)		1,272.00	1,437.00	
	1					達成度(%)		94.4	97.9	
		目標値	前年度実績を参	考に積算	単位当た	総事業費	(単位:千円)		4.29	4.58	
1 ~		の積算 方法			りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(.	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(.	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(.	単位:)		0.00	0.00	0.00
	1	指標 内容			実績値	(.	単位:)		0.00	0.00	
						達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標	2	指標 内容			目標値	(.	単位:)		0.00	0.00	0.00
標					実績値	(.	単位:)		0.00	0.00	
						達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当たりコスト	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00	
(3) のが 動指	1	活動 内容						目標			
難な場合	2	成果内容	介護相談員が利 の質的な向上を[用者の声を施設や市へ了 図っています。	フィードバックで	することでイ	ト護サービス	達成状況	概ね達成で	できています。	
		4	今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続		□ 縮小	小		廃止 □	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	介護相談員は公募に 設系サービス)に対す の報告を相談員のス 指導にならないよう記 不満等を含めた事業 実費等含む)として3	する不法行為 スキルアップで 周整を行いな 美所の現状把	らの抑止を をかねてり がら適切 と握も行え	か果も考えられ 11回事務局の な活動を行う ることから、幸	れ虐待等 の市担当 うことがで 最償費で	の防止に á職員に行 きます。ま 訪問1回あ	も繋がっています うことにより、事 た、市としてもち うたりの活動費()	け。また、保険者へ 業所への一方的な トービス利用者の 交通費、行事参加

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00449	事業名	介護相談員派遣事業	事業区分	その他

(1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	-
(1)	点 点 点
20	点点
(2) タコピ 20 (② (② (② (② (② (② (② (② (③ (③ (③ (③ (③ (⑤ (⑥ (③ (⑤ (⑤ (⑤ (⑤ (⑤ (⑥ (⑤ (⑥ (⑤ (⑥ (⑥ (⑥ (⑥ (⑥ (⑥ (⑥ (⑥ (⑥ (⑥ (⑥ (⑥ (⑥	点点
(20点) 20 (3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点) 5 (4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. を観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点) 5 (元勤指標・有効指標・有効指標をれぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標・有効指標では定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標・有効指標とおりの上が表している。(5点) 5 (3事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 事業の目的と受益者が一致している。(5点) 5 (4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標と上りコストは適正ですか。 a. 目標と上りコストは適正である。(5点) 5 (2迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点) 5 (2迅速なサービス関係のための取締を具体的に取り組んでいる。(5点) 5 (4事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 5 (4 中業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 5 (4 中業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 5 (4 中業・手法の検討、事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点) 5 (4 中業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 5 (4 中業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 5 (4 中業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 5 (4 中業・中域・中域・中域・中域・中域・中域・中域・中域・中域・中域・中域・中域・中域・	点点
(3)	点点
(2)	点
(2) 有効性 (20点) 18	点
18	
18	
(2) 有効性 (20点) 18 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点) 5 (3) 事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 5 (4) 市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) 5 (3) 参率性 (20点) (2) 迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 単位当たりコストは適正ですか。 5 (3) 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点) 5 (4) 公平性 (20点) (5) ・事業の効率化を図っている。(5点) 5 (4) 公平性 (5) ・特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点) 5	点
(3)	点
(3) (20点) 18 (3) 事業は目標どおりに進捗していますか。	
(3) タン平性 (20点) (3) (4) 公平性 (4) 公平性 (4) 公平性 (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) 5 ①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点) 5 ②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点) 5 ③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 5 ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点) 5 ①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点) 3 ②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点) 5	点
(3) 対率性 (20点) 20 (2) 担連位当たりコストは適正ですか。	
(3) 初率性 (20点) 20 (3) 20 (3) 20 (3) (2) 迅速なサービスの提供に努めていますか。 (3) (4) (3) (4) (4) (4) 公平性 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (6) (7) <td< td=""><td>点 点</td></td<>	点 点
(3)効率性 (20点)20②迅速なサービスの提供に努めていますか。5a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)5③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)5④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)5①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)3②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)5	
(3) 対率性 (20点) 20 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点) 3他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 5 ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点) 5 ①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点) 3 ②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点) 5	点 点
(3)	
(20点) 20 ③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点) 5 ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点) 5 ①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点) 3 ②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点) 5 5 5 5 5 5 5 5 5	点 点
 ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点) ①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点) ②サービスの水準は適正ですか。 (4) 公平性 18 	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点) 5 ①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点) 3 ②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点) 5	点 点
①サービスの対象範囲は適正ですか。	
b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点) 3 ②サービスの水準は適正ですか。 (4) 公平性 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	点
②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点) 18	
(4) 公平性 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点) 5	点
$(A) \mid A \mid A \mid$	
-(A)	点
(^{マノ} ^(20点) ¹⁰ ③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 5	点
④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点) 5	点
①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	点
②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
持続可 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点) 5	点
(5) 能性 20 ③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	,
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点) 5	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	***************************************
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 5	
評価点合計 (100点満点) ← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	点点

所属名 高齢福祉室	事務事業番号 00449		
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	記載)	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 15 10 5 有効性 公平性 	
(3)現状分析	介護相談員を施設に派遣することに寄与します。また、閉鎖的になりがちあります。また、国の介護給付適正付ており、不適切な給付の削減にも寄	より、利用者と施設の橋渡しをする事業でな施設に相談員が入ることにより風通して と計画に関する指針に基づく大阪府介護総 与しています。	であり、サービスの質の向上に の良い施設になるという効果も 給付適正化計画の事業とされ
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)		

事務事業名	介護給付費通知事業(介護保険特別会計)								
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの				

	争務争系の機	双安																
(1)	事業開始年度	平成15年度			改正	平成	 15年度よ	り国の	介護	費用適	正化対策	事業として乳	毛施					
(2)	直近の改正	平成18年度			内容	平成	艾18年度よ	り地域	支援	事業と	して実施							
(3)	根拠法令等	吹田市介護係	保険給	付費通知	」 実施要	領、	地域支援	事業実	施要	綱(国)								
		□ 全部	[上乗せ	·、横	出し等あり)	1	☑ なし	∕(国•府ᠻ	制度もしくは	法令等で	市が実施す	る義務あ	り)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしナ	た場合は	その説													
(5)	総合計画の体系	章 3	3	 建康で安/	心して暮	いらせ	L せるまちづく	(1)			節		2	糸	 田節	30		
		<u> </u>	l		区	分	□内部	管理	[□ 建i	りま業の である である できまった できまった しょうしん かいまん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	☑ その	他					
	目 的	対象 (誰を、何を)			範囲	围等												
(6)		目標 (どういう状態に	こしたい	のか)	保険	 険給付の内容を利用者に通知することにより、架空請求などの発見の端緒とします。												
		結果 (どのような効果	₽が得♪	うれるのか)) 介護	介護サービスの質的向上及び給付の適正化を図ります。												
(7)	事業概要 	介護保険サー				T		ノます			上	0	一十事	0	小市光			
(8)	予算コード	会計	12	款	ţ	5	項	2		目	1	大事業	3	中事業	3	小事業	1	
			項	目					成26 ⁴ 014年					:7年度 5年度)		平成28 (2016年		
							予算(千円)		決算	(千円)	予算(千円)	決算見込	(千円)	予算(刊	-円)	
		人件費	事業	事業費(A)				1,9	939		1,70	8	2,024		2,024		1,986	
			耵	職員数		<u></u>		0.	.20		0.2	0	0.20		0.20		0.10	
		総額(総額 (B)		円		1,7	712		1,63	0	1,801		1,801		884	
	- 			隻(A+B))	3,651					3,33	·			3,825		+	
(9)	事業費と 財源の内訳	:	特定期	オ源(C) 				•	930		3,00		· ·		3,079		2,483	
		内 ——		 府					142 721		1,21				1,492 746		1,120 559	
		訳		 その他					767		1,17		746 841		841		804	
				担(D)					721		33		746		746		387	
		$\overline{}$		地方債					0			0	0		0		0	
		内	7	その他				7	721		33	7	746		746		387	
		· ·	_	-般財源					0			1	0		0		0	
		貝	才源計	(C+D)				3,6	651		3,33	8	3,825		3,825		2,870	
		☑ 直接	実施			ı												
	実施方法	□ 委託						(① ② ③									
(10)	(該当するもの						とな委託内		1									
	は全部チェック)	□ 補助	☆・台	扣金			交付先		2									
		ロ THIり .	」业 只	: <u>1</u> 31/			~ 11.10	-	3									
		□ その他					内容		<u>~ </u>									

事業番号 00450

)指標等	指標項目	∃		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
			対象件数		目標値	(単位:件)	26,800.00	29,000.00	29,159.00		
		指標 内容			実績値	(単位:件)	26,212.00	27,363.00			
	1					達成度(%)	97.8	94.4			
		目標値	前年度実績を参え	考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)	0.13	0.14			
1 ``		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
活動指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
	2					達成度(%)	0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
	1					達成度(%)	0.0	0.0			
2		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
\smile		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
成果指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
	2					達成度(%)	0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困 難標	1	活動 内容					目標				
難な場合	2	成果 内容		を利用者に通知するこ ≾を図っています。	ことにより、架空請	情求などの発見の端緒と	概ね達成 達成 状況	概ね達成できています。			
		4	・ 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小	· 🗆	廃止	終期の設定		
(4)総	合評		評価の説明	利用者が自分が利適正化として十分を		ービスを確認すること きえます。	こより、不正な請	水を確認できるため	か、介護給付費の		

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00450	事業名	介護給付費通知事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
тіш 	107]无	二川川流	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	从
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	
			・	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / 1 到 1 1 1 1	2	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
			②	5	<u></u>
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は光生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	点
	\ = - / /				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	F	-
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	_	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	16	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ************************************		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。 		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	 :	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	: :	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	: :	
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	:	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<u>:</u>	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 高齢福祉室	事務事業番号 00450		
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	記載)	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	安当性 15 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	り、適正な給付を図ることができ、架	績を通知することにより、利用者自身が給 ♥空請求や過剰請求などの不正を抑止する 識をもってもらうことで、不適切な給付の削	ることができます。また、給付額┃
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項〉		

事務事業名	住宅改修支援事業(介護保険特別会計)								
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの				

	于初于未UVW	N 文																
(1)	事業開始年度	平成12年度			改正	亚턴	艾22年度より	抽描去	·垤車	**(仁	音車業)。	、我行						
(2)	直近の改正	平成22年度			内容	7.19	スとと十尺より	地域又	.]及于	未(正	心乎木广	14911						
(3)	根拠法令等	吹田市住宅。	女修費:	支給要綱	。地域	支援	爭業実施要	綱(国)										
		□ 全部		一部(上乗せ	·、横	出し等あり)		V	なし	(国∙府制	川度もしくはえ	去令等で	市が実施す	る義務あ	9)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	:場合は	その説	明												
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健	康で安心	ンして着	いらせ	L せるまちづくり				節		2		 田節	30		
		<u> </u>	<u> </u>		区	分	□ 内部管	理		建設	 事業	☑ その他	<u>也</u>			<u>:</u>		
		対象 (誰を、何を)				囲等	等 居宅介護支援サービスを受けていない要介護者等で、住宅改修を希望する者。											
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	かか)		 宅改修費の支給申請に関し理由書の作成等必要な手続きの支援を行う介護支援専門員等を支援し、円滑 住宅改修を図ります。												
		結果 住宅改修を行う要介護者、要支援者及びその家族等が住宅改修費支給手続きを円滑に進めるこの はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた											≜めることが つ	できま				
(7)	事業概要	居宅介護支援の提供を受けて 事業概要 に際し、住宅改修について専門 する居宅介護支援事業者を運					ると認められん	る介護	支援	専門員	等が住宅	改修理由書	の作成を	行った場合	、介護支	改修費の支i :援専門員等	給申請 が所属	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款		5	項	2		目	1	大事業	3	中事業	6	小事業	1	
			項	目				平成 (201						7年度 6年度)		平成28年 (2016年		
				予算(千	円)		決算(千円)	予算(=	千円)	決算見込	(千円)	予算(千	円)				
		事業費(A)						128	3		108		124		124		130	
		人件費	費)	<u></u>	0.		0.10		0.10		0.10		0.10		0.10	
				総額(B)		円		856			815	901			901			
	-1- -114- -11 - 1			(A+B)	1	98						· · ·			1,025		·	
(9)	事業費と 財源の内訳	;	特定財				790								826		989	
		内		国				388			355	1	399		399		396	
		訳		<u>府</u> −の他				19 ² 208	-		177 369		199 228		199 228		197 396	
			市負担					194			22		199		199		25	
		$\overline{}$		 b方債				(-		0		0		0		0	
		内 訳		の他				194	l l		21		199		199		25	
		派 	<u> </u>	般財源				()		1		0		0		0	
		貝	 才源計((C+D)				984	Į.		923		<u> </u>		1,025		1,014	
		□ 直接	実施															
								1	居	宅介護:	支援事業	者等						
		☑ 委託	マはー	-部委託			委託先	2										
	実施方法		324101	HP X HO				3										
(10)						É	とな委託内容	_	保险	食住宅	改修費の	支給申請に	伴う理由	書				
	(該当するもの は全部チェック)		. ^ -	10 ^			 , , , ,,	1										
		□ 補助]金•負	担金			交付先	2										
								3										
		□ その	他				内容											

事業番号 00451

2 評	<u> </u>	1指標等	指標項目	1		項目	平成2 (2014	6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			対象件数		目標値	(単位:件)		64.00	62.00	65.00
		指標 内容			実績値	(単位:件)		20.00	29.00	
	1					達成度(%)		31.3	46.8	
		目標値	前年度実績を参	考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		46.15	35.34	
1 ~		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	実績値 (単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の3 が が お 指	1	活動 内容					目標			
難な場合	2	成果 内容	住宅改修を行う要を円滑に進めてい		ぶその家族等 が	住宅改修費支給手続き	達成状況	達成できて	います 。	
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮ノ	/ \	_ J	秦止 □ 5	終期の設定
(4)総·	(4)総合評価		評価の説明	高齢者の生活支援考えます。	事業として、「	 お取り組むべき事業	さ考えます	上 す。対象者	 	、必要性が高いと

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00451	事業名	住宅改修支援事業	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	·i	
(4)	妥当性		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
(1)	(20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i	
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	.i	
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
				i	
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
				<u>:</u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサ <i>ー</i> ビスの提供に努めていますか。	i	
	効率性 (20点)		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)		18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	.i	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u>-</u>	
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。	.i	
(4)	公平性		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4)	(20点)	16	③適正な受益者負担を求めていますか。	i	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	.i	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u>:</u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	<u>.i</u>	
,_,	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	i	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	·i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号 00	0451			
2 各視点	- 点からの評価の点数 ⁻	では表れない事項(必要に応		_		
2 車 黎 耳	事業の現状分析					
	の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 剖	として重点的な取組	Ø	その他
(2)各視点	いらの評価結果	持	·続可能性 公平性	妥当性 20 15 10 5 0 効率性		
(3)現状分	↑析	居宅介護支援サービスを受け 作成する必要があり、円滑な(ていない要介護認定主宅改修の実施のた	定者が住宅改修を必要とする こめには必要な事業です。	る場合、申記	青に必要な理由書を
1 ZMH	h(国・存の動向かど	当該重業に関係する特別	± 1 百)			
4 701	B(P)がU割PIGC、	当該事業に関係する特記	学・ 快 /			

事務事業名	居宅サービスに係る利用者負担額の助成事業											
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの							

•	1.101 1.010 10																
(1)	事業開始年度	平成12年度			改正		÷0.4/=0.0	ᅿᄜᄭᅩ	. > 44	# *	-	·ゞ → ひっぐ→	+1 ++>+ &	<i>t</i>			
(2)	直近の改正	平成24年度			内容	半月	戊24年8月 章	利用分刀	いら対	家 百	'対象サー	こ人及ひ文	払力法寺	を変更。			
(3)	根拠法令等	吹田市居宅も	ナービス	等に係	る利用	者負	担額の助原	戊に関す	る要組	跗							
		☑ 全部		一部	(上乗せ	、横	出し等あり)		なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	⁻ る義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健原	東で安	心して暮	事らせ	とるまちづく	IJ			節		2		細節	30)
		<u> </u>			区	分	□内部	 管理		建設	 と事業	☑ その	 他			:	
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	介護保険原	居宅サー	ービスネ	利用者	Ť	l					
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)	低列	行得有	者の利用者	負担を綴	暖和し	ます。							
		結果 (どのような効果	₹が得られ	1 るのか	(低列	行得者	者が居宅サ	ービスの)利用	を手持	空えることだ	がないように	します。				
(7)	事業概要	対象者要件 市民税世帯៛ ①世帯収入 <i>0</i>	対象者が居宅サービスを利用し、サービス事業者が行った保険請求に基づき利用者負担額の1/4を助成します。 対象者要件 万民税世帯非課税者で次の要件にすべて該当する方。 〕世帯収入の合計が120万円(2人以上の場合は2人目から48万円を加算した額)以下であること②他の世帯に属する者の扶養をうけていないこと。 いこと③世帯の預貯金等が350万円以下であること④居住用以外に活用できる不動産を所有していないこと														
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款		3	項	1		目	3	大事業	12	中事業	1	小事業	1
		·	項				.26年 4年度		:	-		7年度 年度)		平成28 (2016 ²			
							予算(-	千円)		決算	(千円)	予算(千円)	決算見記	以(千円)	予算(-	 千円)
			事業費	(A)				4		3,804		1,847		1,847		1,750	
		人件費	職員数			λ			0	0.40		0.40		0.40			0.50
		NII X	総客	<u> </u>	·円		320		3,179		3,341	3,341			4,085		
			事業費)	7,004			4		6,983		5,188		5,188		
(9)	事業費と 財源の内訳	· .	特定財源				0				0		0		0	<u> </u>	
		内		国 —— 府			0				0		0		0		
		訳		<u>M</u> の他					0		0		0		0		0
			<u>ーーし</u> 市負担					7,004			6,983		5,188		5,188		5,835
		\sim		方債					0		0		0		0		0
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	そ	の他					0		0)	0		0		0
			— 船	段財源				7,004	4		6,983		5,188		5,188	8 5,	
		貝	才源計(の	C+D)				7,004	4		6,983		5,188		5,188		5,835
		☑ 直接	実施			ı											
	実施方法	□ 委託又は一部委託					委託先	① ② ③)								
(10)	(該当するもの					E	主な委託内容		<u>, I</u>								
	は全部チェック)	┌── ──────────────────────────────────	1全. 色+	日全			杰什生	1									
		□ 補助	」亚"貝拉	브 <u> </u>			交付先	2	_								
		□ その)他				内容	内容									

事業番号 00452

			指標項目	=		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			申請者数		目標値	(単・	位:人)		150.00	150.00	150.00
		指標 内容			実績値	(単·	位:人)		147.00	44.00	
	1				達成度(%)				98.0	29.3	
		目標値	前年度実績を参	考に積算	単位当た	総事業費	(単位:千円)		47.50	117.91	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		47.50	117.91	
活動指標					目標値	目標値 (単位:)			0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	丝位 :)		0.00	0.00	
	2					達成度(%	5)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当たりコスト	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法				一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単	ú 位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単	ú位 :)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単	Ú位 :)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	丝位 :)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
の の が 困指	1	活動 内容									
難な場合	2	成果 内容		者負担を緩和することに ないようにしています。	より、低所得る	者が居宅サ-	ービスの利用	達成 状況	達成できて	います 。	
			う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□縮小	•	J	秦止 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	介護保険サービスの となっています。平成 り入れられましたが、 サービス利用手控え	戊27年度から 、低所得者に	う現役並み とっては相	なり、一部応能負 っています。利用者	担の考え方が取 者負担の重さが			

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00452	事業名	居宅サービスに係る利用者負担額の助成事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点							
1111111		и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。							
			・	5	 点					
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。							
	— .i.e lai		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点					
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。							
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点					
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。							
			も. 市民ニーズは変わらずある。(3点)							
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	点					
			ウ/ロ 35) 日	3	 点					
			②事業の目的と受益者が一致していますか。							
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点					
(2)	有効性 (20点)	16	3事業は目標どおりに進捗していますか。		<i></i>					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	.						
			a. 日標を工画るえば日標とおりの定形状況である。(3点) ④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		点					
					<u></u>					
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点 					
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光はリコストは第五でする (5-5)	E						
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点					
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。							
(3)	効率性 (20点)	18	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点					
	(== 71117		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 #の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている(5.5)	F						
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点					
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 							
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)		点					
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ・		<u> </u>					
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点					
			②サービスの水準は適正ですか。							
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点					
	(20 _m)		③適正な受益者負担を求めていますか。							
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点					
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 							
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点 					
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 		_					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点					
	14.64		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。							
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点					
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。							
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点					
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。							
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点					
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))							

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00452								
2 各視点	いらの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)								
3 事務員	事業の現状分析										
(1)本事業	の位置付け	□ としての取組		部として重点的な取組	☑ その他						
(2)各視点	いらの評価結果	平価結果									
(3)現状分	↑析	平成24年度に事業見直しを1 して継続することが可能にな	行った結果、低所行 りました。	导者が居宅サービスの利用を ヨ	手控えることがないような事業と						
4 その他	也(国・府の動向など、:	当該事業に関係する特記	[事項]								

事務事業名	訪問介護利用者に対する利用者負担額軽減措置事業										
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの						

ı	事務事業の機	X 安																			
(1)	事業開始年度	平成12年度		ē	改正	障が	い者施策の	の継約	続と随	害者	新総合	支援法に	こよるホ-	-ム/	ヽルプサ	ービスの)利/	ー 用にお	いて	て、境界層該	き当とし
(2)	直近の改正	平成18年度		F	内容	て定	率負担が	全額的	免除と	<u>-</u> なっ	ている	る人に対	する制度	の新	武 。						
(3)	根拠法令等	吹田市訪問介	·護等利	用者負	担額の	助成	に関する	要綱は	まか												
		□ 全部		一部(_	上乗せ、	、横	出し等あり)		V	なし	(国•府制	制度もしく	は法	令等で	市が実施	直す	る義務	あり	J)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした	場合はそ	その説明	明															
(5)	総合計画の体系	章 3	健原	東で安心	して暮	らせ	るまちづく	IJ				節			2		糸	田節		30	
		į.			区分	分	□ 内部	管理			建設	事業	☑ そ	の他	,				<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範囲		障害者総合 免除となっ			こよる	ホー	ムヘルプ	サービス	.の利	用におい	ハて、境	—— 界層	i該当と	<u>-</u> اك	て定率負担	が全額
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいの	か)	障が	い者	が	利用村	各差を	·緩和	しま	す。									
		結果 (どのような効果	が得られ	いるのか)	低所	低所得者のホームヘルプサービスの継続的な利用を促します。															
(7)	事業概要	障害者総合支援法によるホームヘルプサービスの利用において境界層該当として定率負担が全額免除となっている者で65歳到達以前のおおむね1年間に障がい者施策によるホームヘルプサービスを利用して、65歳に到達したことで介護保険の対象者となった者、特定疾病によって生じた身体上又は精神上の障がいが原因で、要介護又は要支援の状態となった40歳から64歳までの者の10%の利用者負担額を全額免除します。														対に					
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	}	項	1		E	1	3	大事	ŧ	12	中事業	Jiil.	2		小事業	1
			項		平成26年 (2014年度										7年度 年度)				平成28年 (2016年		
						予算(千円)				ž	決算(千円)		予算	予算(千円)		決算見込(千円))	予算(千円)	
			事業費	隻(A)			54					()		19			1	19		19
				職員数					0.05		0.00)				0.05				0.20
		40.	総額(B)			円		415)		418		418				1,634
	事業費と			(A+B)					469 38		0						43	-		1,653	
(9)	財源の内訳	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	寺定財派 	_{R(U)} 国 国					0	_								'	0		13 0
		内 		<u>=</u> 府					38		0							1	13		13
		訳		··· の他					0						0				0		0
			市負担	(D)					431			(424			42	24		1,640
			地	方債					0			(D		0				0		0
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	そ(の他					0			()		0				0		0
		<u> </u>	一般	財源					431			(ס		424			42	24		1,640
			·源計(C	C+D)					469			(437			43	37		1,653
		□ 直接	実施					I			<u>. </u>		7A - 11 x	<u> </u>							
							エナル			大阪	府国	民健康保	:険団体:	里 合含	<u> </u>						
		☑ 委託	又は一	部委託			委託先	-	3												
	実施方法				-		 な委託内?	灾	<u>。</u> 審査	支払.	<u></u> 主						—				
(10)	(該当するもの				+		▗▗ ▗ ▗▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗			人 加	ゴ (1力										
	は全部チェック)	□補助	余•負扣	金田			交付先	-	2												
		_ 1111/23	_				~~1370	-	3												
		□ その	□ その他																		

2 評	<u>ш</u> • у	指標等	指標項目	■		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			助成額		目標値	(単位:	円)		51,000.00	17,000.0	17,000.00
		指標 内容				(単位:	円)		0.00	0.0	
	1					達成度(%)			0.0	0.	
_		目標値	前年度実績を参	考に積算	単位当た	総事業費(単	位:千円)		0.00	0.0	
1 ~		の積算 方法				一般財源(単	位:千円)		0.00	0.0	
活動指標					目標値	(単位	I:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位	(単位:)		0.00	0.0	
	2					達成度(%)			0.0	0.	
		目標値			単位当た	総事業費(単	位:千円)		0.00	0.0	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単	位:千円)		0.00	0.0	
					目標値	(単位	<u>(</u> :)		0.00	0.0	0.00
		指標 内容			実績値	(単位	<u>(</u> :)		0.00	0.0	
	1					達成度(%)			0.0	0.	
		目標値			単位当た	総事業費(単	位:千円)		0.00	0.0	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単	位:千円)		0.00	0.0	
成果指標					目標値	(単位	<u>.</u> :)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位	<u>:</u> :)		0.00	0.0	
	2					達成度(%)			0.0	0.	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単	位:千円)		0.00	0.0	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.0	
(3) が困難標	1	活動 内容						目標			
難標 な示 合	2	成果 内容	低所得者のホー.	ムヘルプサービスの継	続的な利用を促	Eしています 。		達成 状況	26年度は該当者がいないため実績がありまん。		
		4	今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続		□縮小				終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明		歳到達以前の で介護保険の は要支援の状)おおむね1st)対象者とな [.] 態となった4	∓間に障が った者、特 0歳から6	い者施領 定疾病に 4歳まで	策によるホ こよって生 の者の10	ームヘルプサー じた身体上又は	-ビスを利用して、6 精神上の障がいが

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00453	事業名	訪問介護利用者に対する利用者負担額軽減措置事業	事業区分	その他

	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	i	
(4)	妥当性	4.0	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
(1)	(20点)	10	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i	
			c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	i	
(0)	有効性	4.4	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	•	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	i	
(0)	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	, -	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(E)	持続可	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00453						
2 各視点	なからの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)						
3 事務引	事業の現状分析								
(1)本事業	の位置付け	□ 主要な政策課題		部として重点的な取組	☑ その他				
(2)各視点	からの評価結果	接続可能性 5 0 有効性 公平性							
(3)現状分	介護保険制度が開始される前から障がい者施策を利用されていた人の軽減措置であり、現在対象者はいません。今後は転入以外で発生することはない事業です。								
4 その他	也(国・府の動向など、:	当該事業に関係する特記	事項)						

事務事業名	社会福祉法人等による利用料負担の軽減措置に伴う助成事業						
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの		

	于初于未U/M	N 文															
(1)	事業開始年度	平成12年度			改正	軽调	域対象者の拡	·									
(2)	直近の改正	平成23年度		I	内容	+エ#5	(人) 外省 (人)	1)L									
(3)	根拠法令等	社会福祉法。	人等によ	る利用す	者負担!	軽減	事業助成金	交付要約	到								
		□ 全部 □ 一部			3(上乗せ、横出し等あり)				☑ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたは	場合はる	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章	3 健原	で安心	して暮	らせ	- -るまちづくり				節		2		細節	30	
					区	分	□内部管	理		 建設事	業	☑ その'	也				
		対象 (誰を、何を)			範囲	里等	社会福祉法	·人									
(3) (4) 市域 (5) 総 (6) (7) (8) (9)	目 的	目標(どういう状態に	目標 (どういう状態にしたいのか) 利用														
		結果 (どのような効果が得られるのか) 助成することにより、社会福祉法人の負担を軽減し、利用者の負担軽減の促進を図ります。															
(7)	事業概要	に、超えた額	収入や預貯金等の要件を満たす対象者に、社会福祉法人が利用者負担額の25%を軽減し、軽減した割合が年間収入の1%を超えた場合に、超えた額の50%を助成する。 特別養護老人ホームの場合は10%を超えれば全額を助成する。)1%を超えた場合					
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	3	項	1		3	3	大事業	12	中事業	3	小事業 1	
(0)			項	∄				平成2 (2014					平成2 (2015	7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)	
							予算(千	円)	;	決算(F	-円)	予算(千円)	決算見過	込(千円)	予算(千円)	
			事業費					172			40		172		172	+	
		人件費 —		員数	3) 千円		0.05				0.10		0.05		0.05		
		6/1		(B)			415			795						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	事業費と		事業費(特定財源				587 128		835 30						, ·		
(9)	財源の内訳			· (O) 国			0			0		0					
		内 訳		<u></u> 苻				128	30						_		
			その	の他				0	0		0		0				
			市負担	(D)				459			805	462		462		1,678	
		<u></u> 内		方債 				0			0		0		0		
		訳		の他				0			0		0			0 0	
			———— け源計(C	財源 				459 587			805 835				462 590	1,678 1,806	
		☑ 直接		<i>)</i> D)				367			000		590		390	1,800	
								1									
		□ 委部	E又は一i	如禾红			委託先	2									
	 実施方法	女前 		마女다	_			3									
(10)						主	な委託内容										
	(該当するもの は全部チェック)	_ 1±-		1.4			* / 4	1									
		▮ □ 補助 ┃ ┃	⋔金・ 負担	金金			交付先	2									
		□ その他						3									
								1									

事業番号 00454

			指標項目	=		項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			助成額		目標値	(単位:円)	1	70,000.00	170,000.00	170,000.00	
		指標 内容			実績値	(単位:円)		41,645.00	52,963.00		
	1					達成度(%)		24.5	31.2		
		目標値	前年度実績を参	考に積算	単位当た	総事業費(単位:千円)		0.01	0.01		
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.01	0.01		
活動指標					目標値	(単位∶)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
2 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3 が _い	1	活動 内容					目標				
困難な場合	2	成果 内容	利用料の軽減を図っています。	行った法人を助成するこ	とにより、利用	者の負担軽減の促進を	達成状況				
	•	4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮り	\	口月	<u>≨</u> □ :	終期の設定	
(4)総	(4)総合評価		評価の説明			社会福祉法人による利していくためには軽減				らであります。	

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	00454	事業名	社会福祉法人による利用料負担の軽減措置に伴う助成事業	事業区分	その他

(1)	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点 ①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
(1)			①役割分担の観点から見て、中の関与のあり方は週切ですか。		1
(1)		,	上 1888 ト よ タンナ ポーナ ロー・・ テート ロー・・ マート フート ト		
(1)			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
(1)			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	妥当性 (20点)	20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性	14	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
	(20点)		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。 		
(3)	効率性	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(0)	(20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(3)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00454	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

3 事份事業の現仏が例			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 15 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	部補助であるため、利用者負担額の法人が実施していない。また、介護係	利用者負担額の軽減に対する補助である 軽減を実施すると必ず社会福祉法人の 保険は株式会社等の民間企業の参入も認 利用者負担額に差が生じるという問題があ	咸収となり、すべての社会福祉 忍めている中、社会福祉法人の

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

社会福祉法人の設立趣旨および社会的使命に鑑み、事業拡充の方向で議論が行われています。

事業番号 01110

事務事業名		第1号被保険者還付加算金事業(介護保険特別会計)									
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの						

	事務事業の概	发安															
(1)	事業開始年度	平成12年度		改正	介 幫	護保険料の	沙宁										
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	川哉	医体膜科切	LIX JE									
(3)	根拠法令等	介護保険法、	吹田市	介護保	険条例												
		□ 全部		一部((上乗せ、横出し等あり) 図 な												
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした	場合は一	その説は												
(5)	総合計画の体系	章 3	健	康で安心	いして暮	ふらせ	」 ±るまちづく	(IJ			節		2	糸	田節	30	
		<u> </u>			区	分	□内部	 管理	[□ 建讀	 设事業	- ☑ その他	<u></u> <u>ե</u>				
		対象 (誰を、何を)			範囲	田等	吹田市の	第1号	被保障)	5歳以上の	人)					
(6)	目 的	 目標 (どういう状態に	1 +-1\1)+v)	税更	正た	 などにより多	発生した	と介護	養保険 料	·過誤納金	を適正に返還	還します。				
		(と)がり状態に 	.0/2010.	<i>)</i> (1,000)	A =#												
		(どのような効果	が得られ	れるのか)	介護	集保 修	受制度の適	<u></u> 止な美	€施 ———								
(7)		税更正などに	より発:	生した介	護保険	食料 道	還付金のう	ち、その	の還作	寸金に還	d付加算金·	を加算して過 -	設納金	を適正に返り	還します。		
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	4	1	項	1		目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
			項	目					成26: 014年					7年度 年度)		平成28: (2016年	
							予算(千円)		決算	(千円)	予算(न	千円)	決算見込	(千円)	予算(千円)	
			事業費	₹(A)				1	133	83			100		100		100
		│ │ 人件費 ├	員数	<i>\</i>		0.05							0.05		0.05		
				額(B)		円	428								451		
	古光弗し			(A+B)		561					491	+		551			
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財	源(C) 国 国			0				407					+	
		<u> </u>		<u>当</u> 府					0		0						0
		訳		<u></u> の他					0		407		451		451		442
		<u> </u>	市負担	(D)				5	561		83	}			100		100
		<u> </u>	地	方債					0		0	0			0		0
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	そ	の他				5	561		83		100		100		100
		<u> </u>		设財源					0		0		0		0		0
				C+D)				5	561		490)	551		551		542
		☑ 直接	美池		1				1								
							委託先		2								
		□ 委託	又は一	·部委託			24,500		3								
(10)	実施方法				•	É	上な委託内	容									
(10)	(該当するものは全部チェック)							(1								
	16 エ IP!エノノ/ 	口 補助	金•負	坦金			交付先	-	2								
								(3								
		□ その	他				内容										

事業番号 01110

			指標項目			項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			償還金		目標値	(単位:円)	1	33,000.00	100,000.00	100,000.00
		指標 内容			実績値	(単位:円)	1	02,800.00	63,900.00	
	1					達成度(%)		77.3	63.9	
~		目標値	前年度実績額を参考に	責算	単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.01	
1)		の積算 方法			りコスト 一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	の積算 方法 - 方法					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
$\widehat{}$		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指 標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(の3 が) 困ち	1	活動 内容					目標			
困難な場合	2	成果 内容	介護保険料還付金に還 険制度を実施しています		正に返還す	することで、適正な介護保	達成状況	達成できて	います。	
	1	4		拡充	☑ 継続	□縮り	`		廃止 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		介護・評価の説明	保険法に基づく事	業であり、	行政が直営で実施す	べき事業	である。		

	所属名	高齢福祉室			
4	務事業番号	01110	第1号被保険者還付加算金事業(介護保険料特別会計)	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
		рт ішілік	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 投引力担の観点がら足し、中の関子のめが力は過りとすが。 	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			○社会状況の変化で時間の性過に中い、事業の失態思報が得化でいると70万。 	5	 点
			a. 失過急報はする頃じている。(0点) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u> </u>	
				5	 点
			1 音転的な / プで中氏	<u> </u>	
			①// 到151宗 * 行刃151宗 (1 0 (1 1 0) と 単 1 1 3 1 1 1 宗	5	 点
			a. 冶動指標で有効指標には、他们との比較も可能な、それぞれがの定量的な指標設定をしている。(3点) ②事業の目的と受益者が一致していますか。	j U	
				5	 点
(2)	有効性 (20点)	20	a. 事業の自的と受益有は光生に一致している。(5点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u>.</u>	
	\ = - \\\\\\\				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	_	<u> </u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20),,,,		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。 	·	
(4)	公平性 (20点)	20	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20無)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	<u></u>	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	······································	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	······	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 		
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, ,	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	: :	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	· <u>·</u> ·······	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	100	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01110	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	いない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 15 10 5 4 公平性	
(3)現状分析		:め、第1号被保険者(65歳以上の方)に では、①過誤納金が発生する。②還付期 でする必要があります。	

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度以降に賦課決定された保険料については、当該年度における最初の保険料の納期の翌日から起算して、二年を経過した日以降に ついては更正することができない旨が規定された。

事務事業名			高齢者いこいの間改修事業		
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

	事務事業の機	双安																
(1)	事業開始年度	平成28年度			改正	<i>+</i> >1												
(2)	直近の改正	なし			内容	なし	•											
(3)	根拠法令等	吹田市高齢者	がこし	いの間設	:置運営	要項	Į											
		☑ 全部	[□一部	(上乗せ	上乗せ、横出し等あり)					□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	た場合は	その説	· 説明												
(5)	総合計画の体系	章	3 俊	建康で安	心して暮	事らせ	L tるまちづく	くり				節		2		細節	1()
		<u> </u>			×		□内剖	ß管理			建設	——— と事業	□ その	 他				
		対象 (誰を、何を)			範	囲等	高齢者い	こいの	の間									
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたい	のか)			│ の教養の向 □事を実施			とびレイ	クリ	エーション	等のために	こ各地区に		ハる高齢者	いこいの間]の必要
		結果 (どのような効!	果が得ら	られるのか	高幽	高齢者いこいの間を安心・安全、快適に利用できます。												
(7)	事業概要 H27事業別 予算コード	35か所の高 会計	齢者し <u>1</u>	いこいの間		いて、	年次的·計	十画的	に改作	多を行 <u></u> 目	うこ	ことにより、	地区高齢和	者の活動物	点の環境 中事業	整備を図り	ります。 小事業	
	」〉 昇 ┛ ̄┣				<u> </u>			<u> </u>	 平成2	 6年度		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u> 7年度	<u> </u>	平成28	 3年度
					((2014	年度)				(2015	年度)		(2016	年度)			
				走 / 4 \		予算(千				— ——	算	(千円)		予算(千円)		央算見込(千円) 0		千円)
		事業費(A) 職員数				<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>			0.00		0.00		+	0.00		0.00		23,350
		人件費	^{映貝奴} ────── ※額(B)		<u>^</u> - 円		0.00			0.00				0.00		1,634		
		総		选领(D) 豊(A+B		1 1	1				0					0		24,984
(9)	事業費と			₹ (/ () 才源 (C)	/				0)	0		0		0
(9)	財源の内訳	~		玉					0	0				0		0		0
		内 訳		府					0			C)	0		0		0
		<u> </u>		その他					0)		C	0			0		0
		<u> </u>		担(D)					0							0		23,350
		内		地方債 その他					0			0		0		0		0
		訳		-般財源					0					0		0		23,350
		<u> </u>		(C+D)					0			C		0		0		23,350
		□直接																
									1	未定								
		☑ 委割	ミマは-	一部委託	<u>.</u>		委託先		2									
	実施方法			FF 2 11	,				3									
(10)	(該当するもの					Ē	Eな委託内	容	l 1	、屋上	防	水、外壁改	修工事					
	は全部チェック)	□補助	h全 - 셛	4日仝			赤什生		1									
		□ 開助	」並 "	된 1년 교교			交付先		3									
		□ その			内容													

<u> </u>	<u> </u>	<u>/]日1示</u>	指標項目	■		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			工事請負費等		目標値	(1)	単位:円)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	<u>(i</u>	単位:円)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
\sim		目標値			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
1		の積算 方法	1		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	· (%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	貴(単位:千円)		0.00	0.00	
	の積算 方法 					一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	E(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
2)成果指標		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た				0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
のが困難な場合(3)指標で示す	2	活内 成内 果容	公民館等の複合	施設の改修計画とも連 者が安全な場所で安心				目標 達成 状況		度に、片山、東佐井 5、北山田地区高齢 行います。	
			<u>」</u> 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		□縮小	`	□廃止□		終期の設定
(4)総合評価		価	評価の説明	平成26年度(20 います(事務事業番 老朽化した施設を 続とします。	等号00393)。						

所属名	高齢福祉室			
事務事業番号	01296	事業名 高齢者いこいの間改修事業	事業区分	建設事業

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
()	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
	(20 ////		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	
			・	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / □ 到 1 日 1 示	Q	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
				5	点
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は光生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	
	\ = - \\\\\\				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	F	-
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************		<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ************************************		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	 :	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	: :	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	: :	
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	:	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<u> </u>	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	—————————————————————————————————————	01296
		予切予不由 5	01200

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

毎年1館ずつ全面改修工事を実施していますが、各施設の老朽化が進んでいます。 毎年、一般建築物の施設点検(簡易点検)を実施する中で、各地区高齢者いこいの間の建築物の不具合は、資産経営室に報告しています。 改修工事は、安心・安全、快適な施設となるよう、適切な時期に実施する必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 15 10 5 0 公平性 对率性	
(3)現状分析	安全で安心して利用できる施設とな 新田、山五、北山田地区高齢者いこし	るよう、平成28年度(2016年度)に、片 いの間の改修工事を行います。	一山、東佐井寺、佐井寺、千里

4	ト その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業名	山手地区高齢者いこいの間新築事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

于初于未UN																
事業開始年度	平成28年度		改正	+~1												
直近の改正	なし		内容	なし												
根拠法令等	吹田市高齢者	針いこいの	間設置運営													
	☑ 全部		一部(上乗も	せ、横出し等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法令等で市が!						市が実施す	 実施する義務あり)					
市単独事業区分		ックした場	合はその説	.明												
総合計画の体系	章 3	健康で	で安心して暮	事らせ	さまちづく	[1]			餌	<u> </u>		2		細節	10	
	:		×	分	□ 内部	管理		☑ 頦	建設事:	業	□ その	也				
	対象 (誰を、何を)		範[囲等												
目 的	目標 (どういう状態に	こしたいのか		 高齢者の教養の向上、親睦及びレクリエーション等のために設置している高齢者いこいの間について、新築建 替工事を実施します。												
	結果 (どのような効果	果が得られる		老朽化施設を建て替えることにより、安心・安全、快適に利用できます。)												
H27事業別		への併設に		て替 	I i	とによ	り、±		齢者の 	活動拠	T E	整備を図り			小事業	
予算コード	五川		枣∕		块	_					八爭木					
		項目														
				予算				決	算(千	円)	予算(千円)	決算見込	以(千円)	予算(千円])
		\)	<u> </u>			0			0		0		0		0	
	人件費	大件費 職員数			0.00		0.00		+			0.00		0.00		
				円	0					0					-	
市業弗し																0
事来質と 財源の内訳	;		(C)												0	
	<u></u>							0		0			0		0	
	訳						0								0	
		市負担(C)				0						0			
	$\widehat{}$	地方 [·]	 債				0			0	0			0		0
	内	その	他				0			0	0			0 (0
		一般則	才源				0			0	0			0		0
	具	才源計(C⊣	FD)				0			0		0		0		0
	□ 直接	実施														
					エナル	-		未定 ———								
	☑ 委託又は一部委託				安託先	-										
実施方法				<u> </u>	かる手内は			 丁車								
(該当するもの					ᅩᆞᆼᆽᇚᆘᆘ		-	→ Ŧ								
は全部チェック)	□ 補助]金•負扣系	<u> </u>		交付先	_										
			_			-	-									
	□ その他				内容		~									
	直近機目事別び令等日事まび令等日事まおいます大ままおいますよまよおいますよよよおいますよよよおいますよよよおいますよよよおいますよよよおいますよよよおいますよよよおいますよよよおいますよよよおいますよよよおいますよよよよおいます <t< td=""><td>直近の改正 次に 根拠法令等 図 全部 市単独事業区分 一部にチェース 合計画の体系 対象を、何を) 目がう果ような効果 日だう果ような効果 おおま業概要 人件費 人件費 (内訳) 大けまりままである。 日本 大けまりままである。 日本 大けまりままである。 日本 大けまりままである。 日本 大けまりままである。 日本 大けまりままである。 日本 (はまりままままないのではまります。 日本 (はまりままままないのではまります。 日本 (はまりまままないのではまります。 日本 (はまりまままないのではまります。 日本 (はまりまままないのではまります。 日本 (はまりままないのではまります。 日本 (はまりままないのではまります。 日本 (はまりままないのではまります。 日本 (はまりますまないのではまります。 日本 (はまりますまないのではまりますまないのではまります。 日本 (はまりますまないのではまりますまないのではまりますまないのではますまないのではまりままないのではまれますまないのではますまないのではますまないのではますまないのではますまないのではますまないのではまれますまないのではまれますまないのではますまないのではますまないのではますまないのではますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれまするではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれまするではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではま</td><td>直近の改正 なし 根拠法令等 吹田市高齢者いこいの 一部にチェックした場 を合計画の体系 □</td><td>直近の改正 なし</td><td>直近の改正 なし 根拠法令等 吹田市高齢者いこいの間設置運営要項</td><td>直近の改正 なし 根拠法令等 吹田市高齢者いこいの間設置運営要項 ② 全部 □ 一部(上乗せ、横出し等あり 一部(ニチェックした場合はその説明 総合計画の体系 章 3 健康で安心して暮らせるまちづく が囲等 山手地区 目標 (どういう状態にしたいのか)</td><td>直近の改正 なし</td><td>直近の改正 なし 内容 なし 内容 なし 内容 なし 内容 なし 内容 吹田市高齢者いこいの間設置運営要項 □ 一部(上乗せ、横出し等あり) □ 一部にチェックした場合はその説明</td><td>世 近 の 改 正 なし 内容 なし</td><td>世 近 の 改 正 なし 内容 は 大き 大き</td><td> 直近の改正 </td><td> 選集の 改正 女に 大中華 本来近(A) 日 大中華 大中華</td><td>田近の改正 なし 内容 なし 内容 なし 内容 なし 内容 なし 内容 なし 内部 ない (国・府制度もしくは法令等で) 市単独事業区分</td><td> 選択</td><td> 技術のです 次のです 次のです</td><td> 接触性</td></t<>	直近の改正 次に 根拠法令等 図 全部 市単独事業区分 一部にチェース 合計画の体系 対象を、何を) 目がう果ような効果 日だう果ような効果 おおま業概要 人件費 人件費 (内訳) 大けまりままである。 日本 大けまりままである。 日本 大けまりままである。 日本 大けまりままである。 日本 大けまりままである。 日本 大けまりままである。 日本 (はまりままままないのではまります。 日本 (はまりままままないのではまります。 日本 (はまりまままないのではまります。 日本 (はまりまままないのではまります。 日本 (はまりまままないのではまります。 日本 (はまりままないのではまります。 日本 (はまりままないのではまります。 日本 (はまりままないのではまります。 日本 (はまりますまないのではまります。 日本 (はまりますまないのではまりますまないのではまります。 日本 (はまりますまないのではまりますまないのではまりますまないのではますまないのではまりままないのではまれますまないのではますまないのではますまないのではますまないのではますまないのではますまないのではまれますまないのではまれますまないのではますまないのではますまないのではますまないのではますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれまするではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれまするではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではまれますまないのではま	直近の改正 なし 根拠法令等 吹田市高齢者いこいの 一部にチェックした場 を合計画の体系 □	直近の改正 なし	直近の改正 なし 根拠法令等 吹田市高齢者いこいの間設置運営要項	直近の改正 なし 根拠法令等 吹田市高齢者いこいの間設置運営要項 ② 全部 □ 一部(上乗せ、横出し等あり 一部(ニチェックした場合はその説明 総合計画の体系 章 3 健康で安心して暮らせるまちづく が囲等 山手地区 目標 (どういう状態にしたいのか)	直近の改正 なし	直近の改正 なし 内容 なし 内容 なし 内容 なし 内容 なし 内容 吹田市高齢者いこいの間設置運営要項 □ 一部(上乗せ、横出し等あり) □ 一部にチェックした場合はその説明	世 近 の 改 正 なし 内容 なし	世 近 の 改 正 なし 内容 は 大き	直近の改正	選集の 改正 女に 大中華 本来近(A) 日 大中華 大中華	田近の改正 なし 内容 なし 内容 なし 内容 なし 内容 なし 内容 なし 内部 ない (国・府制度もしくは法令等で) 市単独事業区分	選択	技術のです 次のです 次のです	接触性

指標項目			項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)			
			工事請負費等		目標値	(道)	単位:円)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	道)	単位:円)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)	0.00		0.00	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標	標計計				実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	覚(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法	-		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法	-		りコスト	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	♂(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
の が 困 難 標	1	活動内容						目標			
難な場合	2	成果内容		ることで、施設間の連携 促進につながります。	及び地域活動の	乃活性化 が	が期待でき、地	達成 状況	平成29年 予定してし		はする新築建替工事を
			ー 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□縮小	`	□廃止□		終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	平成28年度(2016平成29年度(2017年度)							执行)します。

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	01297	事業名	山手地区高齢者いこいの間新築事業	事業区分	建設事業

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
()	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
	(20 ////		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 スル思報はする頃とである。(3M/) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	
			・	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / □ 到 1 日 1 示	Q	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
				5	点
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は光生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	
	\ = - \\\\\\				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	_	-
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************		<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	_	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ************************************		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	 !	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	: :	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	: :	
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	:	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<u> </u>	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01297
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

山手地区高齢者いこいの間は、山手地区の北部に位置しており、地理的要因から利用者に偏りがあるため、地区高齢者の交流・コミュニケー ションが図りにくいという問題がありました。公民館と高齢者いこいの間を合築することにより、施設としての利便性が格段に増加するほか、両施 設が連携することで地域活動の活性化を図ることができます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 15 10 5 0 有効性 公平性 刻率性	
(3)現状分析	28年度(2016年度)に設計委託(併	≤で、施設利用を促進し、高齢者の地域活 対設している公民館所管のまなびの支援 ・併設館として新築建替工事を行う予定で	課が予算措置)を行い、平成2

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特別	記事項)	

事務事業名	介護保険情報提供事業(介護保険特別会計)					
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの	

	于初于未U/W	<u>机女</u>																
(1) 事業開始年度		平成12年度			改正	Λ₩												
(2)	直近の改正	1			内容 内容 													
(3)	根拠法令等	介護保険法																
		口 全部		□ 一部	(上乗せ	上、横	出し等あり))		☑ <i>t</i>	なし	(国∙府制	削度もしくは	法令等で	市が実施す	る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした場合はその				,明												
(5)	総合計画の体系	章(3	康で安	心して暮	事らせ	とるまちづくし	IJ				節		2		細節	30	
		·			X	分	□内部領	管理		☐ <u>3</u>	建設	事業	☑ その	他			:	
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	全市民											
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたい	のか)	介證	隻保险	<u> </u> 食の各種サ-	ービス	くに関	する。	具体	な 的な情報	 Bを提供し、	適切なサ-	ービスの選	択につなり		
		結果 (どのような効!	果が得ら	れるのか	、) 介證	雙保隊	乗制度を周9	知し、 ⁻	サー	ビス和	川用・	の促進を	適切に行う	ことができ	 ます。			
(7)	H27事業別	3年毎の介護 会計	養保険 制 12	別度の改		るサ [.]	ービス内容(の情幸	報パ: 	ンフレ・		を作成し、	市民への配力を	配布により	情報を提供 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	キ します。	小事業	
(0)	予算コード	五司	12	亦入			均						八尹未					
		項目				平成26 (2014 ³			6年度 年度)					7年度 (年度)		平成28 ^年 (2016年		
							予算(千円)		決算(千円)			(千円)	決算見過		予算(千	円)		
		争		業費(A) 					0			(4,067		4,067		0
		人件費 -	大件費 職員数 ※額 (D)			人 	0.00		0.00		+			0.05 423				
		総額(B) 総事業費(A+B)				-円	0											
(9)	事業費と		7		0					(4,510		0		0		
(9)	財源の内訳	特定財源(C) 国 国					0					(0		0		0
		内 訳		府		0			0	0)	0		0		0	
		<u> </u>	7	その他					0			4,067			0		0	
				担(D)			0							4,067		0		
		内		也方債					0				0 0		0		0	
		訳		の他					0			(4,067 0		4,067		0
									0					4,067		4,067		0
				(0 0)					<u> </u>				<u> </u>	1,007		1,007		
			4,7						1	出版社	±•	印刷業者等	 等					
		□ 直接実施 □ 委託又は一部委託	委託先	(2													
	 実施方法	□ 女前 □	人人	ᄜᅔᆡ	•			(3									
(10)						É	Eな委託内容		Т	フレット	つ	印刷						
	(該当するもの は全部チェック)		L	10 4				_	1									
		□補助	リ金・負	担金			交付先	-	2									
								- '	3									
		□ その他				内容												

2 評	<u> Ш О Л</u>	指標等	ɪ 指標項[項目		平成2 (2014		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			作成部数		目標値	(単位:部)			0.00	20,000.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:部)			0.00	20,000.00		
	1	.,,,				達成度(%)			0.0	100.0		
		目標値	窓口等で配布する	る数	単位当た	総事業費(単位: -	千円)		0.00	0.20		
1 ~		の積算 方法			りコスト		千円)		0.00	0.00		
活動指標					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00	
相 標		指標 内容			実績値	(単位:)			0.00	0.00		
	2					達成度(%)			0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費(単位:-	千円)		0.00	0.00		
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位: -	千円)		0.00	0.00		
					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)			0.00	0.00		
	1					達成度(%)			0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費(単位:-	千円)		0.00	0.00		
2		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:=	千円)		0.00	0.00		
成果指標					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	実績値 (単位:)		0.00		0.00		
	2					達成度(%)			0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円		0.00		0.00		
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:=	千円)	0.00		0.00		
の の が 困指	1	活動内容						目標				
難な場合	2	成果内容		R険の各種サービスに関 D利用につながっていま		情報を提供すること	で、	達成 状況	平成25、26年度は実施がありません。			
			今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		縮小				終期の設定	
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	介護保険制度や制 で、市民への制度原 平成27年度の法改 所得者の利用者負 に周知が重要である	周知を図り、介 ₹正で、介護予 担割合が1割	・護保険制度に対 が給付の一部か から2割に上がる	けする理 [「] 新しい	解を得ん ・総合事	ることがて 業(地域3	ゔきます。 支援事業) <mark>へ</mark> 移行	テしたり、一定以上	

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	01298	事業名	介護保険情報提供事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
(1)			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	妥当性	00	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性	4.0	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		16	b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
	効率性 (20点)				
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	20			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18			
	21177		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	 点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01298						
2 各視点	2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)								

3 事務事業の現状分析

3 争扬争未以犹从为彻 ————————————————————————————————————			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 15 10 5 0 公平性 効率性	
(3)現状分析	公費で運営されていることから市民に 前回改正までは前年度予算で実施し び配布が厳しいスケジュールとなって 正年度の当初に実施することとしまし	過していますが、3年ごとに制度改正がある制度周知を行い理解を求める必要があっていましたが、掲載内容が年度末に確定いました。今回の27年度改正から、よりでた。 「いちのとのででは、市の広報誌などである。」	ると考えています。 ミするため、パンフレット作成及 確実な事業実施とするため改

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の法改正は、介護予防給付の一部が新しい総合事業(地域支援事業)へ移行したり、一定以上所得者の利用者負担割合が1割から2割に上がるなど、市民の方への影響が大きいことから、必要な周知に努めました。

事務事業名	包括的支援事業(介護保険特別会計)								
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高﨑 充代				

	于加于木VM	N 文													
(1)	事業開始年度	平成18年度		改 内		:L									
(2)	直近の改正	なし	成18年度 し 護保険法 吹田市 □ 一			.0									
(3)	根拠法令等	介護保険法	吹田市が	个護保険	法施行	条例									
		□ 全部		一部(上	乗せ、 ⁷	横出し等あり)		√ t	よし (国・府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	「る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分		ックした均	易合はその	の説明										
(5)	総合計画の体系	章 3	健康	で安心し	て暮ら	せるまちづくり	l		節		4		細節	12	
		<u> </u>	<u> </u>		区分	□ 内部管	理	□ 3	 建設事業	☑ その	也	<u> </u>			
		対象 (誰を、何を)			節囲等	等 概ね65歳り	」 以上の高	齢者と	その家族、介	護者等					
(6)	目的	目標(どういう状態に	したいのフ	か)	高齢者	 齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるようにすること。									
		結果 (どのような効果	い得られ	ふ のか)	地域住	È民の保健∙医	療の向上	. 及び	冨祉の増進を	図る。					
地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師、社会福祉当かしながらチームで活動し、地域住民とともに地域のネットワークを構築しつつ、個別1総合相談支援業務 〇地域におけるネットワーク構築 〇総合相談支援等2権利擁護業務 〇高齢者虐待への対応 〇成年後見制度の活用等3 包括的・継続的ケアマネジメント業務 〇地域のケアマネ支援とネットワークの構築4 介護予防ケアマネジメント 〇二次予防事業対象者への支援						個別サービ									
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	次 項 目 大事業 中事業 小事業						小事業				
			項目	3			平成20 (2014:		•		平成2 (2015	7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)	
						予算(千	-円)	決	算(千円)	予算(千円)	決算見過	込(千円)	予算(千円)	
			事業費	(A)					909		1,109		1,013	17,831	
		人件費 -	職員	貴数 人			0.20		3.00	0.20			0.20	0.20	
				〔(B) 千円		1,712		25,674		1,801		<u> </u>			
	市 # # 1.		事業費(/				2,685	·		+		 		·	
(9)	事業費と 財源の内訳	爷	诗定財源 				2,156	·							
		<u> </u>		国 ———— 守			1,060 529	5,161		1,134 568			0	0	
		訳 <u></u>		<u>.</u> D他			567	5,938					0	0	
		<u> </u>	市負担((D)			529			+			1,013	17,831	
		$\hat{\cdot}$	地ブ	方債			0		0		0		0	0	
		内 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	そ0	D他			0		0		0		0	0	
		<u> </u>		財源			529		5,161	568			1,013	17,831	
			∤源計(C	;+D)			2,685		26,583		2,910		1,013	17,831	
		☑ 直接	<u>美</u> 肔				1								
						委託先	2								
		□ 委託	又は一部	部委託		24,427	3								
(10)	実施方法					主な委託内容	}								
(10)	(該当するもの は全部チェック)						1								
	1ので HHノ エノノ/	□ 補助	金•負担	金		交付先	2								
							3								
		□ その	他			内容									

事業番号 01373

		指標等	指標項目	1		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			包括的支援業務	相談件数	目標値	重)	単位:回)		837.00	910.0	733.00	
		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:回)		910.00	733.0	0	
	1				達成度(%)			108.7		80.	5	
		目標値	前年度実績		単位当た	総事業費			29.21	1.3	8	
1 🔾		の積算 方法			りコスト	一般財源			5.67	1.3	8	
活動指標			吹田市ケアネット	実務者懇話会開催回数	目標値	<u>i</u>)	単位:回)		2.00	2.0	2.00	
標		指標 内容			実績値	重)	単位:回)		2.00	2.0	0	
	2								100.0	100.		
		目標値	前年度実績		単位当た	総事業費	費(単位:千円)		13,291.50	506.5		
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		2,580.50	506.5	0	
			包括的支援業務 擁護、ケアマネ支	相談件数(総合相談、権利 接の相談件数)	目標値	<u>i</u>)	単位:件)		837.00	910.0	733.00	
		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:件)		910.00	733.0	0	
	1					達成度(%)			108.7	80.	5	
		目標値	前年度の実績		単位当た	総事業費	総事業費(単位:千円)		29.21	1.3	8	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		5.67	1.3	8	
成果指標			吹田市域ケアネッ	小実務者懇話会参加数	目標値	<u>i</u>)	単位:人)		83.00	90.0	87.00	
標		指標 内容			実績値	重)	単位:人)	90.00		87.0	0	
	2					達成度	(%)			96.	7	
		目標値	前年度の実績		単位当た	総事業費(単位:千円)		295.37		11.6	4	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	一般財源(単位:千円)		57.34	11.6	4	
(活動										
の 3 が 困指	1	内容						目標				
困指 難標 なで		±						*				
な示合	2	成果 内容						達成 状況				
		4	└────────────────────────────────────	☑ 拡充	□ 継続		□縮小	<u> </u>		廃止 □	終期の設定	
(4)総:	(4)総合評価		評価の説明	て、担当地域以外からす。 ケアマネ支援としてスタの参加をはじめ、歯科し クが広がりました。 その他にも、権利擁護	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□							

所属名	高齢福祉室				
	01373	事業名	包括的支援事業	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(1)	妥当性	10	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
· • >	有効性	4.0	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
3)	(20点)	18			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	 点
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	 点
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	 点
(4)	(20点)	18			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	 点
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	 点
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	 点
	持続可		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	 点
5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
	\ /!!/		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	 点
			4)将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	••••••	
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	「点合計 「点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01373	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他						
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	接続可能性 方 力 力 力 力 本性							
(3)現状分析	正され、包括的支援事業に、新たに在進事業、地域ケア会議推進事業が位	型包括としてその役割を果たしてきている 生宅医療・介護連携推進事業、生活支援 置付けされました。本市においても、これ ります。制度設計、運営方針、進捗管理等 分検討する必要があります。	体制整備事業、認知症施策推 いらの事業に順次取り組んでい						

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年介護保険制度改正において、包括的支援事業に4事業が追加されたことに伴い、地域包括支援センターの機能強化が求められています。

事業番号 01430

事務事業名	救急医療情報キット配布事業							
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの			

	中 切中未以他	N 女															
(1)	事業開始年度	平成23年度			女正 ,	中 黎坦	旦当室名(の亦画									
(2)	直近の改正	平成28年度		þ	内容 '	ふい 4カ 1 2	三コ主石で	70 交交									
(3)	根拠法令等	吹田市救急區	医療情報	キット配	布事業	美実施	要領										
		☑ 全部		一部(上	上乗せ、	、横出	し等あり))		なし	(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	る義務あ	9)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたは	場合はそ	の説明	明											
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健康	東で安心	して暮	らせる	らまちづく「	Ŋ			節		2	ź	細節	20	
		<u> </u>			区分	分 [□ 内部管	管理		建設	事業	☑ そのイ	也			<u>i</u>	
(0)		対象 (誰を、何を)			範囲	囲等 おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者、おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯に属する者 日中、一人になることがある、おおむね65歳以上の高齢者等									者		
(6)	目的	目標(どういう状態に	こしたいの	か)	万一	万一の緊急時に、適切で迅速な救命活動が受けられる体制を確保します。											
		結果 (どのような効果	結果 どのような効果が得られるのか) おむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、万一の緊急時の備えとして救急医														
(7)	事業概要	療情報キットで、自宅の冷い。より適格な対し、事業の周のよう、急搬送される	の配布を 蔵庫活動 を通じいま を かに活り がに活り	無償で行 保管する かを配って で まージで まって で まった	行ことがでまる。 とが市幸 で、本年等数の数	す。キ より、た き も り ま き も り よ り ま り よ り ま り よ り よ り よ り よ り よ り よ	・ットとは、 かけつけか ・・フレット り、キット・ウ ・ウな情報カ	医療情報 た救急隊 方に利用 を作成し の配等開始し 一ドの配	な負し、象またという。	をからに 係以た 説がない かっぱん かっぱん はい かいがい かいがい かい	れた専用の の情報を済 くため、民 の人ももいた、 た、外た。 ました。	R管容器の 舌用して R生委 是を行い トを作	こと				
(8)	なお、本事業は平成25年度H27事業別 予算コード会計12款				5		項	2		目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	3
			項			平成2 (2014				•	平成2 (2015	7年度 年度)		平成28 (2016年			
					予算(-	千円)		決算(千円)	予算(-	千円)	決算見込	.(千円)	予算(刊	-円)		
			(A)	(A)		1				0		182		141		68	
		人件費	職	員数	数人		0.15		0.00		0.20			0.20		0.10	
		71172	総額	頁(B)	千F	円	1,284			0			1,801		1,691		884
			事業費(1,285			0			1,983 1,832			952	
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源				0			0		+		141			
	741 may 2 9 1 2 Er (内		国		0			0					54		372	
		訳		 存				0		0					27		185
			市負担	の他 (D)				1		0		+			60		382 13
				 方債				0			0		0		0		0
		内		<u>カレー</u> の他				0			0		0		0		13
		訳 ·		·····································				1			0		0		0		0
		 	 才源計(C					1			0		182		141		952
		☑ 直接															
								1									
		□ 委託	ミスはー i	如禾红		;	委託先	2									
	実施方法		1	ᄞᅔᇟ				3									
(10)						主な	\$委託内 额										
	(該当するもの は全部チェック)							1									
		□ 補助]金•負担	金金		,	交付先	2									
								3									
		□ その	□ その他					内容									

事業番号 01430

		指標等	指標項目	■		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
			救急医療情報キ	ット延申請者数	目標値	(単	<u>〔</u> 位:人〕		13,000.00	12,500.00	14,500.00		
		指標 内容			実績値	(単	<u>4</u> 位:人)		10,789.00	12,027.00			
	1					達成度(%)		83.0	96.2			
		目標値		建福祉計画・介護保険事業 第5期の目標値は初年度で	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.12	0.01			
1 •		の積算 方法	達成したため、平	成26年度は実績による)	りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.12	0.00			
活動指標					目標値	目標値 (単位:) 0.00				0.00	0.00 0.00		
標		指標 内容			実績値	(.	単位:)		0.00	0.00			
	2					達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00			
		方法			りコスト	一般財源	京(単位:千円)		0.00	0.00			
			救急隊員が救急 件数	医療情報キットを活用した	目標値	(単	4位:件)		12.00	12.00	12.00		
		指標 内容			実績値	(単	4位:件)		21.00	16.00			
	1				達成度		%)		175.0	133.3			
<u></u>		目標値 の積算	月あたり1件の活 	用とします	単位当た	総事業費	総事業費(単位:千円) ——————————		59.14	8.81			
\smile		方法			りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		59.14	0.00			
成果指標					目標値	(.	単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	(.	単位:)		0.00	0.00			
	2				達成度		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円) 一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
		方法			りコスト			0.00		0.00			
0 0 3	1	活動 内容						目標					
が 困指 難標													
な場合	2	成果 内容						達成 状況					
	1	4	<u>└────</u> う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	✓ 継続	Ē	□ 縮小	•		廃止 □	終期の設定		
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	高齢者人口が増加し、で中、高齢者の安心・安全を守ることで、円滑な救命活動のいり多くの市民の安心・安全ホームページで様式等のダードの配布を開始された。	る取組を写 実施と高い 全な暮らし ウンロート	実施するご 齢者の安めの実現を で開始す	ことは非常に重 心・安全な暮ら めざし、キット るとともに、タ	重要です。 らしの実施の配布を か出時に	。このような 現に寄与し 対象者以を 搬送される	な状況のなか、な しています。平成 トの人もキットをな る際に活用するか	本事業を実施する 26年度からは、よ 作成できるよう こめの救急医療情		

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	01430	事業名	救急医療情報キット配布事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100 DE NIC	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	u. la	18	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u></u>	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		7113
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	2) 有効性 (20点)		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)		20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	 点
			(4)市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	<u> </u>	
			せけられて記めてきる具体的な以来をエリーでいるすが。 	5	 点
			1単位当たりコストは適正ですか。	<u> </u>	M
			①早位当たりコストは適正ですが。 	5	 点
			a. 単位当たりコスドは過止である。(3点) ②迅速なサービスの提供に努めていますか。	<u> </u>	
			と)	5	<u></u>
(3)	効率性 (20点)	20	3. 近途なり一とス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点) 3他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	Ü	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	 点
			4. 他の事業・取品と建設して、事業の効率化を図っている。(3点) 4事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	3	<i> </i>
				5	 点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u> </u>	<i>m</i>
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	 点
			②サービスの水準は適正ですか。		
	— 14		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	 点
(4)	公平性 (20点)	18		J	
			③適正な受益者負担を求めていますか。 	5	 点
			る. 過止な交流は反流のでいる。スは交流は真性を必要としない理曲・依拠がある。(3点) 4公平性を確保するための取組みをしていますか。	3	
			せんイドで飛ぶするための収組のそしていますか。 	5	
			1事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	i 0	点
			①	. 5	
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	J	点
	持続可			2	
(5)	能性	18	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点) ③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	3	点
	(20点)			F	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 。 現在の事業のを以去で、期待する事業効果をよる得ることができる(5点)	E	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 高齢福	副 祉室	事務事業番号	01430				
2 各視点から	の評価の点数では表	れない事項(必要に	応じて記載	;)			
3 事務事業の (1)本事業の位置	2 / / L	主要な政策課題 」 としての取組		コ 部。	として重点的な取組		その他
(2)各視点からの)評価結果		持続可能性公平		妥当性 20 10 5 0 効率性	力性	
(3)現状分析	時に備 な事業 者のみ 107件 の人も る際に	えて、自助努力で、自 であると考えています の世帯、昼間独居の となり、迅速な救急活 キットを作成できるよ	目身の安心・安 け。平成24年1 世帯にも配布 動に役立って うホームペー	で全を守る 2月に実施 していま いるもの。 ジで様式	値を大幅に上回る申請 ためのものであり、その を要領を改正し、対象を す。また、救急隊員の と考えます。平成26年原 等のダウンロードを開始 を開始し、より多くの市	の意識啓発といるをより明確にした。 たット延利用件を をからは、キット としました。	いう観点からも、重要 したことにより、高齢 数も平成27年度末で の配布対象者以外 外出時に搬送され
4 その他(国・	府の動向など、当該事	事業に関係する特証	己事項)				

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業					
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代	

	丁 勿于未以他	N 文																	
(1)	事業開始年度	平成27年度					的支援事業							ナられ	た。				
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	吹田	市在宅医療	聚介護連 持	<u></u> 集推	進協詞	議会準備会	会設置要領	の廃止						
(3)	根拠法令等	介護保険法	吹田市	市在宅医療介護連携推進協議会準備会設置要領															
		□ 全部		一部(.	上乗せ	乗せ、横出し等あり) 図 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたり	場合はそ	その説明	明													
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健康	東で安心	いして暮	らせ	るまちづくり				節		2		#	田節		0	
					区	分	□ 内部管	理		建設	 :事業	☑ その							
		対象 (誰を、何を)			節囲	明等 7	高齢者等。					1							
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)		 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続ける ことができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できる仕組をつくります。													
		結果 (どのような効果が得られるのか)					·介護連携 它医療·介護							携推	進協請	養会準備	会を設	置し、3回	回実
(7)	事業概要	医療と介護のサービスを一して8つの事業や取組等にで 宅医療・介	体的に抗業を実施 いて検 連携推進	是供する するこ。 討、協議 進事業 に	るため、 とになり 養、進捗 こ位置で	介護 Jました 管理 づけさ	保険法改正 た。在宅医 を行う場と れている、	Eにより、 療と介護 して「吹日 在宅医療	平成 の連 3市で ・介	30年 携を 生宅 護連	■4月には、 促進するた ■療・介護) 携にかかる	、すべての cめ、在宅に 連携推進協 る課題の抽	市町村にる 医療の現物 協議会」(平 1出と地域の	おいて 犬につ 成2 の医療	て、在宅 いて 7年度 「 療・介護	医療・介 ・通認識 は準備会	↑護連 を深め ま)を設	携推進事)、連携の 置します	業と)方法 。在
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	5	項	2		 目	1	大事業	2	中	事業	2	小事	業	1
	7 77	:	項	 	<u> </u>		平成26年度 (2014年度)			<u> </u>		平成2 (2015					· 成28年 2016年度		
							予算(千	一円)		決算(千円)	予算(千円)	決	算見込	(千円)	3	予算(千円	3)
			事業費	(A)	•			0			0		289			173	3		359
		職員数 人件費		員数	人		0.00			0.00		0.00	0.07		7		1.00		
				頁(B)	千日	円		0			0		0			592	2		8,835
			事業費(0		0		+				,				
(9)	事業費と 財源の内訳	· · · · · · · ·	特定財源				0					0 23				,			
		内		国 ——— 行				0	0 0		56				33			3,585 1,794	
		訳		···· の他				0							4(3,744	
			<u>ーーで</u> 市負担					0		0						33			71
		_		<u>`</u> 方債				0			0			1					0
		内 訳	そ(の他				0			0		0			(71
	一般財源		財源				0			0		56			33	3		0	
		貝	財源計(C+D)					0			0		289			173	3		9,194
		☑ 直接	実施																
								1											
		│ □ 委託	ミスはー i	部委託			委託先	2											
	実施方法				-			3											
(10)						主	な委託内容	<u> </u>											
	は全部チェック)	┌┐ ┇	小 上口				<i>ᄎ</i> ᠘ᄽ	1											
		▮ □ 補助]金•負担	<u>- </u>			交付先	2											
		□ その)他				内容	3											
		1																	

			指標項目		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			吹田市在宅医療・介護連携推進協議会準備 会の開催。平成28年度は同協議会の開	目標値	(単	位:回)		0.00	3.00	2.00	
	│ │ 指標 │催。 │ │ 内容 │		催。	実績値	(単	位:回)		0.00	3.00		
	1				達成度(%)		0.0	100.0		
	開催回数。 目標値		開催回数。	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	57.67		
1		の積算 方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	11.00		
活動指標				目標値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00		
	2				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
			在宅医療介護連携推進事業で取組む8事 業のうち、実施できた事業数	目標値	(単	位:回)		0.00	2.00	2.00	
		指標 内容		実績値	(単	位:回)	0		1.00		
	1				達成度(%)		0.0	50.0		
$\widehat{}$	(2)成果指標	目標値 の積算	実施事業数	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	173.00		
\smile		方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	33.00		
果指				目標値	<u>i</u>)	单位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容		実績値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00		
	2				達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)	0.00		0.00		
		方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
の3 がシ 困指	1	活動 内容					目標				
困難な場合	2	成果 内容					達成状況				
	1	4	」 今後の方向性 (実施計画) ☑ 拡充 [□ 継続	ŧ	□ 縮小	•		堯止 □	終期の設定	
(4)総	合評		3回の準備会におけるは は在宅医療を推進して システムの確立、在宅生 体的対策や取組内容に 評価の説明	いくために 生活を支え	こ必要な医 えるための	師や訪問看)人材育成、ī	護ステー	ション等の	D支援体制整備、	入退院時の支援	

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	01431	事業名	在宅医療•介護連携推進事業	事業区分	その他

設問5点満点		
ā)	3	点
······································		
	5	点
i		
	5	点
i		
	3	点
·		
は分析している。(3点)	3	点
i		
	5	点
i		
	5	点
i		
	5	点
:		
	5	点
i		
	5	点
i		
	5	点
	3	点
<u>:</u>		
	3	点
	5	点
	5	点
ハ事業である。(5点)	5	点
<u>:</u>		
	5	点
	3	点
	5	 点
	5	点
		5

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01431
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度は、在宅医療介護連携推進協議会準備会を立ち上げ、連携の課題抽出と対応策の検討を行いました。平成28年度の、協議会を たちあげ、準備会で検討したした内容を引継ぎ、具体策の検討を行います。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 どしての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 10 5 0 公平性	
(3)現状分析	けされました。本市においても、これらす。制度設計、運営方針、進捗管理等	れ、包括的支援事業に、新たに在宅医療 らの事業に順次取り組んでいくことで、事業 等は市の役割となりますが、具体的な事業 において進めることになります。健康医療	業費は増加することになりま 業の検討については、協議会

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年介護保険制度改正により、、地域支援事業に新たに位置づけられた事業であり、平成30年4月までに8つの事業を実施すること必要があります。「吹田市まち・4ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標4の「基本方向(2)誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」に向けた取組位置付けています。

事業番号	01432
尹未钳万	01432

事務事業名	生活支援体制整備事業							
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの			

		- 														
(1)	事業開始年度	平成27年度			文正 _{Ma}	マロホ高齢者	医生活支撑	法 大生!!	救借报	力議会進品	# 全 訟 署 亜	領の廃止				
(2)	直近の改正	平成28年度		内	P容 P	(田川同断)	3 土心又饭	(中市)	金洲は	协裁女牛训	用女权但女	で限り発工				
(3)	根拠法令等	介護保険法、	吹田市福	- 高齢者生	活支援	体制整備協	。 議会設置	要領								
		□ 全部		一部(上	 :乗せ、	□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした均	易合はそ	の説明											
(5)	総合計画の体系	章 3	健康		して暮ら	せるまちづ	くり			節		2		細節	0	
		<u> </u>			区分	· 口内部	部管理		建設	 事業	☑ その				<u>:</u>	
		対象 (誰を、何を)			範囲領	道囲等 65歳以上の高齢者										
(6)	目的	目標(どういう状態に	こしたいのか	か)		→ ・ 日常生活 ・ まる生活)やボラン -	ティアなど(の地域の	多様な主体や	り、高齢
		結果 (どのような効果	₹が得られ	ふのか)	高齢者	が住み慣 れ	れた地域で	安心	して暮	らしていく	ための生活	舌支援体制	削が整備さ	れます。		
(7)	事業概要	高齢者の日常 提供するため 体制整備を行 そのため、「ゆ び連携・協働を 生活支援コー	、介護保 うことにな 欠田市高は を行うとと	R険法改 なりました 齢者生活 ともに、ホ	正により た。 舌支援体 ドランティ	リ、平成30年 体制整備協調 ィア等の生活	年4月まで1 義会」(平成	に、協 t27年	協議体 ² F度は	や生活支持 準備会)を	援コーディ? と設置し、生	ネーター等 ∈活支援サ	の設置を	通じて、生 担い手がな	活支援サーI 定期的な情報	ビスの 最共有及
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2		目	1	大事業	2	中事業	3	小事業	1
		-		<u></u>			- 	1	-					-		
			項目	∃			平成2 (2014	26年原 4年度					:7年度 (年度)		平成28 (2016年	
			項目	∄		予算		4年度		千円)	予算(i年度) 	<u></u>		F度) ————
			項 目事業費(予算	(2014	4年度		千円) 0	予算((2015	i年度) 	<u></u>	(2016年 予算(日	F度) ————
		人件費	事業費(人	予算	(2014	4年度				(2015	年度) 決算見i		(2016年 予算(刊	F度) - - - - -
		人件費 -	事業費(職員総額	(A) 員数 頁(B)	人		(2014 (千円) 0	4年度		0		(2015 千円) 0	年度) 決算見i	254	(2016年 予算(千	F度) 11,362 0.90 7,952
	+- ** +=	人件費	事業費(職員 総額 事業費(A	(A) 員数 頁(B) A+B)			(2014 (千円) 0	4年度		0.00 0.00		(2015 千円) 0	年度) 決算見i	254 0.00 0 254	(2016年 予算(日	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314
(9)	事業費と 財源の内訳	人件費	事業費(職員 総額 事業費(<i>)</i> 特定財源	(A) 員数 頁(B) A+B)			(2014 (千円) 0.00 0 0	4年度)))		0.00 0.00 0		(2015 千円) 0 0.00 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 0 254 254	(2016年 予算(日	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314
(9)		人件費 総章	事業費(総額 事業費() 特定財源	(A) 員数 頁(B) A+B) 原(C)			(2014 (千円) 0.00 0 0	4年度))))		0.00 0 0 0		(2015 千円) 0.00 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 0 254 254 100	(2016年 予算(日	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532
(9)		人件費 総 ³	事業費(総額 事業費() 特定財源	(A) 員数 頁(B) A+B) 原(C) 国			(2014 (千円) 0.00 0 0	4年度))))		0.00 0.00 0		(2015 千円) 0 0.00 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 254 254 100	(2016年 予算(H	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532 3,766
(9)		人件費 総章	事業費(総額 事業費() 特定財源	(A) 員数 頁(B) A+B) 頁(C) 国 存 の他			(2014 (千円) 0.00 0 0	4年度))))		0.00 0 0 0 0		(2015 千円) 0.00 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 0 254 254 100	(2016年 予算(干	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532
(9)		人件費 総 (内訳)	事業費(職員 総額 事業費(A 特定財源 をの 市負担((A) 員数 頁(B) A+B) 頁(C) 国 存 の他			(2014 (千円) 0.00 0 0 0 0	4年度)))))		0.00 0 0 0 0 0		(2015 千円) 0.00 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 254 254 100 50	(2016年 予算(干	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532 3,766 8,016
(9)		人件費	事業費(解額	(A) 員数 (B) A+B) 原(C) 国 存 の他 (D)			(2014 (千円) 0.00 0 0 0 0 0	4年度)))))		0.00 0.00 0 0 0 0		(2015 千円) 0 0.00 0 0 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 254 254 100 50 104	(2016年 予算(干	F度) F円) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532 3,766 8,016 0
(9)		人件費 総 (内訳)	事業費(事業 報 額 事業 財 額 まままままままままままままままままままままままままままままままままま	(A) 員数 (B) A+B) 京(C) 国 存 の他 (D)			(2014 (千円) 0.00 0 0 0 0 0	4年度))))))		0.00 0.00 0 0 0 0		(2015 千円) 0 0.00 0 0 0 0	決算見	254 0.00 254 254 100 50 104	(2016年 予算(干	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532 3,766 8,016 0
(9)		人件費 (內訳) (內訳)	事業費(事業 報 額 事業 財 額 まままままままままままままままままままままままままままままままままま	(A) 員(B) A(C) 国 (D) 債 の(D) 債 の関係を関係した。			(2014 (千円) 0.00 0 0 0 0 0 0	4年度 () () () () () () () ()		0.00 0.00 0 0 0 0 0		(2015 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 254 254 100 50 104	(2016年 予算(干	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532 3,766 8,016 0 0
(9)		人件費 総 (内訳) (内訳)	事業 職 額 ()	(A) 員(B) A(C) 国 (D) 債 の(D) 債 の関係を関係した。			(2014 (千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	4年度 () () () () () () () ()		0 0.00 0 0 0 0 0 0		(2015 千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 254 254 100 50 104	(2016年 予算(干	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532 3,766 8,016 0 0
(9)		人件費 総算 (内訳) (内訳) 直接	事業費(事業 報 業 財 事業財 を担け で 一 は で で で で の は で の は で の は の は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	(A) 員(B) A(C) 国 存 他 (D) 債 他 源 (D)		委託先	(2014 (千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4年度 () () () () () () () ()		0 0.00 0 0 0 0 0 0		(2015 千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 254 254 100 50 104	(2016年 予算(干	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532 3,766 8,016 0 0
(9)	財源の内訳	人件費 総算 (内訳) (内訳) 直接	事業 は	(A) 員(B) A(C) 国 存 他 (D) 債 他 源 (D)			(2014 (千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4年度 () () () () () () () ()		0 0.00 0 0 0 0 0 0		(2015 千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 254 254 100 50 104	(2016年 予算(干	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532 3,766 8,016 0 0
	財源の内訳	人件費 (内訳) (内訳) 上 豆 豆 上 財 技	事 業 業 業 業 ま も も も で も で も で も で も で も で の の の の の の の の の の の の の	(A) 員(A) (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D		委託先	(2014 (千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4年度 () () () () () () () ()		0 0.00 0 0 0 0 0 0		(2015 千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 254 254 100 50 104	(2016年 予算(干	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532 3,766 8,016 0 0 0
	財源の内訳実施方法(該当するもの	人件費 (内訳) (内訳) 上 豆 豆 上 財 技	事業 は	(A) 員(A) (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D		委託先	(2014 (千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4年度 () () () () () () () ()		0 0.00 0 0 0 0 0 0		(2015 千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	年度) 決算見i	254 0.00 254 254 100 50 104	(2016年 予算(干	F度) 11,362 0.90 7,952 19,314 19,314 7,532 3,766 8,016 0 0 0

		指標等	指標項目			項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			援体制整備協議会	に向けた高齢者生活支 (平成27年度は準備会)	目標値	<u>(i</u>)	単位:回)		0.00	3.00	3.00
		指標 内容	の開催回数		実績値	<u>i</u>)	単位:回)		0.00	3.00) /
	1					達成度	(%)		0.0	100.0	
		目標値	検討内容による会	議の開催回数	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	84.67	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値		(単位:)		0.00	0.00	/
	2					達成度	· (%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	((単位:)		0.00	0.00	, /
	1					達成度	£(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	貴(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	((単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	((単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	£(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
の の が 困指	1	活動 内容						目標			
「難な場合 な場合	2	成果 内容			関する状況や課題についての把握 の情報共有を行いました。			達成状況		度に配置する広域 D活動内容を決める	型生活支援コーディ Eした。
			今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		□縮小	•	J		終期の設定
(4)総7	合評		評価の説明	高齢者の生活支援のだることにより、高齢者がいくものであり、いわゆ薬のために必要な事業は政策課題(m 重ねていくことができる総合戦略」の基本目標取組として位置付けてい	住み慣れる団塊のです。 ission24 「幸齢社会 4の「基本	た地域で 世代がす いの1(1 会」を実現	を心して暮ら べて75歳以_)「高齢者が住 えします。」をめ	していくだ 上となる ⁵ こみ慣れだ ごすもの	こめに高齢 平成37年 こ地域にお)です。また	常者を支えあう地 に向けた地域包 らいて、健康で安 た、「吹田市まち	域づくりをめざして 括ケアシステム構 心して幸せに齢を ・ひと・しごと創生

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	01432	事業名	生活支援体制整備事業	事業区分	その他

設問5点満点		
ā)	3	点
······································		
	5	点
i		
	5	点
i		
	3	点
·		
は分析している。(3点)	3	点
i		
	5	点
i		
	5	点
i		
	5	点
:		
	5	点
i		
	5	点
i		
	5	点
	3	点
<u>:</u>		
	3	点
	5	点
	5	点
ハ事業である。(5点)	5	点
<u>:</u>		
	5	点
	3	点
	5	 点
	5	点
		5

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01432
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

事業費、市負担については増大しますが、地域支援事業の上限内で実施するものであり、一般財源の増大はありません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 どしての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 分平性 効率性	
(3)現状分析	ズに対応した生活支援サービスの体げ、生活支援サービスに関する状況 した。今後は、協議会において地域資	「暮らしていくことができるよう、高齢者の制整備を行うため、高齢者生活支援体制 把握や、広域型生活支援コーディネーター 関源の把握や必要な生活支援サービスの 活支援体制の整備を進めていきます。	削整備協議会準備会を立ち上 一の活動内容の検討を行いま

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の介護保険法改正により、地域支援事業に新たに位置づけられた事業であり、平成30年4月までにすべての市町村において、生

活支援サービスの体制整備を行う必要があります。 本事業は政策課題1(1)「高齢者が住み慣れた地域において、健康で安心して幸せに齢を重ねていくことができる「幸齢社会」を実現します。」をめざすものです。また、「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標4の「基本的方向(2)誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるま ちづくり」に向けた取組として位置付けています。

事務事業名	認知症地域サポート事業							
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代			

_ !	于初于木V/W	N 女															
(1)	事業開始年度	平成27年度								ける徘徊高齢	者捜索	模擬訓練等	等の具体的	的な取組を実	践した		
(2)	直近の改正			, ,	内容 こ	ことを踏まえ、	本年度から	ら事業第	実施とした。								
(3)	根拠法令等	吹田市認知	症地域サ	ポート事	業実施	i要領											
		☑ 全部		一部(上	_乗せ、	せ、横出し等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								IJ)			
(4)	市単独事業区分		一部にチェックした場合はそ			进明											
(5)	総合計画の体系	章	3 健康	長で安心!	して暮ら	らせるまちづく	(IJ		節 4			¥i	細節	13			
		:			区分	} □ 内部	管理	口質	建設事業	☑ その他		I					
(0)		対象 (誰を、何を)			範囲	等 地域住民 市消防本	· 連合自治 部、小·中 [:]	i会)、E 学校、	R生·児童委員 社会福祉協議	員、地区福祉 貴会、認知症サ	 を員等、 -ポータ-	高齢者支持一、地域包	援事業者、 括支援セ	、吹田警察署ンター等	,吹田		
(6)	目的	目標 (どういう状態)	こしたいの	か)		者支援事業者 ワークの構築		対応能	力の向上、認	忍知症について	この正し	い理解の啓	答発、 地域	【住民を巻き	込んだ		
		結果 (どのような効!	果が得られ	ふのか)	認知症	虚の人と家族	を地域です	支え見る	守るネットワー	-クの構築							
(7)	事業概要	地域におけるで行ったこと	5高齢者 ⁴ をまとめ、	や認知症 , 市域全 [,]	:高齢者 体で認知	音の見守り体制 知症高齢者を	別に係る事 −見守り、3	『業と連 支えてい	動させながら く仕組みをつ	5、徘徊高齢者 Oくります。	探索模	擬訓練等 <i>0</i>	の実践的な	な取組をモデ	ル地域		
			-		-		·		:			=		:			
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	項	2	目	1	大事業	3	中事業	7	小事業	3		
(8)		会計		1	5	項	平成2	目 6年度 年度)	1	大事業	3 平成27 (2015	 7年度	7	小事業 平成28 ² (2016年	年度		
(8)		会計	12	1	5	項 予算(平成2 (2014	 6年度 年度)	1 算(千円)	大事業 予算(千	平成27 (2015	 7年度		平成28年	年度 (度)		
(8)		会計		∃	5		平成2 (2014	6年度 年度) 決		予算(千	平成27 (2015	7年度 年度)		平成28年 (2016年 予算(千	年度 (度)		
(8)			事業費	∃	5	予算(平成2 (2014 千円)	6年度 年度) 決	算(千円)	予算(千	平成2 ⁷ (2015: 円)	7年度 年度)	(千円)	平成28年 (2016年 予算(千	年度 ·度) ·円)		
(8)		人件費	事業費職員総額] (A) 員数 頁(B)	<u> </u>	予算(平成2 (2014 千円) 0	6年度 年度) 決	算(千円) 0	予算(千	平成27 (2015年 円) 296	7年度 年度)	·(千円) 212	平成28年 (2016年 予算(千	主度 注度) ·円) 276 0.10 884		
(8)	予算コード	人件費	事業費(職員 総額 総事業費((A) 員数 頁(B) A+B)		予算(平成2 (2014 千円) 0 0.00 0	6年度 年度) 決	算(千円) 0 0.00 0	予算(千))	平成27 (2015年 円) 296 0.10	7年度 年度)	·(千円) 212 0.10 846 1,058	平成28年 (2016年 予算(千	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160		
(8)		人件費	事業費(総額	(A) 員数 頁(B) A+B)		予算(平成2 (2014 千円) 0 0.00 0	6年度 年度) 決	算(千円) 0 0.00 0 0	予算(千)))	平成27 (2015 円) 296 0.10 901	7年度 年度)	212 0.10 846 1,058	平成28年(2016年	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 1,106		
	予算コード	人件費	事業費(総額	(A) 員数 頁(B) A+B) 原(C)		予算(平成2 (2014 千円) 0 0.00 0	6年度 年度) 決	算(千円) 0.00 0.00 0 0	予算(千)))	平成27 (2015 円) 296 0.10 901	7年度 年度)	212 0.10 846 1,058 171 82	平成28年(2016年	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 1,106 453		
	予算コード	人件費	事業費の総事業費の特定財源	(A) 員数 頁(B) A+B)		予算(平成2 (2014 千円) 0 0.00 0	6年度 年度) 決	算(千円) 0 0.00 0 0	予算(千))))	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0	7年度 年度)	212 0.10 846 1,058	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 1,106		
	予算コード	人件費	事業費の総事業費の特定財源	(A) 員数 (B) A+B) 京(C) 国 存 の他		予算(平成2 (2014 千円) 0 0.00 0	6年度 年度) 決	算(千円) 0.00 0 0 0	予算(千))))	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0	7年度 年度)	(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 1,106 453 226		
	予算コード	人件費 (内訳) (事業費 総	(A) 員数 (B) A+B) 京(C) 国 存 の他		予算(平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0	6年度) 注 注 注	算(千円) 0.00 0 0 0 0	予算(千)))))	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0	7年度 年度)	(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48	平成28年(2016年	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 1,106 453 226 427		
	予算コード	人件費	事業職 総 事業職 総 事業財 事業財 市 も も も も も も も も も も も も も も も も も も	(A)		予算(平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0	6年度) · 決	算(千円) 0.00 0 0 0 0 0	予算(千)))))	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0	7年度 年度)	212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0	平成28年(2016年	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 1,106 453 226 427 54		
	予算コード	人件費 (内訳) (内訳)	事業職 総 等 財 の 市 の で の で の で の で の で の で の で の で の で	A A A A A A A A A A		予算(平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0	(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)	算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	予算(千)	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0	7年度 年度)	(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54		
	予算コード	人件費 (內訳) (內訳)	事事事事業ままままますそ担そ担そ担そ担そ担そ担そ担そ担そ担そ担でのおのののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののの	A A A A A A A A A A		予算(平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0	(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)	算(千円) 0.00 0.00 0 0 0 0	予算(千)	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0	7年度 年度)	212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 1,106 453 226 427 54 0		
	予算コード	人件費 (內訳) (內訳)	事業職 総 等 財 の 市 の で の で の で の で の で の で の で の で の で	A A A A A A A A A A		予算(平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0	(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)	算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	予算(千)	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0	7年度 年度)	(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54		
	予算コード	人 (内訳) (内訳) (内訳) 直	事等等ををり事業ままままままままののの </td <td> A 数 B A R S A R D D D D D D D D D D D D D D D D D D</td> <td></td> <td>予算(</td> <td>平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0</td> <td>(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)</td> <td>算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>予算(千)</td> <td>平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0</td> <td>7年度 年度)</td> <td>(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0</td> <td>平成28年(2016年)</td> <td>主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54</td>	A 数 B A R S A R D D D D D D D D D D D D D D D D D D		予算(平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0	(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)	算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	予算(千)	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0	7年度 年度)	(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54		
	事業費と財源の内訳	人 (内訳) (内訳) (内訳) 直	事事事事業ままままますそ担そ担そ担そ担そ担そ担そ担そ担そ担そ担でのおのののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののの	A 数 B A R S A R D D D D D D D D D D D D D D D D D D		予算(平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0	(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)	算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	予算(千)	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0	7年度 年度)	(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54		
(9)	予算コード 事業の内記 実施方法	人 (内訳) (内訳) (内訳) 直	事等等ををり事業ままままままままののの </td <td> A 数 B A R S A R D D D D D D D D D D D D D D D D D D</td> <td></td> <td>予算(</td> <td>平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)</td> <td>算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>予算(千)</td> <td>平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0</td> <td>7年度 年度)</td> <td>(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0</td> <td>平成28年(2016年)</td> <td>主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54</td>	A 数 B A R S A R D D D D D D D D D D D D D D D D D D		予算(平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)	算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	予算(千)	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0	7年度 年度)	(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54		
	予算コード 事業の内 と訳 当 者 と訳 さもの	人 (内訳) (内訳) 直 委	<th <="" colspan="2" style="block" td=""><td> A 数 B A C 国 存 の C 方 の 財 ナ 部 (A 数 B B)</td><td></td><td>予算(</td><td>平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td>(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)</td><td>算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0</td><td>予算(千)</td><td>平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0</td><td>7年度 年度)</td><td>(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0</td><td>平成28年(2016年)</td><td>主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54</td></th>	<td> A 数 B A C 国 存 の C 方 の 財 ナ 部 (A 数 B B)</td> <td></td> <td>予算(</td> <td>平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)</td> <td>算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>予算(千)</td> <td>平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0</td> <td>7年度 年度)</td> <td>(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0</td> <td>平成28年(2016年)</td> <td>主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54</td>		A 数 B A C 国 存 の C 方 の 財 ナ 部 (A 数 B B)		予算(平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)	算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	予算(千)	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0	7年度 年度)	(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54
(9)	予算コード 事業の内記 実施方法	人 (内訳) (内訳) 直 委	事等等ををり事業ままままままままののの </td <td> A 数 B A C 国 存 の C 方 の 財 ナ 部 (A 数 B B)</td> <td></td> <td>予算(一</td> <td>平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)</td> <td>算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>予算(千)</td> <td>平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0</td> <td>7年度 年度)</td> <td>(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0</td> <td>平成28年(2016年)</td> <td>主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54</td>	A 数 B A C 国 存 の C 方 の 財 ナ 部 (A 数 B B)		予算(一	平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)	算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	予算(千)	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0	7年度 年度)	(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54		
(9)	予算コード 事業の内 と訳 当 者 と訳 さもの	人 (内訳) (内訳) 直 委	<th <="" colspan="2" style="block" td=""><td> A 数 B A C 国 存 の C 方 の 財 ナ 部 (A 数 B B)</td><td></td><td>予算(</td><td>平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td>(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)</td><td>算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0</td><td>予算(千)</td><td>平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0</td><td>7年度 年度)</td><td>(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0</td><td>平成28年(2016年)</td><td>主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54</td></th>	<td> A 数 B A C 国 存 の C 方 の 財 ナ 部 (A 数 B B)</td> <td></td> <td>予算(</td> <td>平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)</td> <td>算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>予算(千)</td> <td>平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0</td> <td>7年度 年度)</td> <td>(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0</td> <td>平成28年(2016年)</td> <td>主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54</td>		A 数 B A C 国 存 の C 方 の 財 ナ 部 (A 数 B B)		予算(平成2 (2014 千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(4年度) (5年度) (2年度) (3年度)	算(千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	予算(千)	平成27 (2015 円) 296 0.10 901 1,197 0 0 0 0 296 0	7年度 年度)	(千円) 212 0.10 846 1,058 171 82 41 48 41 0 0	平成28年(2016年)	主度 注度) ·円) 276 0.10 884 1,160 453 226 427 54 0 54

		指標等	指標項目			項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)						
			おおむね小学校区単位の2地域で引 施。	事業実	目標値	(単	位:)		0.00	2.00	2.00						
		指標 内容			実績値	(単	位:)		0.00	2.00							
	1				.	達成度(%)			0.0	100.0							
		目標値	実施地域を担当する地域包括支援でと協働で取り組む必要があるため。		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	106.00							
1		の積算 方法			リコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	20.50							
活動指標					目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00						
標		指標 内容			実績値	(単	位:)		0.00	0.00							
	2					達成度(%)			0.0	0.0							
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00							
		方法		b)	リコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00							
			徘徊捜索模擬訓練の参加者数。 (西山田地区108人、岸部地区107	7人)	目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00						
		指標 内容			実績値	(単	位:)		0.00	215.00							
	1					達成度(%)			0.0	0.0							
$\bigcap_{\mathbf{c}}$		目標値 の積算	参加人数の実績値		参加人数の実績値		参加人数の実績値		加人数の実績値		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.99	
2 。 成		方法			リコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.19							
成果指標			上記地区における報告会・意見交換者数。(西山田地区35人、岸部地区	₹17人)	目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00						
標		指標 内容	及び高齢者見守り体制づくり講演会 数	·参加名 	実績値	(単	位:)		0.00	187.00							
	2					達成度(%)			0.0	0.0							
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	1.13							
		方法			リコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.22							
の3 が <u></u>	1	活動 内容						目標									
困難な場合	2	成果 内容						達成 状況									
		4	う後の方向性 (実施計画) □ 拡充	V	継続	5	□縮小	•	□ <i>[</i> 3	廃止	終期の設定						
(4)総	合評	価	して、実践するた ンターも含めた 症サポーター養 に取り組んだこ	ためのマニ 実行委員 成講座、 とでさらに ながりもみ	ニュアル 会で地域 高齢者! 深まりま	を作成しま 或の特性を 見守り事業 もした。また す。引き続き	した。事業をいかした事業 お等支え手 、高齢者見	を実施した 業を実施 となる地 守り体制	c2地域で しました。 域住民同 づくり講演	は、マニュアルや 地域住民や学校 士のネットワーク g会において活動	地域サポート事業と 地域包括支援セ を対象にした認知 構築等が本事業 動報告することで、 人を見守り支えて						

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	01433	事業名	認知症地域サポート事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点					
тіш 	107]无		①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2	 点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3				
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点			
(1)	妥当性 (20点)	18	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J				
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点			
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J				
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	<i>m</i>			
			① / □ 到 1 日 1 示	Q	 点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J				
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	F	 点			
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は先生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5				
	\ = - / /							
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点 			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		<u> </u>			
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
						①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************	_	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_				
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_				
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点 			
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 					
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点			
			②サービスの水準は適正ですか。					
(4)	公平性 (20点)	20	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点			
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	 :				
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点			
			<a>④公平性を確保するための取組みをしていますか。					
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	: :				
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	: :				
(5)	持続可 能性	16	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点			
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	:				
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<u> </u>				
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))					

		事務事 美 番亏	01433	
2 各視点	。 なからの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	に応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

3 事物事業の現代が例			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	施する前に認知症サポーター養成講	訓練を岸部地区と西山田地区で2か所で 座を取組み、地域住民を巻き込んだネッ と、認知症の人を支えていく地域づくりが	トワークづくりをすることで、実

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

認知症施策推進総合戦略【新オレンジプラン】の7つの柱の一つに「認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進」が位置付けられました。

事務事業名	二次予防事業対象者把握事業						
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの		

	于加于木VN	N 女														
(1)	事業開始年度	平成27年度		改												
(2)	直近の改正			内	容											
(3)	根拠法令等	介護保険法														
		□ 全部		一部(上	乗せ、横	出し等あり	J)		☑ なし	(国∙府制	削度もしくはえ	去令等で	市が実施す	る義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした均	易合はその	の説明											
(5)	総合計画の体系	章(3 健康	で安心し	て暮らt	せるまちづく	くり			節		2	ş	細節	20	
					区分	□内剖	了 了 管理		□ 建設	*事業	☑ その他	<u>†</u>				
		対象 (誰を、何を)			範囲等	75歳以」	上の要:	介護記	認定を受け	けていない	\ \高齢者					
(6)	目 的	 目標 (どういう状態に	こしたいのフ	か)		 防事業(介 態にならな					 ,、介護予防 援する。	事業へ <i>の</i>)参加を促し	, 75歳り	以上の高齢	 者が要
		結果 (どのような効り	果が得られ	るのか)	高齢者	 が、住み慣	れた地	也域で	、意欲を	もって生活		介護給付	対費の伸びを	を抑制する	ることができ	る。
(7)	事業概要 H27事業別	75歳以上の 会計	高齢者に	:対して、 <u>i</u> 款	郵送にて 5	.介護予防. 	事業ア 1	'ンケ-	一トを個別	川通知し、) 1	虚弱な高齢 ²	者を把握 <u>2</u>	し、介護予防 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	方事業へ 4	の参加を勧う	奨する。 1
(0)	予算コード	五司	12	水人	J	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				'	八爭未			4		
			項目	1				^z 成26 2014年	年度 年度)				7年度 年度)		平成28 (2016年	
						予算((千円)		決算((千円)	予算(=	千円)	決算見込	.(千円)	予算(=	千円)
			事業費(A)					0		0)	23,340		8,653		11,102
		人件費	職員	員数	人			0.00		0.00)	0.10		0.10		0.10
		NII X	総額(B) 千円		千円	0		0	0		901			846	6 884	
			事業費(/			0		0		0)	24,241		9,499		11,986
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源					0	(5,830 2,916		7,572 2,163			10,600
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	内	<u> </u>					0								2,995
		訳		守 D他				0						1,081 4,328		1,497 6,108
			<u> </u>			0								1,081		1,386
								0		0		0		0		0
		内 訳	そ0	 D他				0		0		2,916		1,081		1,386
			一般	財源				0		0		0		0		0
		Į	け源計(℃	:+D)				0		0		23,340		8,653		11,986
		□直接	美実施													
									(株)エス	トコーポレ	ーション					
		☑ 委訊	E又は一部	邻委託		委託先		2								
	実施方法					·		3		- IFA		7.32				
(10)				Ė		主な委託内	沿	/り蔵	以 Γ()) 后	が断有にア	ンケートを垂	达				
	(該当するキ。の				l			(1)								
	(該当するもの は全部チェック)	┌┐	⋼⋞⋼⋬⋼	全		泰 伊生	⊢									
	(該ヨ9るもの	□補助	∫金∙負担	金		交付先	⊢	2								
	(該ヨ9るもの	□ 補助 □ その		金		交付先 ———— 内容	⊢									

事業番号 01434

)指標等	指標項目	======================================		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			介護予防事業アン	ンケート実施者数	目標値	(単	並位 :)		0.00	70.00	80.80	
		指標 内容			実績値	単)	並位 :)		0.00	80.80		
	1					達成度(%	(a)		0.0	115.4		
		目標値	対象高齢者の70)%	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	107.09		
1 ————————————————————————————————————		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
活動指標					目標値	(単			0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単	並位 :)		0.00	0.00		
	2					達成度(%	(n)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
			二次予防事業対	象者の把握数	目標値	(単	≦位:)		0.00	17.50	27.20	
		指標 内容			実績値	(単	≦位:)		0.00	27.20		
	1	1					達成度(%	á)		0.0	155.4	
		目標値 の積算 方法	対象者の17.59 	%	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	318.13		
2) 成					りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
成果指標					目標値	(単	≦位∶)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単	≦位∶)		0.00	0.00		
	2					達成度(%	(a)		0.0	0.0		
		目標値 の積算				総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
		活動										
の 3 が	1	内容						目標				
困指 難標 なで								\ 1\				
な場合	2	成果 内容						達成 状況				
			<u> </u> 今後の方向性		&hit &+	_	<i>.</i>			-	<i>₩</i> ₩ ♠ = □ →	
			(実施計画)	□拡充	□ 継続		□ 縮小		は東業な		終期の設定	
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	平成27年度の介語効果的・効率的なかの介護予防・日常生	介護予防の取	り組みを推	進する観点	から見直	しを行うこ	とになっています	一。平成29年4月	

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	01434	事業名	二次予防事業対象者把握事業	事業区分	その他

証 価	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点			
ш тп	10万元杰	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
			し、行うには、1100度子のあり力は過りですが、 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)		 点	
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点	
(1)	妥当性 (20点)	12	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3		
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		点	
			世代用句で対象句の減少など、中氏――へが以下しているせんが。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3		
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		点 	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		<u></u>	
(2)	有効性 (20点)	16	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
	(ZOMK)		③事業は目標どおりに進捗していますか。			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
				①単位当たりコストは適正ですか。		
					a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
	(20無)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 			
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 			
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
			②サービスの水準は適正ですか。			
(4)	公平性	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
, ,	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
(5)	持続可 能性	14	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(0)	(20点)	'-	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
	i点合計 点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01434
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的な・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっており、本事業については、平成28年度で廃止いたします。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	▽ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 15 有効性 公平性 効率性	
(3)現状分析	介護予防事業における、二次予防事ケートを郵送・回収し、アンケート結果 を送付しています。	業対象者を把握する事業であり、平成2 [*] と送付するとともに、二次予防事業対象	7年度から介護予防事業アン 者には、介護予防事業の案内

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度の介護保険制度改正では、一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的な・効率的な介護予防の取り組みを推進する観点から見直しを行うことになっています。平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業実施に向け、二次予防事業対象者把握事業は廃止します。

事業番号	01435

事務事業名			認知症初期集中支援推進事業		
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高﨑 充代

ı	于加于木叶	N 女															
(1)	事業開始年度	平成27年度				抽怙	支援事業	匀坛的	支採	重業に	·位置付け	6h t-					
(2)	直近の改正	平成26年度		þ	内容	7 C 230	(文)及于宋	C3][H3.	又版	ず木に	- 工	٠٥/٥/٥٥					
(3)	根拠法令等	介護保険法	認知症	拖策推 進	É総合 草	戦略	(新オレンシ	ジプラン)									
		□ 全部		一部(」	L乗せ.	、横占	出し等あり))	V	なし	(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	する義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした丼	易合はそ	の説明	明											
(5)	総合計画の体系	章	3 健康	で安心	して暮	らせ	るまちづく	り			節		4		細節	13	
					区	分	□ 内部管	 管理		建設	事業	☑ その⁴	也	<u> </u>		<u>i</u>	-
		対象 (誰を、何を)			節囲									又は認知。	 走の者で、	医療サービ	 スや介
(6)	目 的	目標(どういう状態に	こしたいの	か)													
		結果 (どのような効り	里が得られ	ろのか)	高齢	者福	福祉の増進										
(7)	事業概要 H27事業別	わる「認知症 準備のための	初期集中	□支援チ 討委員会	ーム」を 会を設け	を設i 置し ⁻	置し、早期i て検討を進	診断•早	期対	応に向 年度よ	けた支援を	体制を構築 刃期集中支	する。	こよる支援	3	平成27年度 る。 T	
(8)	□2/争未別 予算コード	会計	12	款	5	5	項	2		目	1	大事業	2	中事業	4	小事業	1
			項目	∄												平成28 (2016 ^生	
							予算(-	千円)		決算(千円)	予算(込(千円)	予算(न	
			事業費		T .				1		0	-			145		161
		人件費		員数 	人 ,			0.00)			<u> </u>			0.90	+	0.90
		4//		(B)	千	H)	0		·		<u> </u>		·	
	事業費と		:事業費(<i>/</i> 特定財源												1,751		8,113 8,081
(9)	財源の内訳)						56		3,163
		内		<u></u> 守							0						1,583
			その	の他				C)		0		35		33		3,335
			市負担	(D)				C)		0		30		28		32
			地フ	方 債				C)		0		0		0		0
		内 訳 	そ0	の他				()		0		0		0		32
		<u> </u>		財源					+		0		30		28		0
			け源計(C	;+D)				()		0		155		145		8,113
		☑ 直接	美施		T				1								
							季										
		□ 委訊	氏又は一部	部委託			女。6.7.6										
	実施方法				-	主	第 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日										
(10)	(該ヨ9るもの)						<u>-</u> . •	節 4 細節 部管理 □ 建設事業 □ その他 LLで在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる者又は認知症の者で ビスを受けていない、又は中断している者等 の家族を早期から支援することで、認知症になっても本人の意思が尊重 い環境で暮らし続けるために、認知症の人や 期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。 上進め、平成29年度より認知症初期集中支援チームによる支援を実施する。 と進め、平成29年度より認知症初期集中支援チームによる支援を実施す 2 目 1 大事業 2 中事業 4 平成27年度 (2015年度) (2015年度) (1千円) 決算(千円) 予算(千円) 決算見込(千円) 0 0 155 14 0.00 0.00 0.90 0.90 0 0 8.103 7.60 0 0 8.258 7.75 0 0 125 11 0 0 0 60 5 0 0 0 30 2 0 0 0 35 33 0 0 0 30 2 0 0 0 30 2 0 0 0 30 2 0 0 0 30 2 0 0 0 30 2 0 0 0 30 2 0 0 0 30 2 0 0 0 30 2 0 0 0 155 14									
	は全部チェック)	□ 補助	أ金∙負担	<u>l</u> 金			交付先										
		□ その)他				内容										

			指標項目		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			認知症初期集中支援チーム設置検討委 会の開催回数	員目標値	(単位:	回)		0.00	3.00	3.00
		指標 内容		実績値	(単位:	回)		0.00	3.00	
	1				達成度(%)			0.0	100.0	
		目標値	開催回数	単位当た	総事業費(単	.位:千円)		0.00	48.33	
1		の積算 方法		りコスト	一般財源(単	.位:千円)		0.00	9.33	
活動指標				目標値	(単位	:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位	:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単	.位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単	位:千円)		0.00	0.00	
				目標値	(単位	:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容		実績値	(単位	:)		0.00	0.00	
	1				達成度(%)			0.0	0.0	
2		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単	.位:千円)		0.00	0.00	
\smile		方法		りコスト	一般財源(単	位:千円)		0.00	0.00	
成果指標				目標値	(単位	:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位	:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単	位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単			0.00	0.00	
の3 がシ 困指	1	活動 内容	認知症初期集中支援チーム設置検討委員チーム設置に向け、事業内容等について			♥ 中文抜	目標	年3回		
難な場合	2	成果 内容	認知症初期集中支援チーム設置検討委 チームの業務内容や委託事業者選定に 検討し具体化を進めました。				達成 状況	年3回実施	<u> </u>	
		4	う後の方向性 (実施計画) □ 拡充	□ 継続	t	□ 縮小	`		廃止 □	終期の設定
(4)総	合評		平成29年度の認知 外部委員を含めた 関するこれまでの市 いて検討・具体化し 設置検討委員会での で検討するほか、事 チーム業務を開始し	受員で構成さ の取組や支 ました。 の検討結果を 業者選定会	れた認知症 援チームの第 基に平成28	初期集中3 美務内容、 3年度は本	を援チー. 普及啓多 :設置検討	ム設置検記 発方法、委 対委員会で	対委員会を設置し 託事業者選定ス で委託事業者の選	、認知症対策に ケジュール等につ 選定方法等につい

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	01435	事業名	認知症初期集中支援推進事業	事業区分	その他

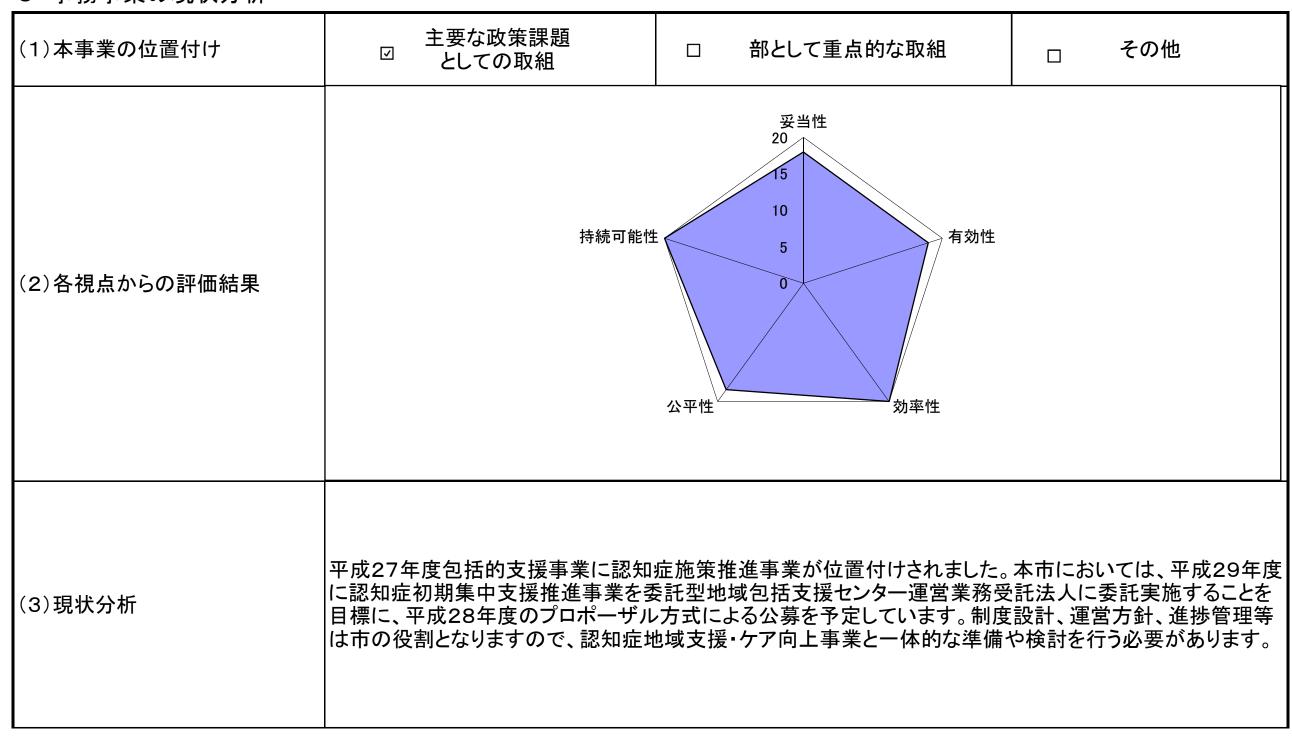
	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ш тп	1071九	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	<i>m</i>
			① / □ 到 11 付票 * 行 刈 11 付票 で 1 じ で 1 じ こ 足 重 的 な 11 行票 改 足 を 1 〕	Q	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	F	点
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は先生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	
	\ = - \\\\\\				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	F	-
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************		<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 	_	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20無)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	 :	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	14 64		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	 :	
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	 :	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 高齢福祉室	事務事業番号 01435
-----------	--------------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成29年4月の認知症初期集中支援チームの業務開始に向けて、平成27年10月から支援チームの業務内容や業務に伴う専門的なアセスメント方法等の実務に関すること、支援チームの市民及び関係機関に対しての普及・啓発方法等について、学識経験者等外部委員からなる設置検討委員会において専門的な見地からの意見を3回にわたっていただきました。平成28年度は事業者選定に向けてのスケジュールをもとに、公募のための募集要項、選定基準、応募様式等について、2回の設置検討員会で意見をいただき、6月には市職員で構成される選定会議で、決定していく予定です。8月には市報やホームページで委託事業者を公募し、10月には、書類審査、プレゼンテーション審査を経て、11月には受託候補者を決定します。平成29年4月の業務開始に向けて、市民や関係機関への啓発のための準備や業務開始前の研修等、受託候補者と相談しながら、業務開始の準備をすすめていく予定です。

3 事務事業の現状分析



4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年介護保険制度改正において、包括的支援事業に新たに4事業が追加され実施が義務付けられました。認知症初期集中支援推進事業は、その4事業の1つ、認知症施策推進事業として実施するものです。「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」基本目標4誰もが安心して暮らせる「高齢社会」が実現するまち基本的方向(2)誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに取組を位置付けています。

事務事業名			認知症地域支援・ケア向上事業		
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	高崎 充代

	1 100 1 010 00																				
(1)	事業開始年度	平成27年度			改正	11h 1-4	┡╇┺┸ ╇	∕ − +⊤	- 44 - - 43	₩ 	- 414- 1-	- 4 異 ごし	مليك	.							
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	地場	找支援事業	包括	的文技	友手	・耒に	-140億プロ	「され	IC _o							
(3)	根拠法令等	介護保険法	認知症	施策推:	進総合	戦略	·(新オレン	ジプラ	ン)												
		□ 全部		一部(上乗せ	、横	出し等あり)	G	√	なし	(国∙府制	制度も	らしくは	法令等で	市が	実施す	でる義務	あり	J)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした [‡]	場合は [.]	その説	明															
(5)	総合計画の体系	章 3	健身	東で安心	いして暮	らせ	るまちづく	IJ				節			4			細節		13	
		<u> </u>			区	分	□内部	管理]	建設	 :事業	V	その	———— 他				<u>:</u>		
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	高齢者を含	含むー	-般市月	民、	介護	保険事業	者、[医療機	 関等関係	機関。	0				
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいの	か)		認知症ケアパスを作成し、広く市民に普及啓発していく。平成28年度以降は、その内容について順いきます。									いて順次列	 更新して					
		結果 (どのような効果	い得られ	こるのか)				作成し	、市報	لحط	きに	全戸配布	īした。	。また、	医療機関	や介	護等	の関係を	者に	広く普及啓	発を行
(7)		び生活支援を 要です。この <i>†</i> 支援する相談	行うサー cめ、市 業務等	ービスか 町村に を行うii	が有機的 おいて 忍知症 ^は	りに返 医療	連携したネー機関や介記	ットワ- 護サー	ークを] -ビス及	形成な	tし、 地域	認知症の の支援機	人対 関の	して効 間の選	果的な支 携を図る	援がれ ため	行わ∤ の支持	ん体制 爰や認失	を 1症	構築すること の人やその	が重)家族を
(8)	H27事業別 予算コード	会計	12	款	5	5	項	2		E	1	1	大	事業	2	中	事業	4		小事業	2
	191	:	項 [<u> </u>								<u> </u>		<u> </u>							
		块 口				町村において医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族をを行う認知症地域支援推進員を配置し、当該推進員を医療・介護の連携強化等による、地域における支援体制の構築な図ります。 款 5 項 2 目 1 大事業 2 中事業 4 小事業 2 平成28年度 (2014年度) (2016年度) (2016年度) (2016年度) (2016年度) (2016年度) (2016年度) (3016年度) (4A) 0 0 0 0 1,714 12 12 12 12 12 13 14 15 14 15 15 15 15 15	円)														
			事業費	(A)					0			(0		0			1,7	14		129
		┃	職員	員数	<u> </u>			(0.00			0.00)		0.00			0.9	90		0.90
			総額	(B)	千	円			0			(0		0			7,60	06		7,952
)				0									9,32	20		8,081
(9)	事業費と 財源の内訳								0							-			0		
		内																	+		
		訳														1			_		
									- -							-		17	-		
				区分																	
		内 訳	ケアの向上を図ります。 サーファック (2015年度) 中事業 4 小事業 (2015年度) 中事業 (2015年度) ・		25																
			一般	財源					0			(0		0			1,7	14		0
		財	12 款 5 項 2 目 1 大事業 2 中事業 4 小事業 2 項目 平成26年度 (2014年度) 平成27年度 (2015年度) 平成27年度 (2016年度) 事業費(A) 事業費(A) 0 0 0 0 0 1.714 129 搬員数 人 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.90 0.9																		
		□ 直接実施											•						•		
	実施方法	☑ 委託	又は一部	部委託				-	2	株)	ヤマ	ツーナッシ	<i>"</i>								
(10)						主	な委託内		ı	ケ	アパン	スの市報	<u>への</u> ‡	夹み込	みと配付			、その内容について順次更 護等の関係者に広く普及啓養 間を通じて、必要な医療、介われる体制を構築することが支援や認知症の人やそので、地域における支援体制のない。 業 4 小事業 早込(千円) 予算(千円) 1,714 0.90 7,606 9,320 0 0 1,714 0 0 0 1,714 0 0 0 1,714 0 0 0 1,714 0 0 0 1,714 0 0 0 1,714 0			
/	(該当するものは全部チェック)		A				_*	<u> </u>	_												
		□ 補助	金•負担	金			交付先	—													
									3												
実施方法 (10) (該当するものは全部チェック)	□ その	他				内容															

		1指標等	指標項目		項目			6年度	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			認知症ケアパスの発行。	目標値	(単	≦位:回)		0.00	1.00	1.00
		指標 内容		実績値	(単	≦位:回)		0.00	1.00	
	1				達成度	(%)		0.0	100.0	
		目標値	発行回数。	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	1,714.00	
1		の積算 方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	1,714.00	
活動指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
			認知症ケアパスの作成。	目標値	(単	並位:回)		0.00	1.00	1.00
		指標 内容		実績値	(単	並位 :回)		0.00	1.00	
	1				達成度	(%)		0.0	100.0	
		目標値 の積算	認知症ケアパスの発行回数。	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	1,714.00	
2 		方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	1,714.00	
成果指標			平成27年度は認知症ケアパス配布数。 平成28年度は啓発チラシの配布数。	目標値	(単	≦位∶部)		0.00	174,000.00	11,000.00
標		指標 内容		実績値	(単	≦位∶部)		0.00	172,711.00	
	2				達成度	(%)		0.0	99.3	
		目標値 の積算 方法	平成27年度は市報挟み込みによる全戸西布及び関係機関等への配布数。平成28年	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.01	
		方法	度はケアパスの一部修正、ホームページ/ の掲載	^ りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.01	
_		活動								
の3が〜	1	内容					目標			
困指 難標 なで										
場示合す	2	成果 内容					達成 状況			
			^ //		<u> </u>					
			今後の方向性 (実施計画) □ 拡充	☑ 継続		□縮小				終期の設定
(4)総	合評		認知症の人に対し、物質の人に対し、物質の関係機関に関係を関係の説明	おいて、適切	刃な医療や	や介護サービ.				

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	01436	事業名	認知症地域支援・ケア向上事業	事業区分	その他

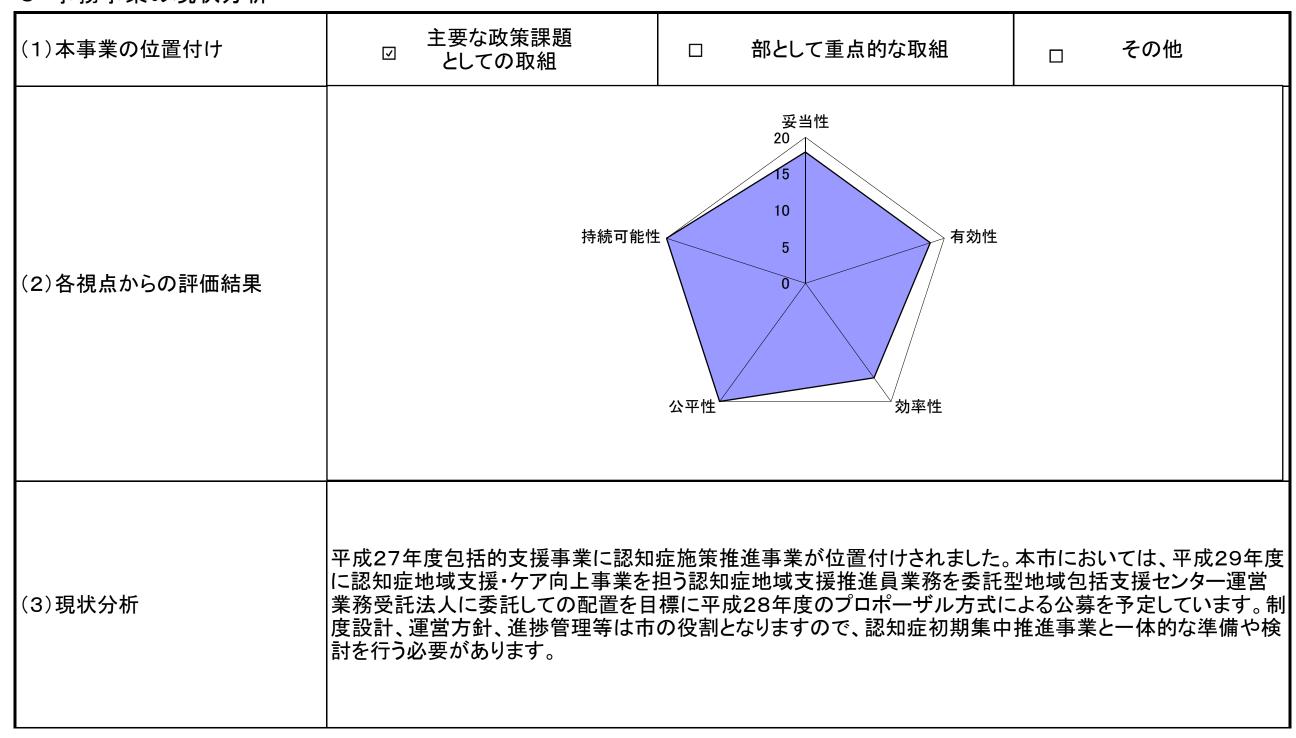
	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
	107]兀灬	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / □ 到 11 付票 * 行 刈 11 付票 で 1 じ で 1 じ こ 足 重 的 な 11 行票 改 足 を 1 〕	Q	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	F	<u></u>
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は先生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	点
	\ = - / /				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		<u> </u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	_	
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	16	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20 m)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 	 !	
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。	 :	
(4)	公平性	20	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。	 :	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	:	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	·····	
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	·····	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 高齢福祉室	事務事業番号	01436
-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度は認知症地域支援・ケア向上事業の認知症ケアパスを作成し、普及に努めました。平成29年4月の認知症地域支援推進員の配置に向けて、平成28年度は、学識経験者等外部委員からなる部会を設置し、事業者選定に向けたスケジュールをもとに、専門的な見地からの推進員の業務や取り組むべき業務の優先度、公募のための募集要項、選定基準、応募様式等について、意見をいただき、6月の市職員で構成される選定会議で決定していく予定です。8月には市報やホームページで委託事業者を公募し、10月には、書類審査、プレゼンテーション審査を経て、11月には受託候補者を決定します。平成29年4月の推進員配置に向けて、市民や関係機関への啓発のための準備や業務開始前の研修等、受託候補者と相談しながら、活動開始の準備をすすめる予定です。

3 事務事業の現状分析



4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年介護保険制度改正において、包括的支援事業に新たに4事業が追加され実施が義務付けられました。認知症地域支援・ケア向上事業は、その4事業の1つ、認知症施策推進事業として実施するものです。「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」基本目標4誰もが安心して暮らせる「高齢社会」が実現するまち基本的方向(2)誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに取組を位置付けています。

事務事業名						
- 	问题的目的分数日后上述政力地以付着力争未					
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの	

	3 300 3 714 7 170															
(1)	事業開始年度	平成27年度		改正	4-1											
(2)	直近の改正	なし		内容												
(3)	根拠法令等	なし		•	•											
		☑ 全部	□ -	部(上乗も	t、横	出し等あり	J)		なし	∠(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	する義務あ	<u></u> り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	はその説	その説明												
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で	安心して暮	事らせ	とるまちづく	くり			節		2		細節	30	
			×	5分	□内剖	『管理		建記	 <u></u>	☑ その	他	<u> </u>				
		対象 (誰を、何を)	(誰を 何を)			高齢者向]け複合居	 号住施	設用	地	<u> </u>					
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいのか)	高幽	鈴者向	りけ複合原	居住施設 月	用地の	取得	及び活用						
		結果 (どのような効果	が得られるの	±ι⊾ α		業者による Lを図る。	高齢者向]けウ:	ェルネ	ネス住宅 (平	² 成30年度	[開設)の書	整備•運営	を通じ、地	域の医療・介護・福	
(7)	事業概要	複合居住施設	fl)について、 は(高齢者向 は、同用地I	健康・医けつエルス に高齢者	療の ネス信 向け「	まちづくり 主宅)とする ウェルネス	の観点か ることを軸 、住宅を整	ら、在 に検 循・運	宅医 けを達 営す	療や福祉関 進める。 ⁻ る民間事業	関係の事業 業者を公募	と一体 <i>と</i> た 型プロポー			≥の機能等を有する ≧、同民間事業者と	
(8)	H27事業別 予算コード	会計		款		項			目		大事業		中事業		小事業	
						平成26年度 (2014年度)						平成28年度 (2016年度)				
						予算(千円)			決算(千円)		予算(千円)		決算見込(千円)		予算(千円)	
			事業費(A)					0	0			538,504		496,617	67	
		┃	職員数		人		0.0	0		0.00		0.00		0.60	0.20	
		, , i j	総額(B	3)	円			0		0		0		4,824	1,634	
	site =++- t		事業費(A+			0		0		0		538,504		501,441	1,701	
(9)	事業費と 財源の内訳	 	寺定財源(C 国)		0		-		0		0		0	(
		内			0				0	0		0				
		訳	<u>府</u> その他			0		0	0							
			<u> </u>					0				538,504		496,617		
		<u> </u>				0		0								
		内 訳	その他					0		0				0	(
			一般財源	 京				0		0				496,617	67	
		財	∤源計(C+□)				0		0		538,504		496,617	67	
		☑ 直接	実施													
	実施方法	□ 委託	□ 委託又は一部委託			委託先	3)								
(10)					Ė	な委託内										
· - /	(該当するもの は全部チェック)		A				1									
		┃ □ 補助 ┃	金•負担金			交付先		_								
					_		3)								
		□ その他				内容										

2 評	<u>ш • , </u>	指標等	指標項目	■		項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1			-	達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千F	円)	0.00	0.00	
1 🔾		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千F	円)	0.00	0.00	
活動					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
動 指標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2	, , ,				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千F	円)	0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千F	円)	0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			 実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1	F 1-12						0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千F	円)	0.00	0.00	
2 ~		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千F	円)	0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
指 標		指標 内容			 実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千F	円)	0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千F	円)	0.00	0.00	
 の3 が 困指	1	活動内容	高齢者向けウェル 契約の締結	レネス住宅用地の取得。	、民間事業者と	の定期借地による貸付	昔 目標	高齢者向に	ナウェルネス住宅の	整備
四難な場合 で示す	2	成果 内容	整備後も市が事 続性・安定性の研	業者による運営をモニタ 催保	ヌリングすること	による事業や活動の網	達成状況	療・介護・ネ	アシステムの具現 冨祉の質の向上に。 最大限享受できる環	
	•		- う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		富小		秦止 □	終期の設定
(4)総	合評	価	評価の説明	生総合戦略の「基本る事業である。	ト目標4基本的 ノネス住宅のコ 、整備後につり	で成30年度(2018 いても市の事業者I	療のまちづ 3年度)の開 こ対する継	くりによる仮 設に向けて 続的なモニ	建康寿命の延伸」 「、事業者の選定 タリング実施によ	にも位置付けられ 等その整備を進

所属名	高齢福祉室				
事務事業番号	01488	事業名	高齢者向け複合居住施設用地取得活用事業	事業区分	その他

評価	兄屈からの fの視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
	妥当性		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	·i	
/ a \		40	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	·i·······	
(0)	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	·i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
				.i	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
				:	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
				.i	
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	18			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
				:	
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
				.i	
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18		.i	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	.i	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u>:</u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
				.i	
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	20			
	71177		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	5点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	01488
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は現在事業者募集の段階であり、今後事業者による整備・運営を通じ、地域包括ケアシステムの具現化等、地域の医療・介護・福祉の向上につながる具体的な成果が表れるものと考える。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 どしての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	防機能に重点をおいた「高齢者向け」と医療」に関連する事業であり、主要また、吹田市まち・ひと・しごと創生	或包括ケアシステムのモデルケースとして ウェルネス住宅」の整備・運営は、政策課 な政策課題に位置付けられるものである 総合戦略における基本目標「誰もが安心 生涯活躍のまち」(健都版CCRC)の取約	題(mission24)における「福祉)。 して暮らせる「幸齢社会」が実

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

H28年度から予算費目及び事業名称を変更 (目)社会福祉総務費 ※H27年度は(目)老人福祉費 「健都ウェルネス住宅推進事業」